

平成 29 年度 路上駐車実態調査

報告書

【本編】

公益財団法人 東京都道路整備保全公社

一 目 次

1.	調査目的と報告書の構成	1
1.1.	調査概要	1
1.2.	報告書の構成	3
1.3.	調査内容	4
1.4.	調査対象地区	5
1.5.	実態調査概要	6
1.5.1.	四輪	6
1.5.2.	二輪	11
2.	実態調査結果	14
2.1.	実態調査の集計項目一覧	14
2.2.	実態調査結果（四輪）	16
2.2.1.	路外駐車場施設の実態（四輪）	16
2.2.2.	路外駐車場の利用実態（四輪）	24
2.2.3.	PM・PTの実態（四輪）	32
2.2.4.	路上駐車の実態（四輪）	40
2.2.5.	路上駐車時間の実態（四輪）	55
2.2.6.	駐車需給バランスの実態（四輪）	58
2.3.	実態調査結果（二輪）	64
2.3.1.	路外駐車場施設の実態（二輪）	64
2.3.2.	路外駐車場の利用実態（二輪）	69
2.3.3.	路上駐車の実態（二輪）	75
2.3.4.	路上駐車時間の実態（二輪）	85
2.3.5.	駐車需給バランスの実態（自動二輪）	89
2.4.	駐車特性のまとめ	95
2.4.1.	四輪	95
2.4.2.	二輪	98

3.	路上駐車対策の検討	101
3.1.	対策の検討	101
3.1.1.	ピーク時の需給バランス	101
3.1.2.	総駐車需要における平休・時間バランス	101
3.1.3.	駐車場利用率と路上駐車車両数の関係	102
3.2.	各地区の駐車実態による類型化	115
3.2.1.	類型化の方針と流れ	115
3.2.2.	各地区の類型化	115
3.2.3.	各地区の駐車特性の整理	116
3.3.	路上駐車実態を踏まえた駐車施策の検討	124
3.3.1.	調査結果に基づく駐車実態の整理	124
3.3.2.	東京都における駐車施策方針	130
3.3.3.	駐車施策の検討に関する考え方	131
3.3.4.	想定される駐車課題と対応する駐車施策例	136
3.3.5.	駐車施策メニュー例の内容	137
3.4.	地区別の駐車施策検討に係る考え方	180
3.4.1.	駐車施策検討の前提	180
3.4.2.	駐車施策検討にあたっての留意点	180
3.4.3.	各地区における今後の駐車施策検討に係る考え方	181
4.	今後の課題.....	234
4.1.	今後の課題	234
4.1.1.	今後実施・検討すべき対策（案）	234
4.1.2.	今後の駐車対策を検討する上での留意事項	237
4.2.	調査・分析の課題.....	238
5.	参考資料.....	239
5.1.	調査対象範囲	239

1. 調査目的と報告書の構成

1.1. 調査概要

(1) 調査目的

東京都 23 区内の瞬間路上違法駐車台数は、平成 28 年 10 月現在、四輪で約 4 万 6 千台、二輪（原付含む。）で約 1 万 1 千台となっており、引き続き既存駐車場の有効活用及び新設駐車場の設置が必要となっている。

ついては、路上駐車実態調査を実施し、23 区の各地域における路上駐車の実態、駐車施設※1 の利用実態を調査・分析し、ピーク時の需給バランスの把握等、繁華街、都心区、周辺区等、各地域の現状に応じた、今後の違法路上駐車対策の方策を検討する。

(2) 用語定義

用語定義		
路外駐車場 (駐車場収容台数)		○ 対象は、不特定多数の人が利用できる一時預かり（時間貸し）駐車場を対象とする（月極駐車場や従業員専用駐車場などを除く）。
路上 駐 車	合法駐車	○ 路上駐車施設であるパーキングメーター（PM）・パーキングチケット（PT）のスペースに駐車し、料金を支払い、かつ時間超過がない場合の駐車
	違法駐車	○ 道路上の駐車禁止区間（箇所）等に駐車している場合の駐車 ○ 路上駐車施設であるパーキングメーター（PM）・パーキングチケット（PT）のスペースに駐車し、料金を支払っていない、または、時間超過している場合の駐車 ○ タクシーが客待ちのため、駐停車禁止区間に停車している場合の駐車
	対象外車両	○ バス停に停車するバス（路線バス・高速バス・送迎バス等）、緊急車両（パトカー、消防車、救急車）、事故関係車両の駐車 ○ ポストコーン区分又は誘導員が配置される区間にある駐車 ○ 駅前広場のタクシープール内に駐停車するタクシー
四輪車		○ 車種区分は、タクシー、バス、乗用車、普通貨物車、小型貨物車、軽貨物車
二輪車		○ 車種区分は、原付第一種、原付第二種甲（51-90cc 以下）、原付第二種乙（91-125cc 以下）、自動二輪（250cc 以下）、自動二輪（250cc 超）、ミニカー（排気量 50cc 以下の一人乗りの普通自動車）

※駐車施設とは、一般公共に有する路外駐車場を指す。（二輪は、路上駐車場も含む。）

(3) 調査フロー

本調査のフローを下記に示す。

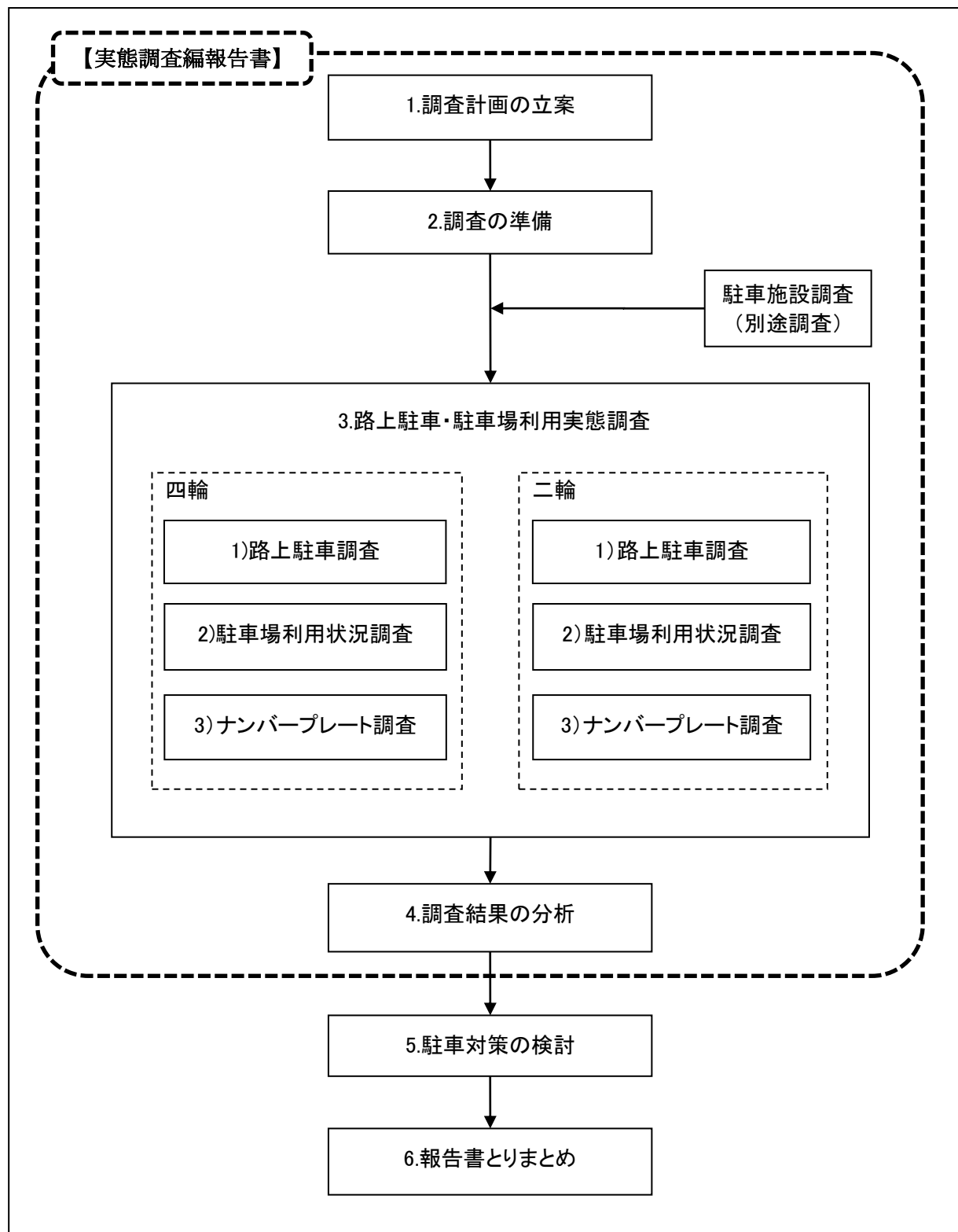


図 1-1 調査フロー

1.2. 報告書の構成

本調査の報告書は、本編と実態調査編から構成される。各報告書の概要を図 1-2 に示す。

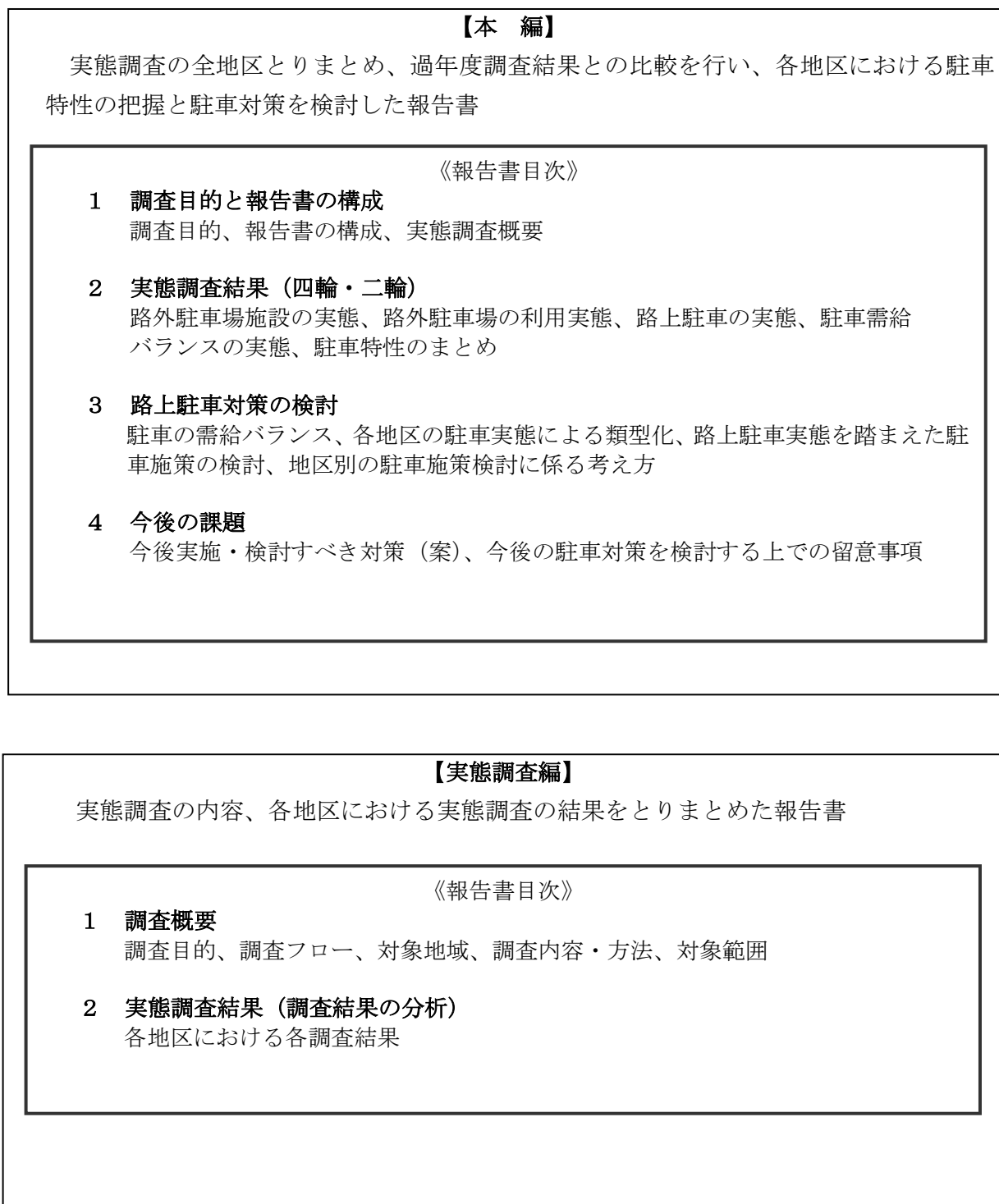


図 1-2 報告書の概要

1.3. 調査内容

調査対象地区と各地区で実施した調査項目の一覧を以下に示す。調査対象地区は、各区の要望を受け選定されたものであり、各区2～3地区で構成される。

調査項目	駐車場利用状況調査	路上駐車調査	ナンバープレート調査
対象地域	東京都23区内		
対象範囲区間	【四輪】 52地区の各地区内の時間貸し駐車場（代表5駐車場）とした 【二輪】 42地区の各地区内の時間貸し駐車場（駐車場を選定）とした	【四輪】 52地区の駐車可能な道路とした 範囲は概ね500m×500mを基本とした 【二輪】 42地区の駐車可能な道路とした 範囲は概ね500m×500mを基本とした	【四輪】 9地区を対象とした 範囲は各地区1路線（50m～100m程度）とした 【二輪】 9地区を対象とした 範囲は各地区1路線（50m～100m程度）とした
主要調査内容	【四輪・二輪】 駐車場利用台数 駐車場入庫待ち台数	【四輪】 駐車台数（合法・違法別） 車種 駐車位置 路上 パーキングメーター パーキングチケット タクシー乗り場 駐車場入庫待ち 【二輪】 駐車台数（合法・違法別） 車種 駐車位置 車道・歩道	【四輪・二輪】 駐車時間 （ナンバープレートの照合により算出） 車種
調査方法	【四輪・二輪】 調査員が巡回目視により計測（一部、駐車利用データを提供時は後日データを回収）	【四輪・二輪】 調査員が巡回目視により調査（目視またはナンバープレートにより車種を分類）	【四輪・二輪】 調査員が巡回目視により調査（目視またはナンバープレートにより車種を分類）
調査日	【四輪・二輪】 平成29年11月5日（日）～平成29年11月28日（火） （上記のうち、平日・休日 各1日）		
調査時間帯	【四輪・二輪】 5時点（11時・13時・15時・17時・19時） ※1時点1時間以内		【四輪】 11時～19時までの連続8時間 【二輪】 11時～19時までの連続8時間

1.4. 調査対象地区

表 1-1 調査対象地区と実施調査項目の一覧

調査対象地区			四輪			二輪			
			路上駐車	駐車場利用	ナンバープレート	路上駐車	駐車場利用	駐車場数	ナンバープレート
			調査	状況調査	調査	調査	状況調査		調査
千代田区	1	秋葉原駅	○	○	○	○	○	12	○
	2	神保町駅	○	○		○	○	3	
中央区	3	銀座駅	○	○	○	○	○	2	
	4	日本橋駅	○	○		○	○	4	
港区	5	六本木駅	○	○	○	○	○	4	
	6	品川駅	○	○		○	○	3	
新宿区	7	新宿駅東口	○	○	○	○	○	5	○
	8	新宿駅西口	○	○		○	○	4	○
	9	高田馬場駅	○	○		○	○	2	
文京区	10	湯島駅	○	○		○	○	2	○
	11	後楽園駅	○	○		○	○	1	
台東区	12	上野駅	○	○	○	○	○	2	
	13	浅草駅	○	○		○	○	2	○
墨田区	14	錦糸町駅	○	○		○	○	4	○
	15	両国駅	○	○		○	○	1	
	16	押上駅	○	○					
江東区	17	東陽町駅	○	○		○	○	2	
	18	木場駅	○	○		○	○	1	
品川区	19	大井町駅	○	○		○	○	2	
	20	五反田駅	○	○		○	○	3	○
目黒区	21	目黒駅	○	○		○	○	1	
	22	中目黒駅	○	○					
	23	自由が丘駅	○	○					
大田区	24	蒲田駅	○	○	○	○	○	2	
	25	蒲田駅東部	○	○					
	26	大森駅	○	○		○	○	5	
世田谷区	27	三軒茶屋駅	○	○		○	○	1	
	28	二子玉川駅	○	○		○	○	3	
渋谷区	29	渋谷駅	○	○	○	○	○	5	○
	30	恵比寿駅	○	○		○	○	3	
中野区	31	中野駅	○	○		○	○	1	
	32	野方駅	○	○					
杉並区	33	阿佐ヶ谷駅	○	○		○	○	1	
	34	荻窪駅	○	○		○	○	2	
豊島区	35	池袋駅	○	○	○	○	○	10	○
	36	池袋駅外周部	○	○					
北区	37	王子駅	○	○					
	38	赤羽駅	○	○	○				
荒川区	39	日暮里駅	○	○		○	○	1	
	40	町屋駅	○	○		○	○	1	
板橋区	41	板橋駅	○	○		○	○	3	
	42	大山駅	○	○		○	○	2	
練馬区	43	石神井公園駅	○	○		○	○	2	
	44	大泉学園駅	○	○					
	45	練馬駅	○	○		○	○	1	
足立区	46	綾瀬駅	○	○		○	○	1	
	47	北千住駅	○	○		○	○	2	
葛飾区	48	新小岩駅	○	○		○	○	2	
	49	金町駅	○	○		○	○	2	
	50	亀有駅	○	○		○	○	1	
江戸川区	51	船堀駅	○	○					
	52	篠崎駅	○	○		○	○	1	
合計			52	52	9	42	42	112	9

1.5. 実態調査概要

1.5.1. 四輪

(1) 路上駐車調査

1) 対象地区・範囲 (52 地区)

各対象地区における調査範囲は概ね 500m×500mとした。具体的な範囲については、過年度と同範囲を設定、それ以外の場合は、地区特性を考慮し設定した。

2) 調査日時

調査日は、同一地区において平日・休日の各 1 日を調査した。

調査時間は、11 時・13 時・15 時・17 時・19 時の 5 時点とし、1 時点当たり、1 時間以内に調査を実施した。

平休	調査年月日
平日	平成 29 年 11 月 7 日 (火)、11 月 14 日 (火) 平成 29 年 11 月 21 日 (火)、11 月 28 日 (火)
休日	平成 29 年 11 月 5 日 (日)、11 月 12 日 (日) 平成 29 年 11 月 19 日 (日)、11 月 26 日 (日)

3) 調査内容・方法

調査員が対象地区内を巡回し、路上駐車を駐車形態別・車種別に調査票（及び地図）にプロットした。

- 駐車禁止区間の確認

駐車禁止・駐停車禁止・規制時間などの標識を確認し、地図上に記載した。

- パーキングメーター・パーキングチケット設置の確認

パーキングメーター・パーキングチケットの設置場所、運用時間・曜日・一般 or 貨物車用、合法・違法等を確認し、調査票に記載した。

区分	駐車状況
合法駐車	パーキングメーター・パーキングチケットのスペースに駐車し、料金を支払っていて、かつ時間超過が無い場合
違法駐車	パーキングメーター・パーキングチケットのスペースに駐車し、料金を支払っていない、または、時間を超過している場合

※夜間時のパーキングメーター・パーキングチケットの夜間の非稼働時は違法駐車区間扱いとした。

※パーキングチケットについては、車両内にあるチケットの記載事項を確認するため、時間超過の判断を行わない。

※以降、パーキングメーターは「PM」、パーキングチケットは「PT」と略す。

- タクシー乗り場の確認

調査範囲内にタクシー乗り場がある場合には、その位置を調査票に記載した。

- 駐車場入庫待ち車両の確認

駐車場への入庫待ちをする車両が公道上に停車（駐車）している場合は、入庫待ち車両としてその位置を調査票に記載した。

A) 車種の確認

車種区分は、タクシー、バス、乗用車、普通貨物車、小型貨物車、軽貨物車の 6 分類に分類した。

車種区分の判別は、目視（バス・タクシー）とナンバープレート（乗用車・普通貨物車・小型貨物車・軽貨物車）で行い、特殊車の 8 ナンバーについては目視で分類した。

表 1-2 四輪の車種区分

車種	判別手段	判別方法			
		ナンバープレートの地色	ナンバープレートのサンプル		分類番号
タクシー	目視	緑	—	—	
バス	目視	白・緑	—	—	2, 20-29, 200-299
乗用車	ナンバープレート ※8ナンバーは目視 ※軽乗用車を含む	白・黄	足立 300 さ 12-34	足立 500 せ 12-34	3, 30-39, 300-399 5, 50-59, 500-599 7, 70-79, 700-799 <u>8, 80-89, 800-899</u>
普通貨物車	ナンバープレート ※8ナンバーは目視 (冷蔵車など)	白・緑	足立 100 さ 12-34	足立 100 せ 12-34	1, 10-19, 100-199 <u>8, 80-89, 800-899</u>
小型貨物車	ナンバープレート が普通貨物車より 小さい ※8ナンバーは目視 (冷蔵車など)	白・緑	足立 400 か 56-78	足立 400 き 56-78	4, 40-49, 400-499 6, 60-69, 600-699 <u>8, 80-89, 800-899</u>
軽貨物車	ナンバープレート ※8ナンバーは目視	黄・黒	足立 400 そ 12-34	足立 400 ぞ 12-34	3, 33 40-49, 400-499

※バス停に停車するバス（路線バス・高速バス・送迎バス等）は路上駐車の対象外とした。

※工事車両（ポストコーン、誘導員配置等により明確に区分された区画内に停車する車両）、緊急車両（パトカー、消防車、救急車）、事故車両（警察による現場検証が行われている車両）は対象外とした。

※車内に人が乗っている車両、荷捌き車両は路上駐車の対象とした。

B) 大手宅配車両の確認

貨物車のうち、下記の 5 業者（平成 28 年度、宅配便取扱個数（国土交通省調べ）上位 5 社、合計シェア 99.8%）については大手宅配業者として区分し計測した。

表 1-3 大手宅配業者一覧表

貨物車のロゴ	会社名	シェア(%)
 ヤマト運輸	ヤマト運輸(株)	46.9%
 SAGAWA	佐川急便(株)	30.6%
 JP 日本郵便 POST	日本郵便(株)	15.9%
 SEINO 西濃運輸	西濃運輸(株) 他19社	3.3%
 福山通運 FUKUYAMA TRANSPORTING CO.,LTD.	福山通運(株) 他21社	3.1%

※本表は、宅配便名ごとにその便名で運送を行う各事業所の取扱個数を集計したものである。

C) 路上駐車の種類区分等

路上駐車調査の車種分類は、タクシー、バス、乗用車、普通貨物車、小型貨物車、軽貨物車の内、貨物車類を「大手宅配車両」と「その他車両」に区分した 9 分類とし、路上駐車調査では、3 つの駐車形態（合法 PM・PT、違法駐車禁止区間、違法 PM・PT）も含め区分した。

また、駐車場入庫待ち車両も同様の 9 分類とした。

(2) 駐車場利用状況調査

1) 対象地区・範囲（52 地区）

各対象地区における調査範囲は概ね 500m×500m とし、具体的な範囲については、基本的に過年度と同範囲を設定することとした。ただし一部地域では、地区特性を考慮し範囲を設定した。

2) 調査日時

調査日は、同一地区において平日・休日の各 1 日を調査した。

調査時間は、11 時・13 時・15 時・17 時・19 時の 5 時点とし、1 時点当たり、1 時間以内に調査を実施した。

調査日は、前記、(1) 路上駐車調査と同一日に実施した。

3) 調査内容・方法

A) 対象駐車場の選定

駐車場施設調査の調査結果をもとに、路上駐車実施地区の中から収容台数、駐車場立地等を考慮し、代表的な時間貸し駐車場 5 場を選定した。

基本的には平成 26 年度実施結果との比較を可能とするため、過年度と同じ駐車場を調査対象とし、駐車場の閉鎖・廃止があった場合には、別途実施される駐車場施設調査結果を踏まえて、新たに代替駐車場を選定した。

B) 駐車場利用台数の計測

対象駐車場の管理者（管理会社）に対して、事前に調査実施の可否、利用台数のデータ提供可否を確認した。

調査員が各駐車場を巡回して、駐車台数を計測した。また、入庫待ち台数（路上にはみ出した車両のみ）を計測した。

ただし、駐車場管理者から利用台数データの提供を受ける場合は、入庫待ち台数のみを調査する。

駐車場利用状況調査での車種区分は、地下・機械式駐車場等が多いため区分を行わない。

(3) ナンバープレート調査

1) 対象地区・範囲（9 地区）

四輪の対象地区は、路上駐車調査を実施する地区のうち、以下の 9 地区を対象とした。
秋葉原、銀座、六本木、新宿駅東口、上野、蒲田、渋谷、池袋、赤羽

各対象地区・範囲の中から、過年度調査を実施した箇所のうち、路上駐車密度の高い路線・区間（100m 程度）を対象とし駐車特性を把握した。

2) 調査日時

調査日は、同一地区において平日・休日の各 1 日を対象とし調査を実施した。

調査日は、前記、(1) 路上駐車調査と同一日に実施した。

調査時間は、各日とも 11 時～19 時の連続 8 時間で実施した。

3) 調査内容・方法

調査員が 10 分ごとに対象範囲を巡回し、時刻、区間（位置）、路上駐車車両のナンバープレート等を調査票に記録した。

なお、車種区分は、前記、路上駐車調査と同様の 9 分類（貨物車類を「大手宅配車両」、「その他車両」に区分）とした。

また、ナンバープレート調査では違法路上駐車を対象として記録した。

1.5.2. 二輪

本報告書では以下の名称を用いることとする。

- 二 輪 ： 原付第一種、原付第二種甲、原付第二種乙、自動二輪（250cc 以下）、自動二輪（250cc 超）、ミニカーの 6 車種

ただし、車種分類については、自動二輪（250cc 以下、250cc 超）と表記することがある。

また、別途調査を実施した駐車施設調査との整合性を確保するため、路上駐車調査における原付第一種は駐車需要に含めずに検討を行った。

(1) 路上駐車調査

1) 対象地区・範囲（全 42 地区）

各対象地区における調査範囲は概ね 500m×500m とする。具体的な範囲については、過年度と同地区での調査は同一範囲を設定した。ただし一部地域では、地区特性を考慮し範囲を設定した。

対象調査範囲の全ての路線・区間に駐車している車両を対象とした。

2) 調査日時

調査日は、同一地区において平日・休日の各 1 日を調査した。

調査時間は、11 時・13 時・15 時・17 時・19 時の 5 時点とし、1 時点当たり、1 時間以内に調査を実施した。

平休	調査年月日
平日	平成 29 年 11 月 7 日（火）、11 月 14 日（火） 平成 29 年 11 月 21 日（火）、11 月 28 日（火）
休日	平成 29 年 11 月 5 日（日）、11 月 12 日（日） 平成 29 年 11 月 19 日（日）、11 月 26 日（日）

3) 調査内容・方法

調査員が対象地区内を巡回し、路上駐車を駐車形態別・車種別に台数を調査票に記録した。

- 駐車場所の確認

駐車形態別（歩道・車道）、車種別の合法・違法駐車台数を確認した。

- 車種の確認

車種は原付・自動二輪・ミニカーとし、使用用途としての自家用・業務用に分類した。二輪の車種区分を表 1-4 に示す。

車種の判別はナンバープレート（原付・自動二輪・ミニカー）で行い、自家用・業務用の判別については目視とナンバープレートの色で行った。

- 入庫待ち台数の計測

調査範囲内にて駐車場への入庫待ちをする車両が公道上に駐車している場合には、入庫待ち車両としてその位置を地図上にマークした。

表 1-4 二輪の車種区分

車種	判別手段	判別方法			備考
		ナンバー プレート の地色	ナンバープレートのサンプル		
			自家用	業務用	
原付第一種	ナンバープレート ※目視	白色		 お店・企業の名前や ロゴで「業務用」と 判別する	自治体によって独自のマーク 等がプリントされたり、形が 異なったりする事があります
原付第二種 甲 51～90cc以下	ナンバープレート ※目視	黄色			
原付第二種 乙 91～125cc以下	ナンバープレート ※目視	桃色			
自動二輪 250cc以下	ナンバープレート ※目視	白・緑			分類番号が1ではなく 2の場合もあります
自動二輪 250cc超	ナンバープレート ※目視	白・緑			番号不足の陸運支局では アルファベットが入っている 場合があります
ミニカー 総排気量 が50cc以下の 一人乗りの普通自動車	ナンバープレート ※目視	水色		お店・企業の名前やロ ゴで「業務用」と判別す る	3輪以上の原付(50cc以下)で、 後輪距が51cm以上はミニカー の扱い

<二輪の業務用の判別に関する注意事項>

○原付の場合は業務用のナンバープレートでの区分はない。そのため、飲食店のデリバリー（配達）、その他店舗の配達（酒屋等）、コピー機（ゼロックス、RICOH等）の修理サービスなど、お店・企業の名前やロゴが入っているものを“業務用”として区分した。

○バイク便（自動二輪）の場合は業務用ナンバー（緑色）になっていないものがあるが、目視でバイク便と判断した場合には、ナンバープレートが白地でも“業務用”に区分した。

○車種のまとめ

路上駐車調査（入庫待ち台数の計測を含む）の車種分類は6分類×2区分（自家用・業務用）の12分類とした。

(2) 駐車場利用状況調査

1) 対象地区・範囲（全 42 地区）

対象地区における調査範囲は四輪と同一とした。対象駐車場は、駐車場施設調査の調査結果をもとに、各対象地区内の二輪の収容が可能な全ての駐車場を対象とした。

2) 調査日時

同一地区において平日・休日の各 1 日ずつ調査を実施した。

各日とも 11 時・13 時・15 時・17 時・19 時の 5 時点とし、1 時点当たり、1 時間以内に調査を実施した。

調査日は、前記、(1) 路上駐車調査と同一日に実施した。

3) 調査内容・方法

- 対象駐車場の選定：対象地区内の全ての駐車場を対象とした。
- 駐車場利用台数の計測
- 入庫待ち台数の計測

(3) ナンバープレート調査

1) 対象地区・範囲（9 地区）

各対象地区における調査範囲は、過年度と同一の区間(100m 程度)を設定した。

2) 調査日時

平日、休日各 1 日を対象とし、調査日は、前記、(1) の路上駐車調査と同一日とした。

- 各日とも 11 時～19 時の連続 8 時間で実施した。

3) 調査内容・方法

調査員が 10 分毎に巡回し、路上駐車ナンバープレートの情報を全て調査票に記入した。なお、車種は前記、(1) 路上駐車調査と同様（原付・自動二輪・ミニカー）とした。

車種（原付・自動二輪・ミニカー）の判別は、ナンバープレートで行い、自家用・業務用の判別については目視とナンバープレートの色で行った。

2. 実態調査結果

2.1. 実態調査の集計項目一覧

実態調査の集計項目一覧を表 2-1 に示す。

本調査対象地区(ナンバープレート調査は 9 地区)では、地区別の駐車実態を把握するため、調査項目を細分化した。一方、過年度調査と重複する地区では、主要な項目について集計し各年度の推移を比較した。

表 2-1 実態調査の集計項目一覧

調査項目	(1) 地区別の実態 (本調査対象の四輪は 52 地区、 二輪は全 42 地区)	(2) 過年度調査結果との比較 (過年度調査と重複する地区のみ) 四輪：52 地区、二輪：全 42 地区
2.2.1 路外駐車場施設の実態 (四輪) 2.3.1 路外駐車場施設の実態 (二輪)	1) 路外駐車場の整備状況 ①駐車場数 ②構造・形態別の駐車場割合 ③収容台数規模別の駐車場割合 2) 総収容台数 ①平日、②休日	1) 駐車場数の推移 2) 地区別の駐車場総収容台数の推移 ①平日、②休日
2.2.2 路外駐車場の利用実態 (四輪) 2.3.2 路外駐車場の利用実態 (二輪)	1) ピーク時の駐車場利用率 ①平日、②休日、③ピーク時の駐車場利用率比較 2) ピーク時の駐車場利用台数 ①平日、②休日	1) ピーク時の駐車場利用率の推移 2 平日、②休日
2.2.3 PM・PTの実態 (四輪)	1) PM・PT設置数 ①平日、②休日	1) PM・PT設置数の推移 ①平日、②休日
2.2.4 路上駐車の実態 (四輪) 2.3.3 路上駐車の実態 (二輪)	1) ピーク時の路上駐車台数 ①平日、②休日 2) ピーク時の路上駐車車両数 ①平日、②休日 3) ピーク時の駐車分類別路上駐車割合 ①平日 ③平日 (原付第一種) ②休日 ④休日 (原付第一種) 4) ピーク時の車種別違法路上駐車割合 ①平日 ②休日 5) 時間帯別の違法路上駐車の種類構成 6) 貨物車類に占める大手宅配事業者の割合	1) ピーク時の路上占有台数の推移 ①平日、②休日 2) ピーク時の車種別違法路上駐車台数の変化 ①平日、②休日
2.2.5 路上駐車時間の実態 (四輪) 2.3.4 路上駐車時間の実態 (二輪)	1) 平均路上駐車時間(平日・休日) 2) 時間帯別の路上駐車時間 ①平日 ③平日 (原付第一種) ②休日 ④休日 (原付第一種) 3) 車種別の路上駐車時間 ①平日 ③平日 (原付第一種) ②休日 ④休日 (原付第一種)	1) 平均路上駐車時間の推移 ①平日 ②休日
2.2.6 駐車需給バランスの実態 (四輪) 2.3.5 駐車需給バランスの実態 (自動二輪)	1) ピーク時の総駐車需要 ①平日、②休日	1) ピーク時の総駐車需要の推移 ①平日、②休日 2) 駐車需給バランスの推移 ①平日、②休日

なお、本年度の調査を実施した 52 地区について、平成 23・26 年度の調査実施状況を表 2-2 に示す。

表 2-2 平成 29 年度調査実施地区の過年度の調査実施状況

調査対象地区			四輪			二輪		
			平成29年度 調査地区	平成26年度 調査地区	平成23年度 調査地区	平成29年度 調査地区	平成26年度 調査地区	平成23年度 調査地区
千代田区	1	秋葉原駅	○	○	○	○	○	○
	2	神保町駅	○	○	○	○	○	○
中央区	3	銀座駅	○	○	○	○		
	4	日本橋駅	○	○	○	○	○	○
港区	5	六本木駅	○	○	○	○	○	○
	6	品川駅	○	○	○	○	○	○
新宿区	7	新宿駅東口	○	○	○	○	○	○
	8	新宿駅西口	○	○	○	○	○	○
	9	高田馬場駅	○	○	○	○		
文京区	10	湯島駅	○	○	○	○	○	○
	11	後楽園駅	○	○	○	○		
台東区	12	上野駅	○	○	○	○	○	○
	13	浅草駅	○	○	○	○	○	○
墨田区	14	錦糸町駅	○	○	○	○	○	○
	15	両国駅	○	○	○	○		
	16	押上駅	○	○	○			
江東区	17	東陽町駅	○	○	○	○		
	18	木場駅	○	○	○	○	○	○
品川区	19	大井町駅	○	○	○	○	○	○
	20	五反田駅	○	○	○	○	○	○
目黒区	21	目黒駅	○	○	○	○	○	○
	22	中目黒駅	○	○	○			
	23	自由が丘駅	○	○	○			
大田区	24	蒲田駅	○	○	○	○		
	25	蒲田駅東部	○	○	○		○	○
	26	大森駅	○	○	○	○	○	○
世田谷区	27	三軒茶屋駅	○	○	○	○	○	○
	28	二子玉川駅	○	○	○	○	○	○
渋谷区	29	渋谷駅	○	○	○	○	○	○
	30	恵比寿駅	○	○	○	○	○	○
中野区	31	中野駅	○	○	○	○	○	○
	32	野方駅	○	○	○			
杉並区	33	阿佐ヶ谷駅	○	○	○	○	○	○
	34	荻窪駅	○	○	○	○	○	○
豊島区	35	池袋駅	○	○	○	○	○	○
	36	池袋駅外周部	○	○	○			
北区	37	王子駅	○	○	○			
	38	赤羽駅	○	○	○		○	○
荒川区	39	日暮里駅	○	○	○	○		
	40	町屋駅	○	○	○	○		
板橋区	41	板橋駅	○	○	○	○		
	42	大山駅	○	○	○	○		
練馬区	43	石神井公園駅	○	○	○	○	○	○
	44	大泉学園駅	○	○	○			
	45	練馬駅	○			○		
足立区	46	綾瀬駅	○	○	○	○	○	○
	47	北千住駅	○	○	○	○	○	○
葛飾区	48	金町駅	○	○	○	○		
	49	新小岩駅	○	○	○	○		
	50	亀有駅	○	○	○	○		
江戸川区	51	船堀駅	○	○	○			
	52	篠崎駅	○	○	○	○		
合計			52	51	51	42	29	29

2.2. 実態調査結果（四輪）

2.2.1. 路外駐車場施設の実態（四輪）

(1) 地区別の実態

1) 路外駐車場の整備状況

① 駐車場数

○秋葉原駅・神保町駅・湯島駅・上野駅・錦糸町駅・蒲田駅東部・池袋駅・池袋駅外周部の8地区で駐車場数が50場以上となっている。
○自由が丘駅・野方駅・練馬駅の3地区で駐車場数が10場未満となっている。

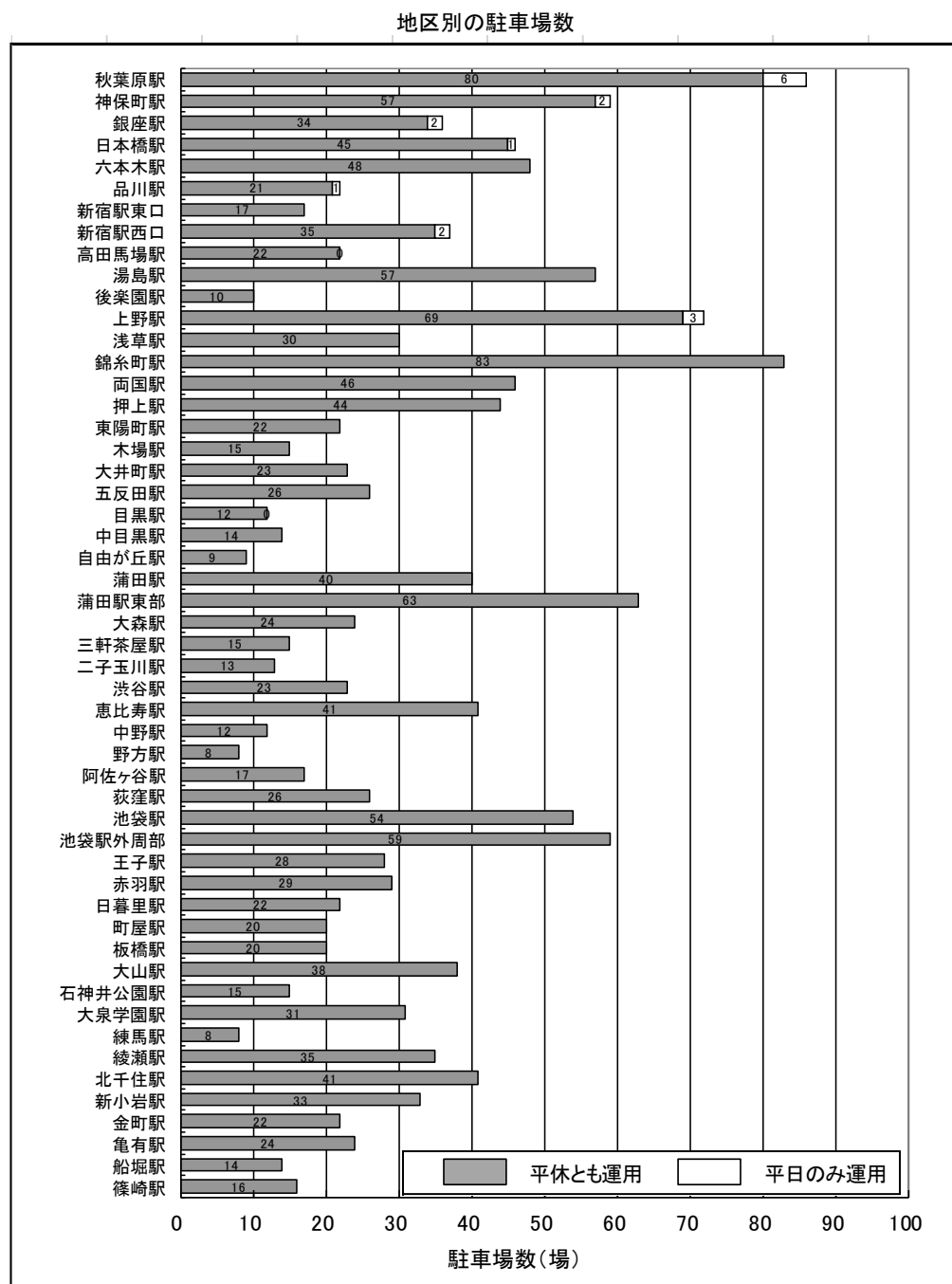


図 2-1 地区別の駐車場数

② 構造・形態別の駐車場割合

○全地区平均でみると最も高い割合になるのが、「平地自走」であり、次いで「不明」、
「立体機械」の順となっている。

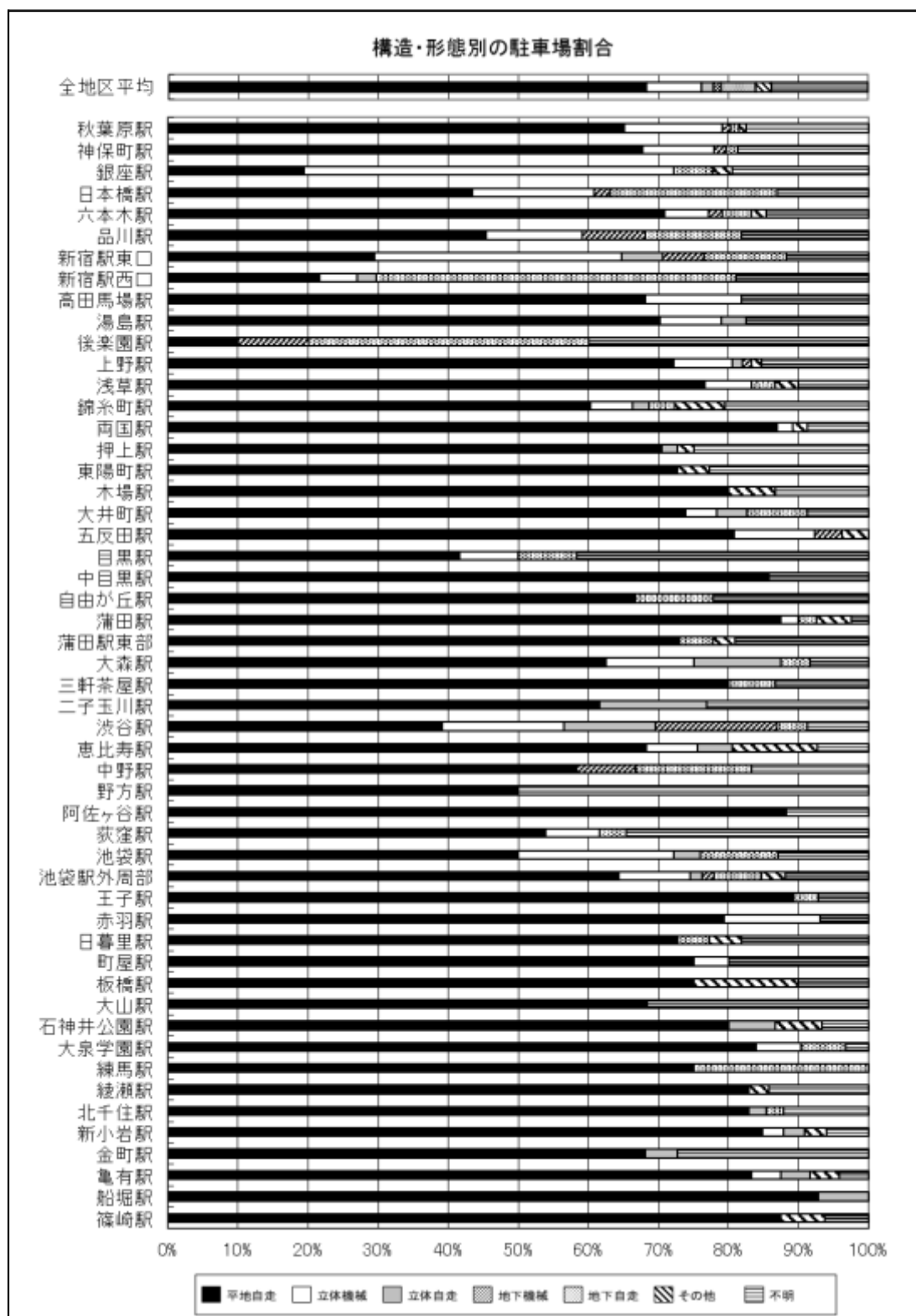


図 2-2 構造・形態別の駐車場割合

③ 収容台数規模別の駐車場割合

○全地区平均でみると最も高い割合になるのが、「～10 台」であり、次いで「～30 台」、「101 台～」の順となっている。

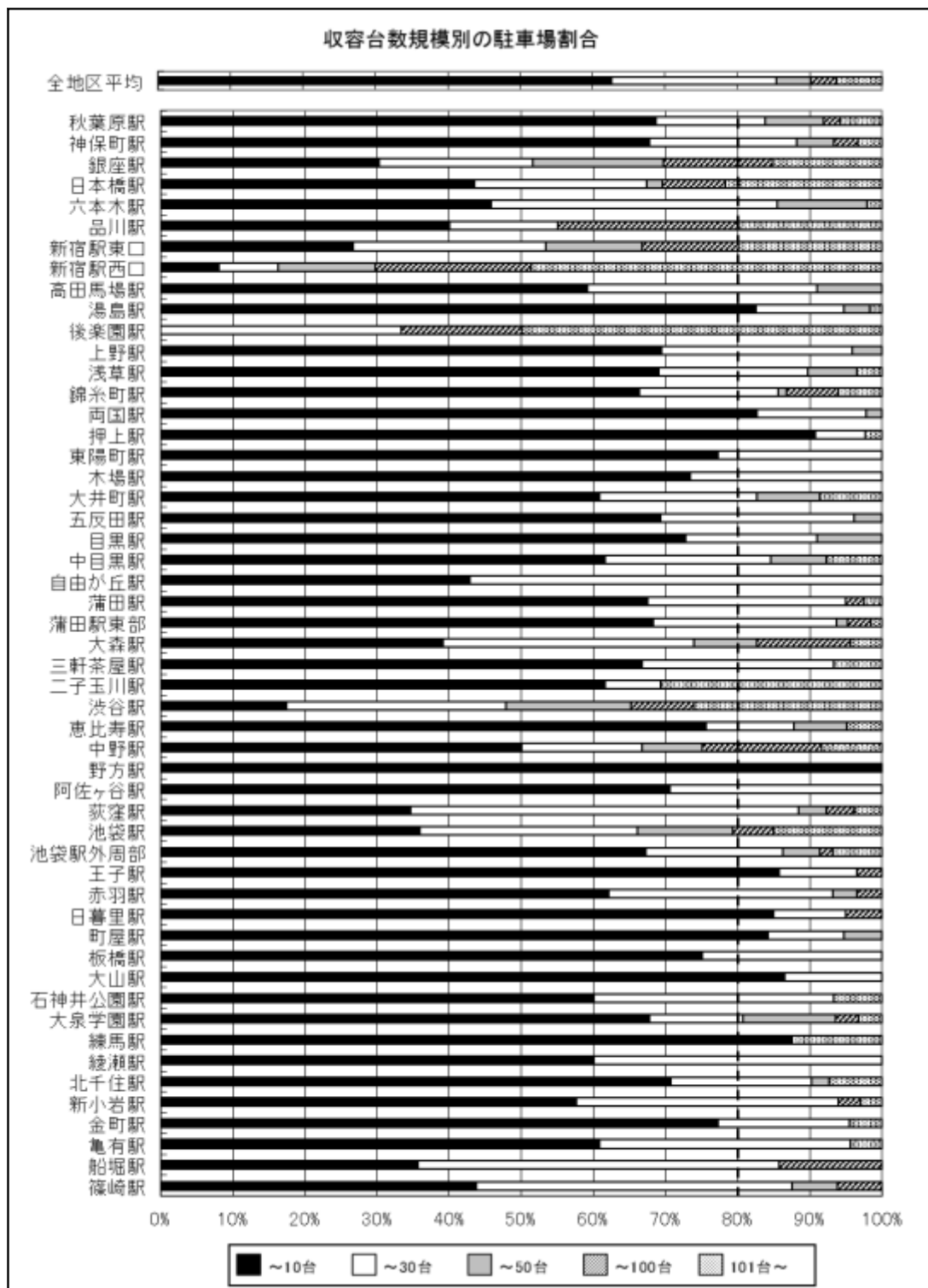


図 2-3 収容台数規模別の駐車場割合

2) 収容台数

① 平日

○収容台数が 2,000 台以上の地区は、秋葉原駅・銀座駅・日本橋駅・新宿駅西口・錦糸町駅・池袋駅・池袋駅外周部の 7 地区となっている。

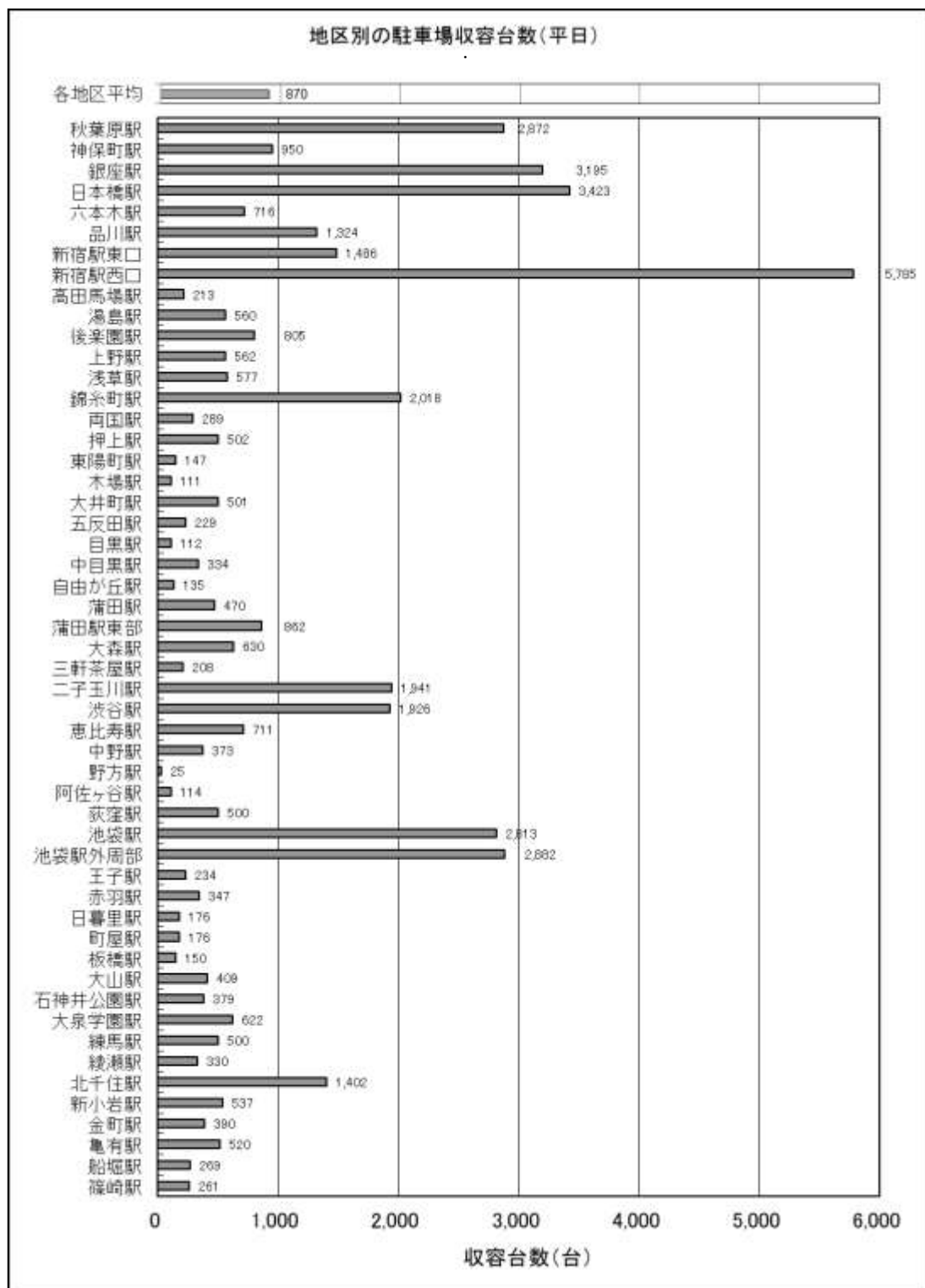


図 2-4 地区別の駐車場収容台数 (平日)

② 休日

○収容台数が 2,000 台以上の地区は、秋葉原駅・銀座駅・日本橋駅・新宿駅西口・錦糸町駅・池袋駅・池袋駅外周部の 7 地区となっている。

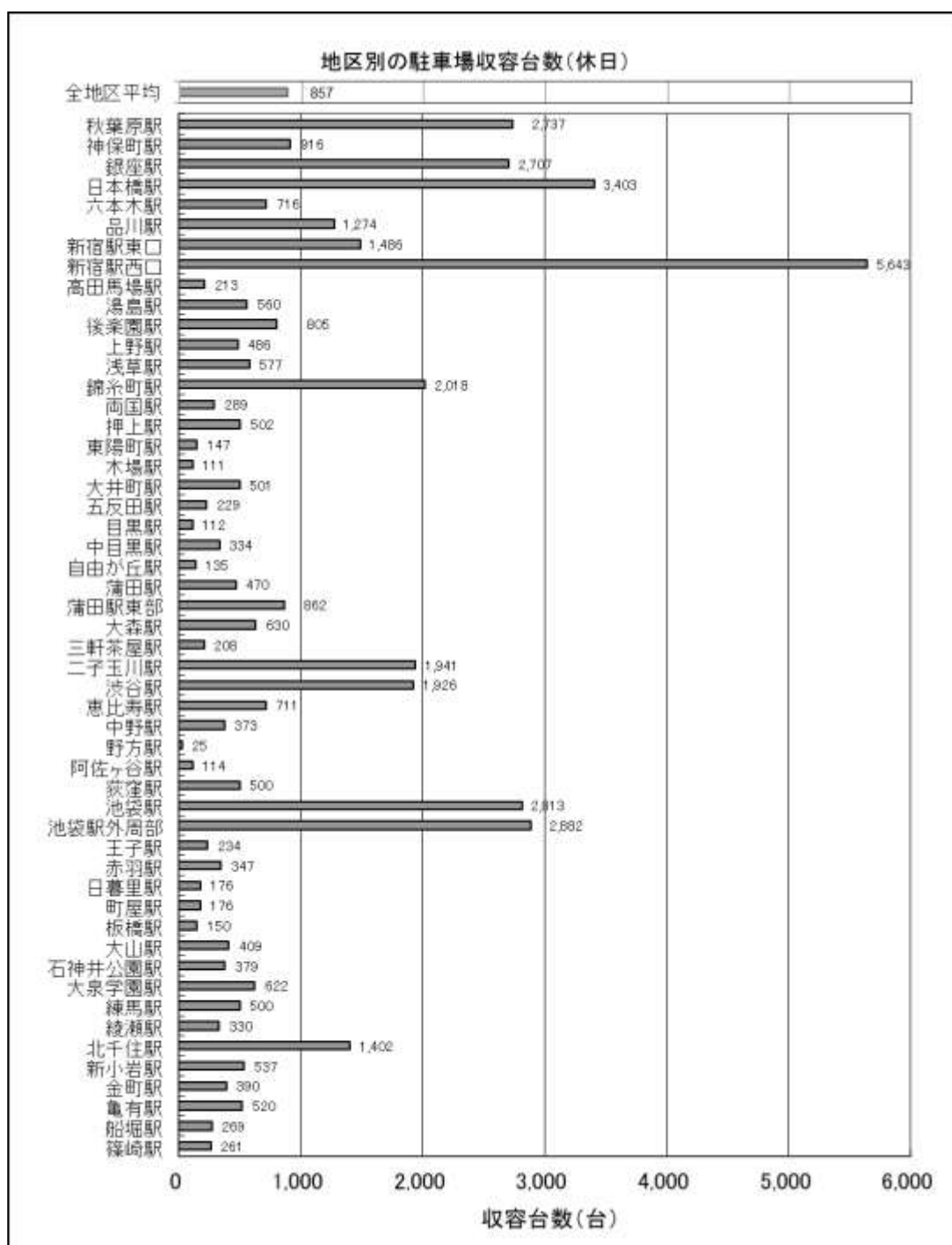


図 2-5 地区別の駐車場収容台数 (休日)

(2) 過年度調査結果との比較

1) 駐車場数の推移

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、駐車場数は増加している。

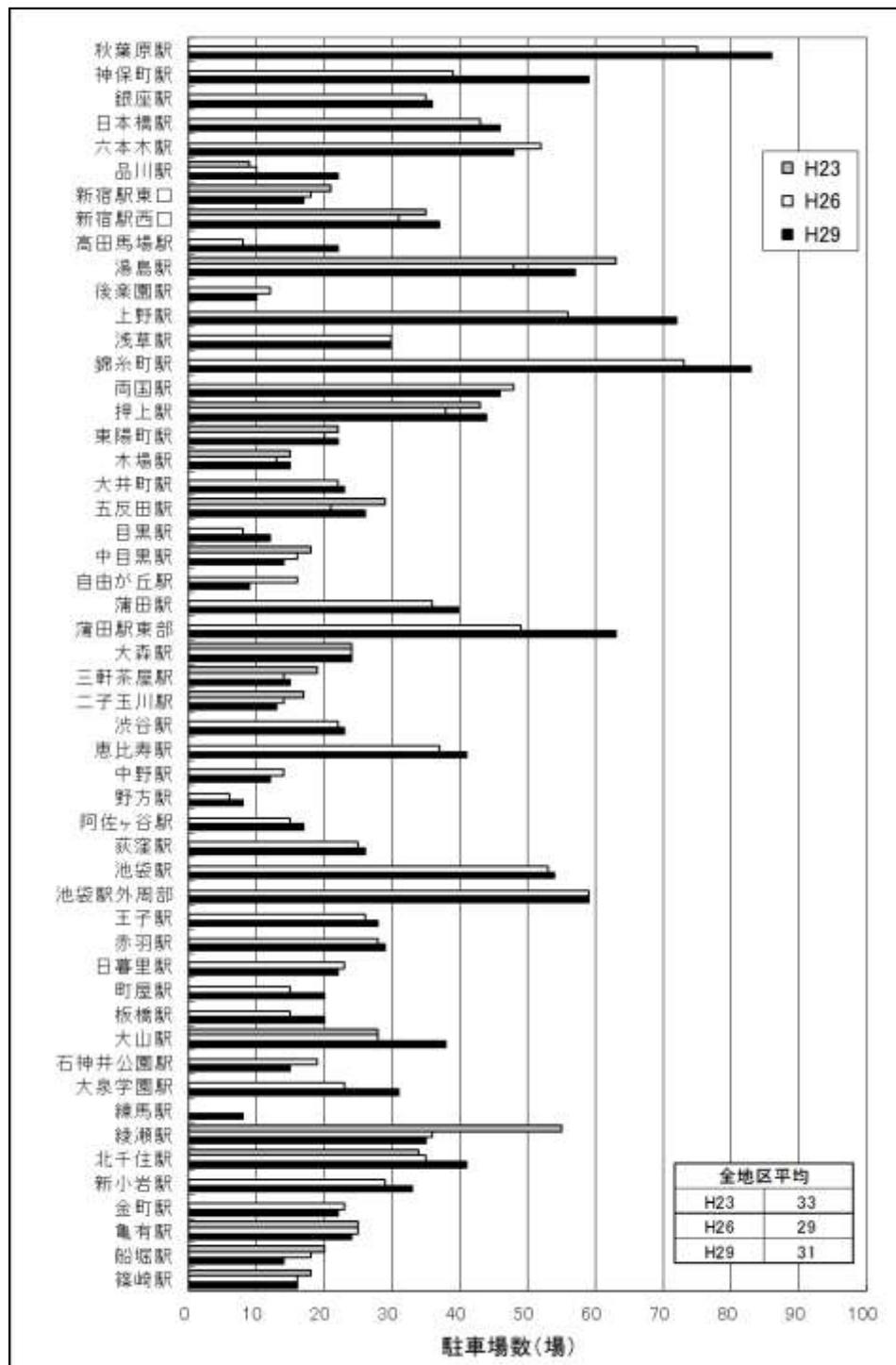


図 2-6 駐車場数の推移

2) 地区別の駐車場収容台数の推移

① 平日

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、平日の総収容台数は増加している。

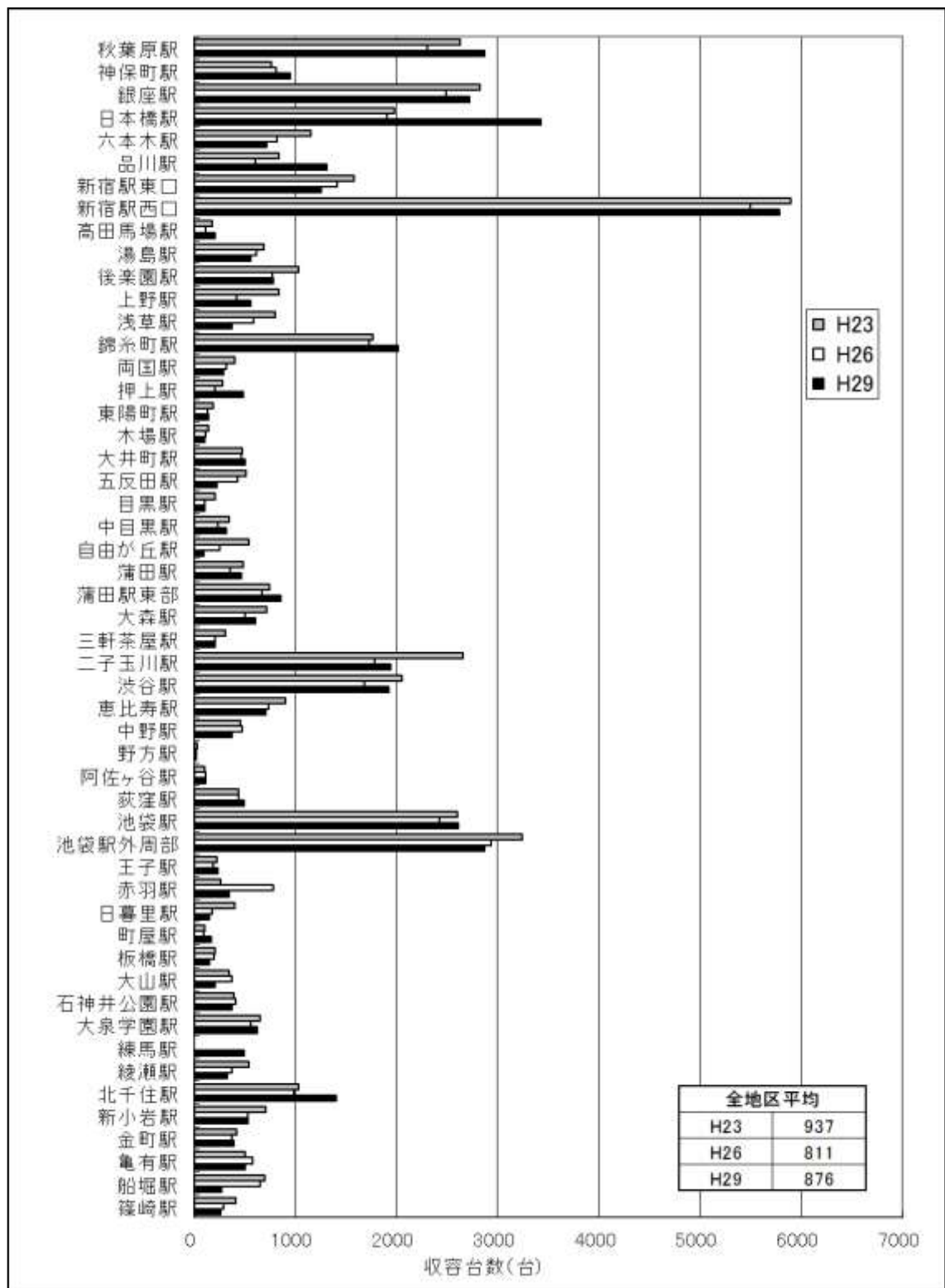


図 2-7 駐車場収容台数の推移 (平日)

② 休日

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、休日の収容台数は増加している。

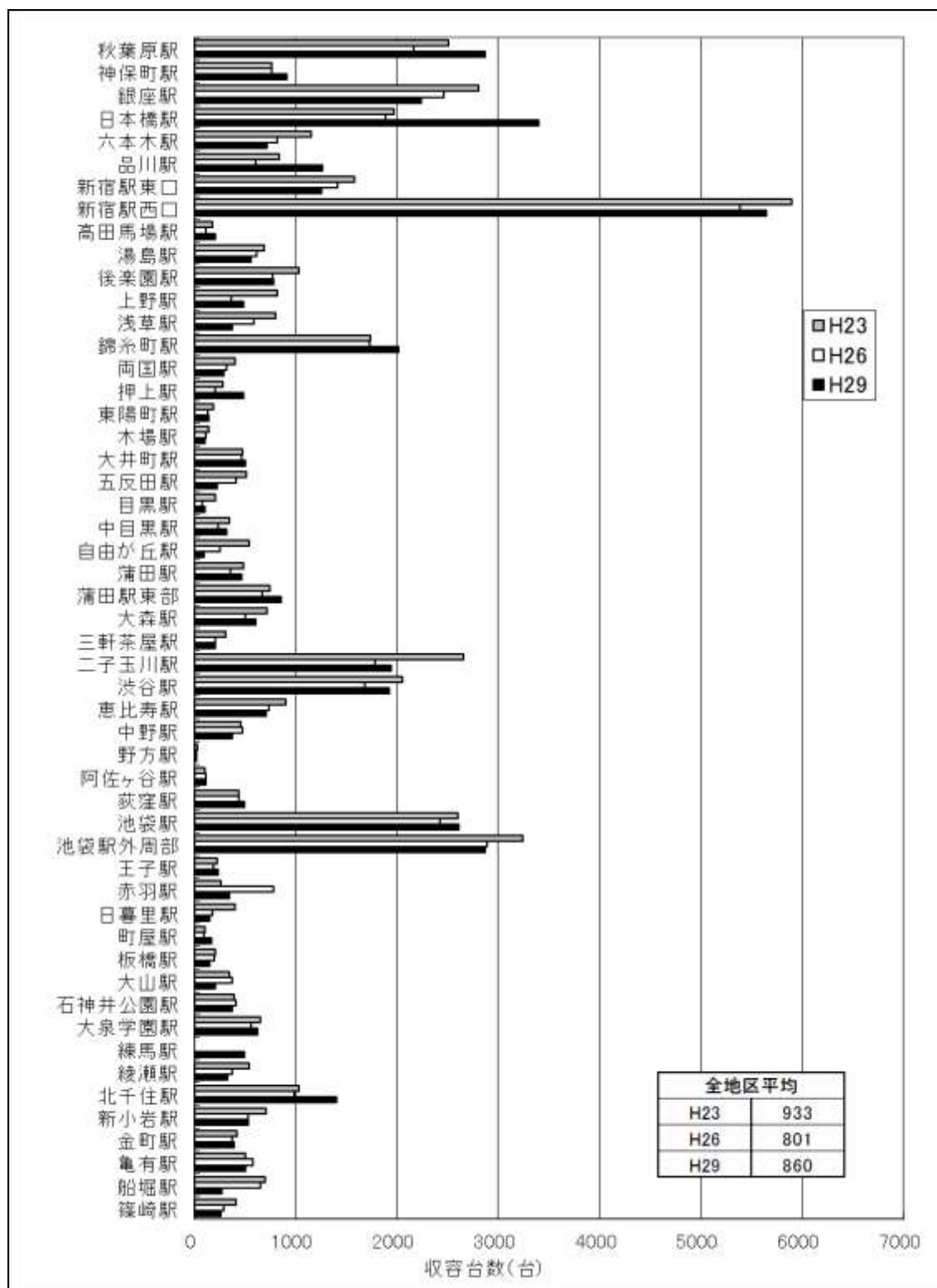


図 2-8 駐車場収容台数の推移 (休日)

2.2.2. 路外駐車場の利用実態(四輪)

(1) 地区別の実態

1) ピーク時の駐車場利用率

① 平日

○六本木駅・品川駅・上野駅・木場駅・蒲田駅・大森駅・三軒茶屋駅・町屋駅・大山駅・金町駅・亀有駅の11地区でピーク時の駐車場利用率が80%を超えている。

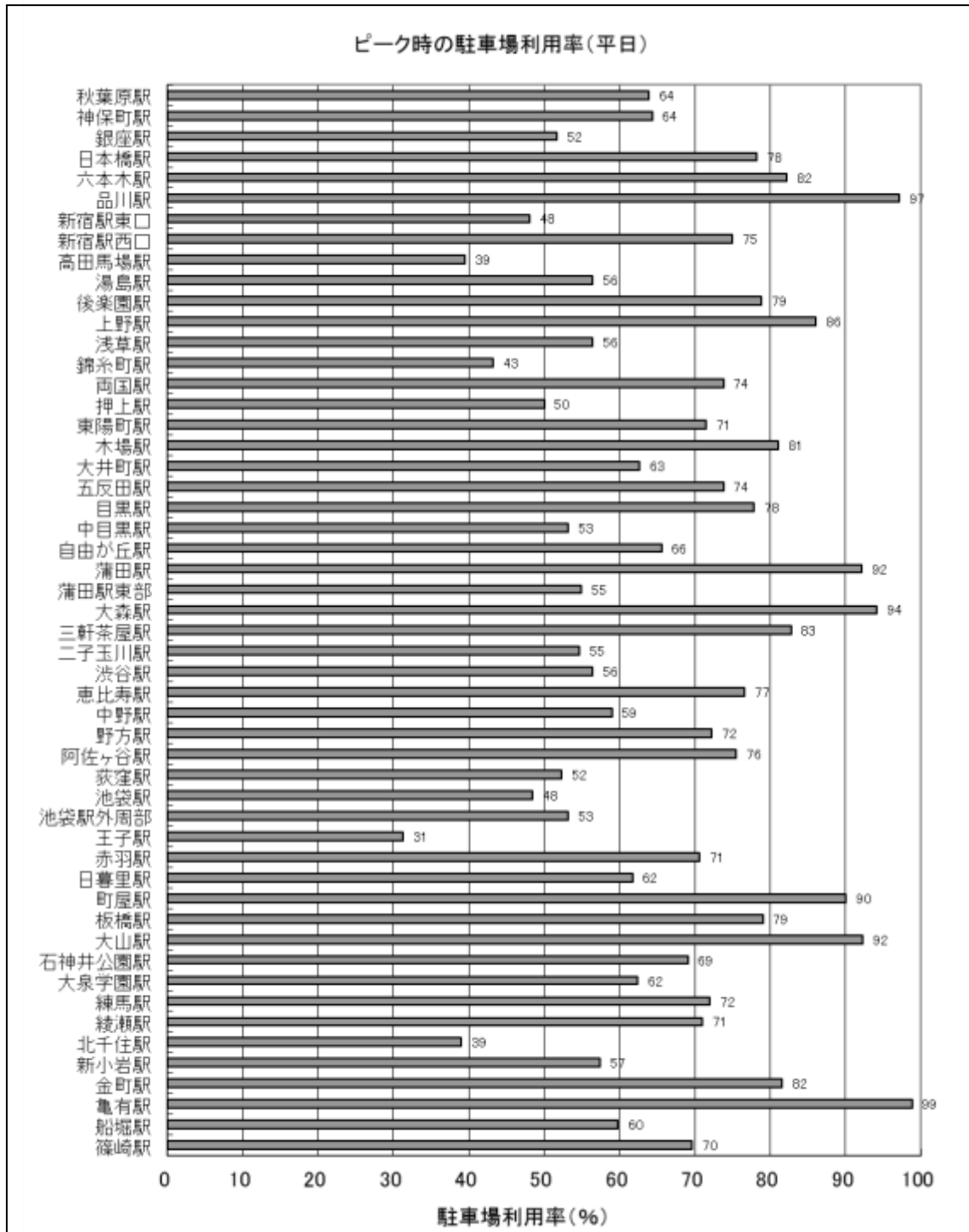


図 2-9 ピーク時の駐車場利用率 (平日)

② 休日

○品川駅・浅草駅・蒲田駅・三軒茶屋駅・池袋駅外周部・練馬駅の6地区でピーク時の駐車場利用率が80%を超えている。

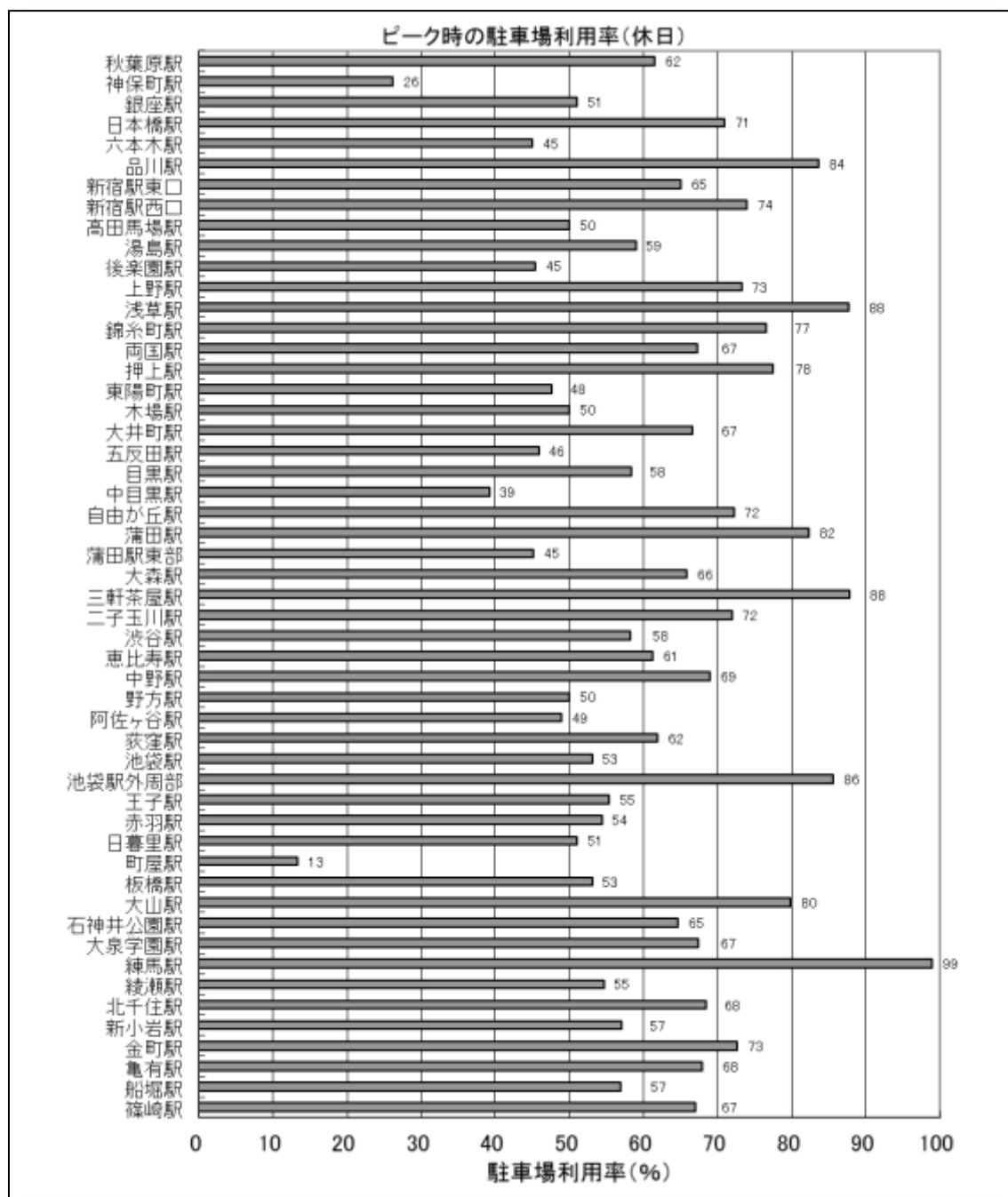


図 2-10 ピーク時の駐車場利用率 (休日)

① ピーク時の駐車場利用台数（平日）

- ピーク時の駐車場利用台数が最も多いのは、新宿駅西口で 4,336 台である。
 ○一方、高田馬場駅・木場駅・目黒駅・自由が丘駅・野方駅・阿佐ヶ谷駅・王子駅・日暮里駅は駐車場利用台数が 100 台未満である。

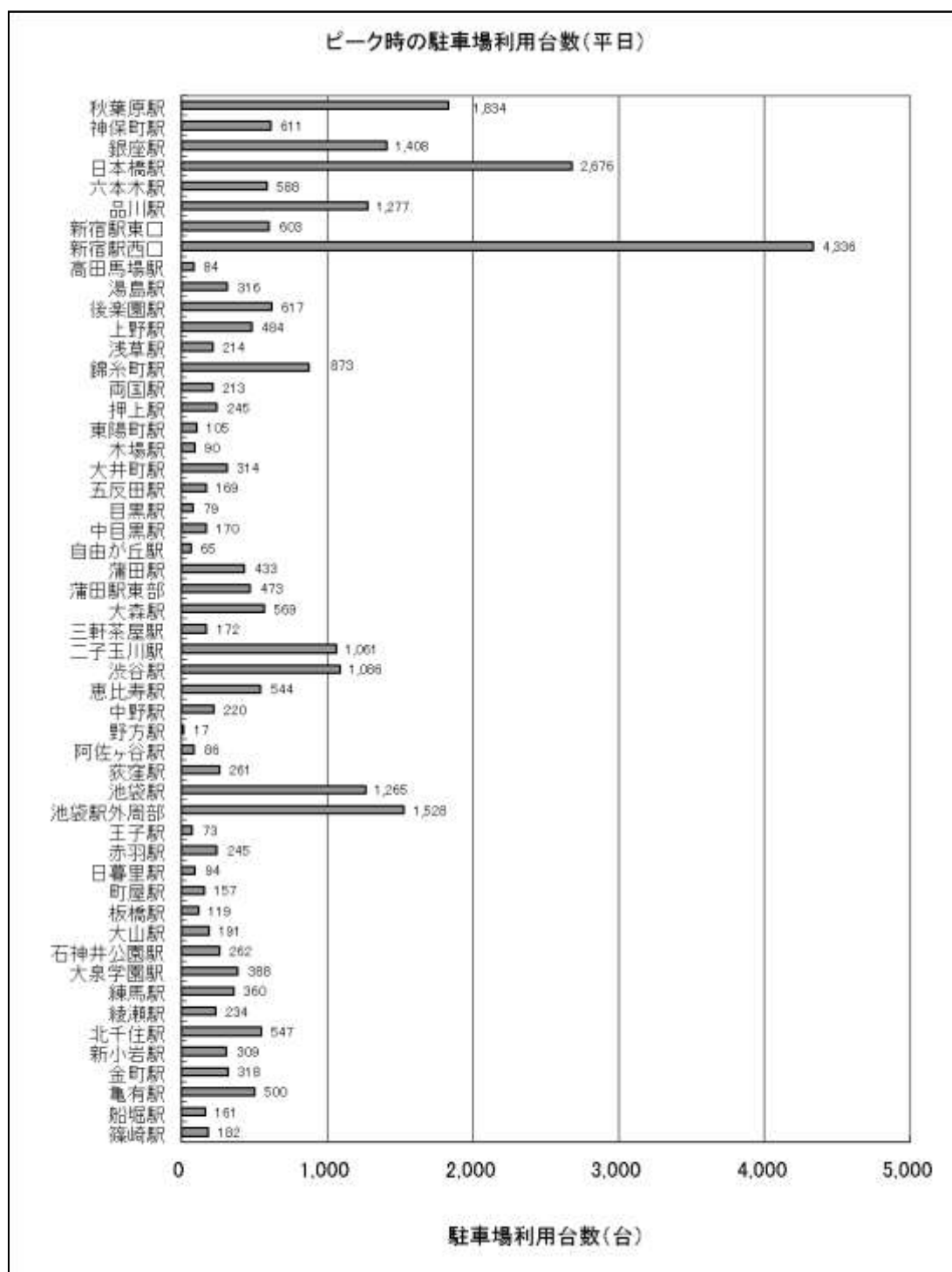


図 2-11 ピーク時の駐車場利用台数（平日）

② ピーク時の駐車場利用台数（休日）

- ピーク時の駐車場利用台数が最も多いのは、新宿駅西口で 4,172 台である。
 ○一方、東陽町駅・木場駅・目黒駅・自由が丘駅・野方駅・阿佐ヶ谷駅・日暮里駅・町屋駅・板橋駅は、駐車場利用台数が 100 台未満である。

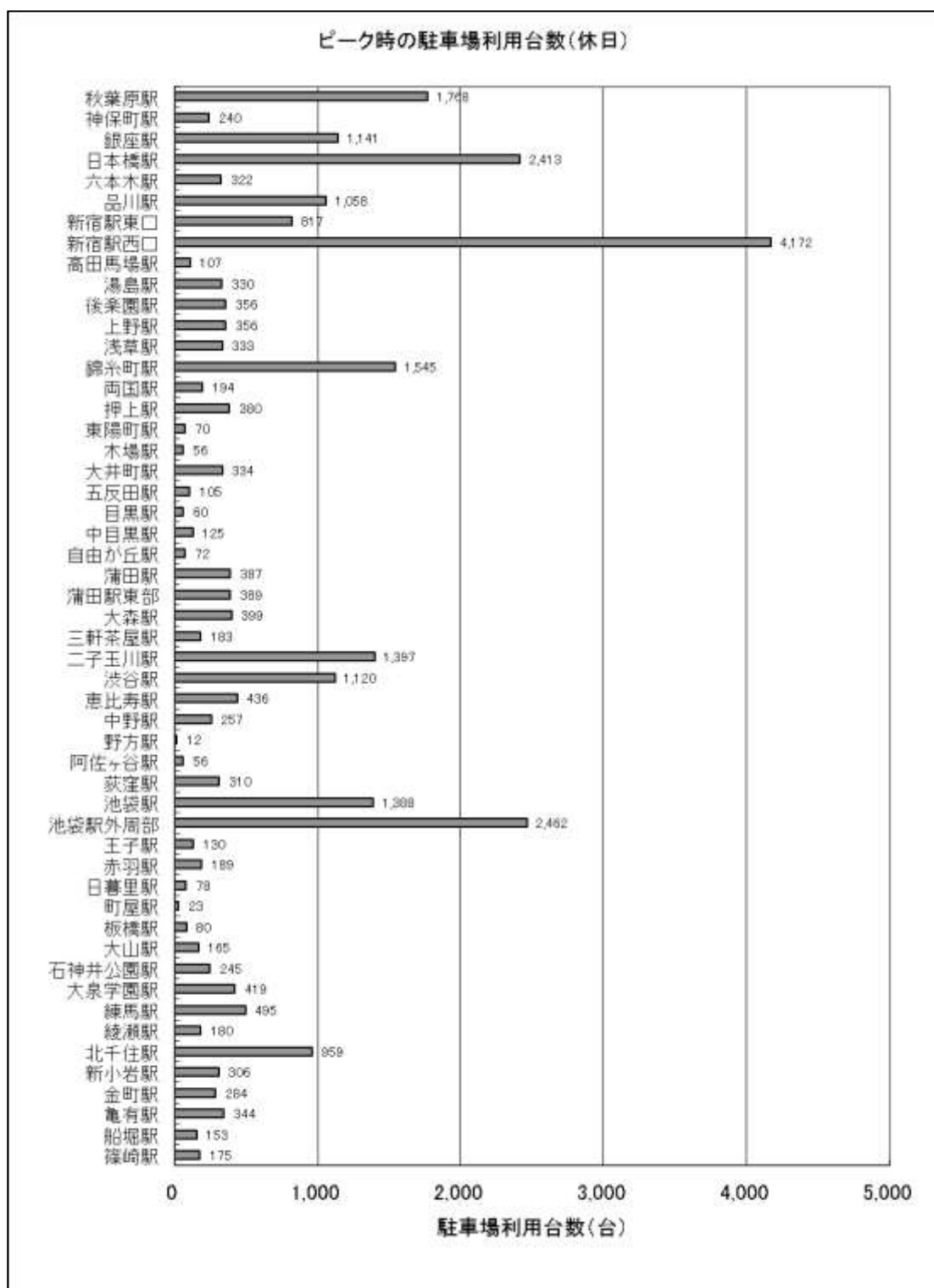


図 2-12 ピーク時の駐車場利用台数（休日）

2) ピーク時の駐車場利用台数と駐車場利用率

① 平日

○ピーク時の駐車場利用台数は、秋葉原駅・銀座駅・日本橋駅・品川駅・新宿駅西口・二子玉川駅・渋谷駅・池袋駅・池袋駅外周部の9地区で1,000台以上となっている。

○ピーク時の駐車場利用率は、六本木駅・品川駅・上野駅・木場駅・蒲田駅・大森駅・三軒茶屋駅・町屋駅・大山駅・新小岩駅・金町駅の11地区で80%以上となっている。

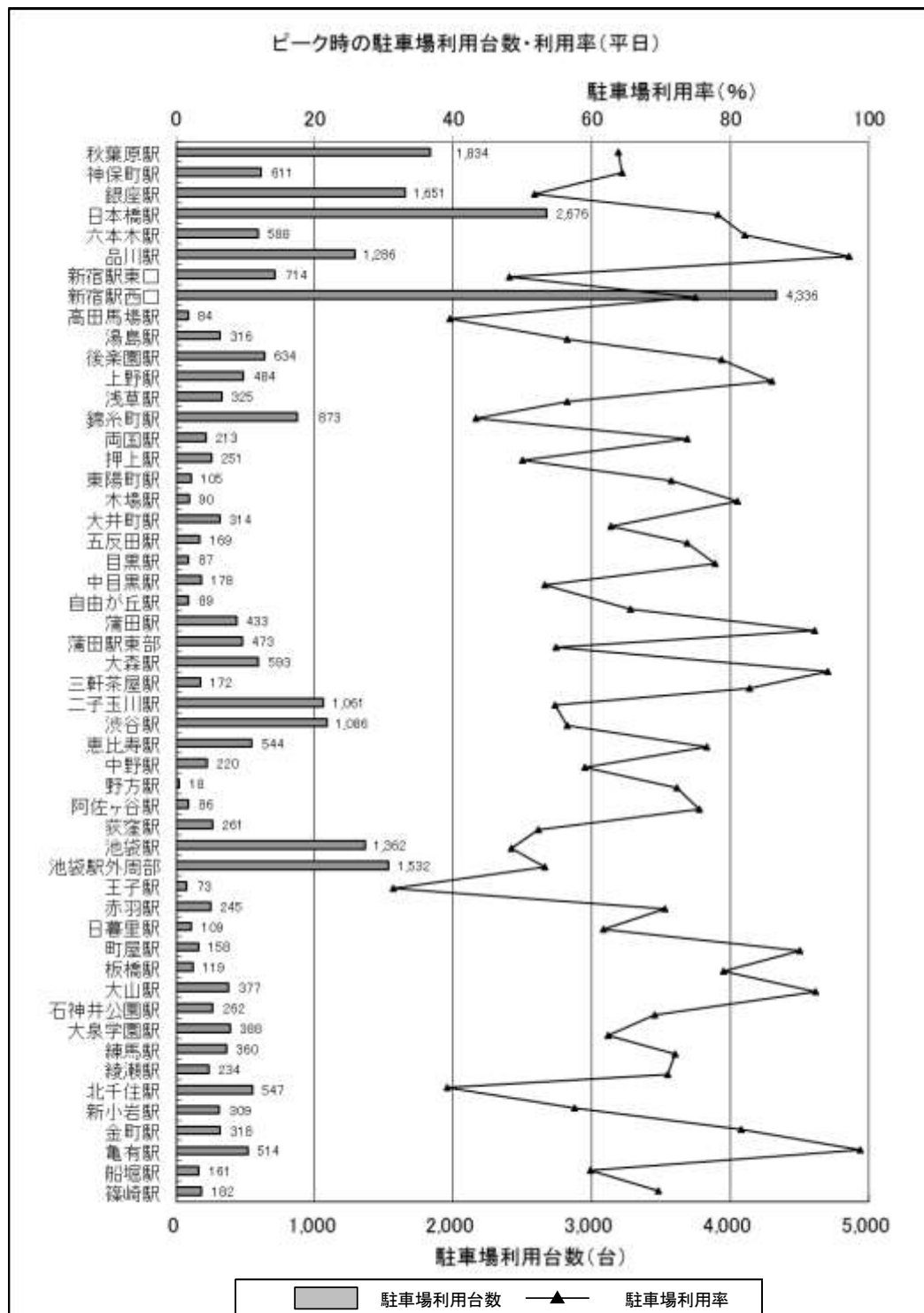


図 2-13 ピーク時の駐車場利用台数・利用率(平日)

② 休日

○ピーク時の駐車場利用台数は、秋葉原駅・銀座駅・日本橋駅・品川駅・新宿駅西口・錦糸町駅・二子玉川駅・渋谷駅・池袋駅・池袋駅外周部の10地区で1,000台以上となっている。

○ピーク時の駐車場利用率は、品川駅・浅草駅・蒲田駅・三軒茶屋駅・池袋外周部駅・練馬駅の6地区で80%以上となっている。

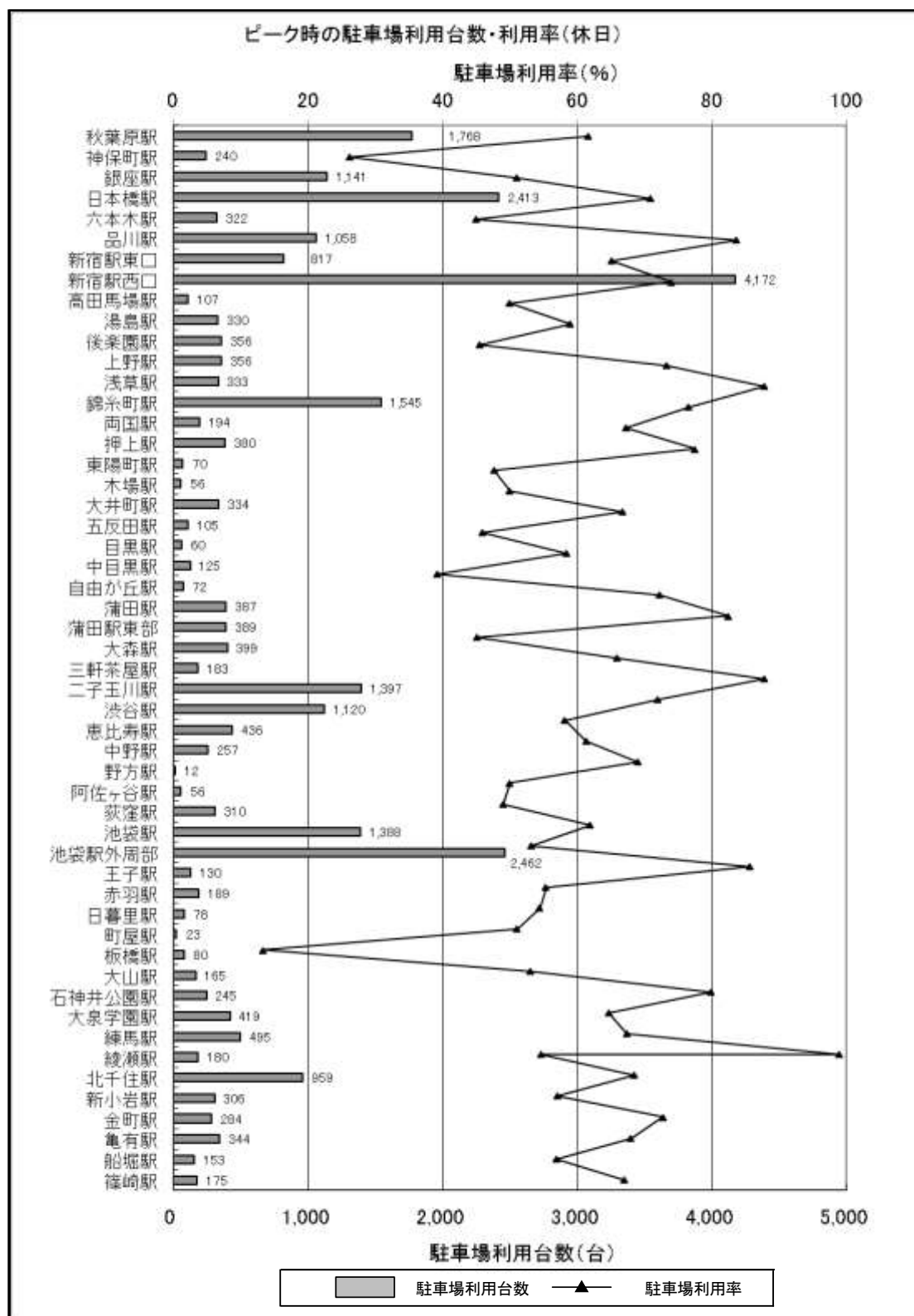


図 2-14 ピーク時の駐車場利用台数・利用率(休日)

(2) 過年度調査結果との比較

1) ピーク時の駐車場利用率の推移

① 平日

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、全体的にピーク時の駐車場利用率は増加傾向にある。

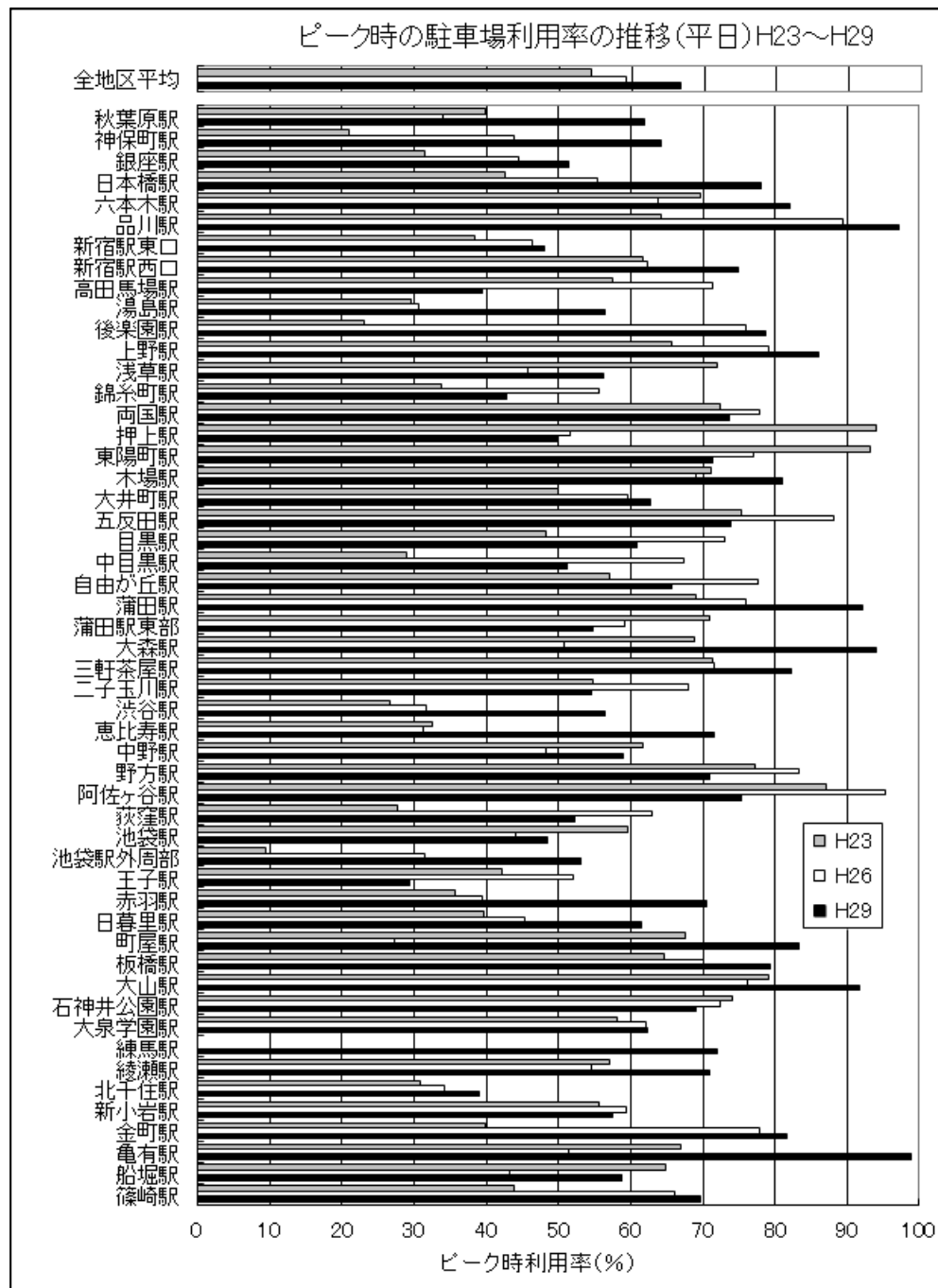


図 2-15 ピーク時の駐車場利用率の推移 (平日)

② 休日

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、全体的にピーク時の駐車場利用率は増加傾向にある。

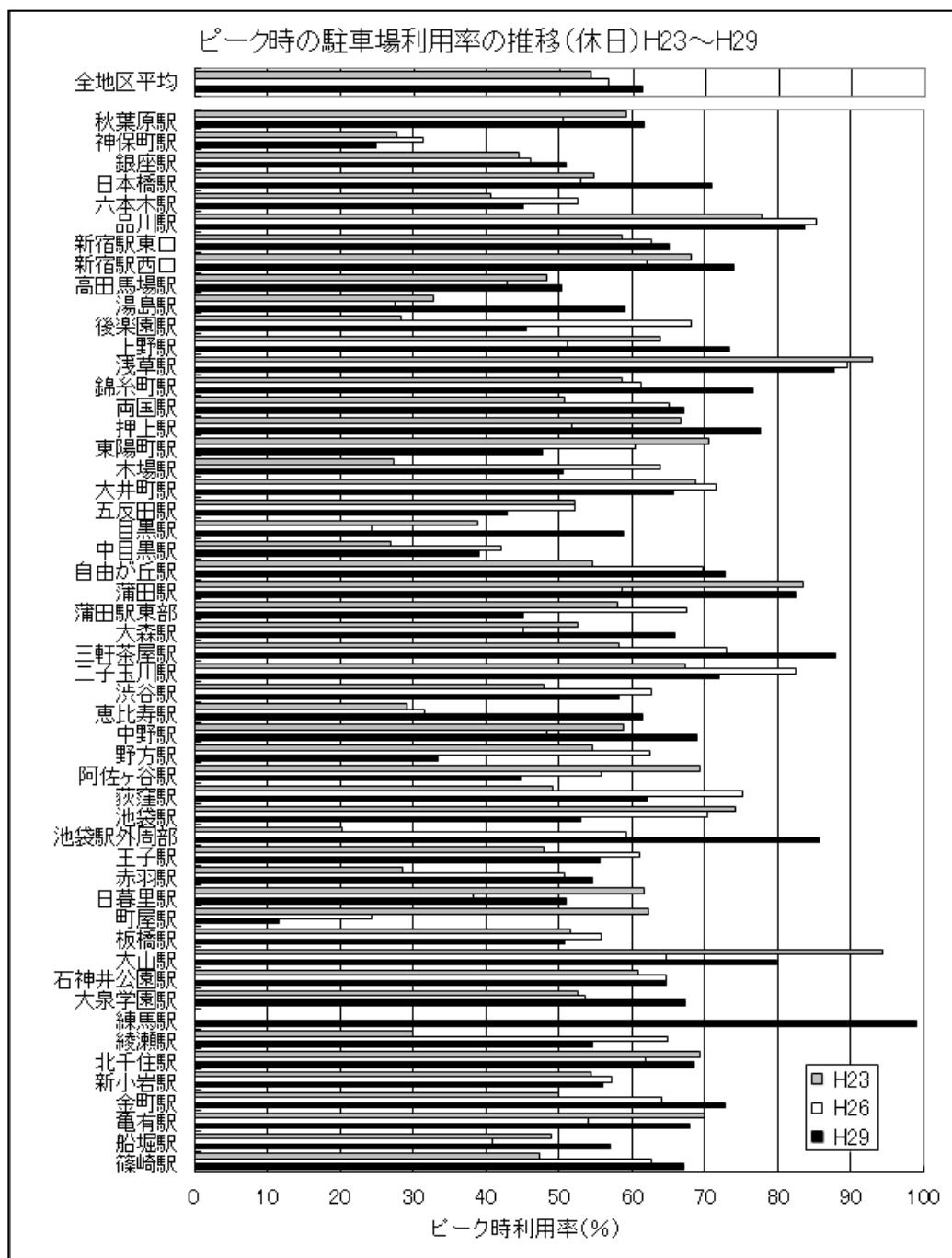


図 2-16 ピーク時の駐車場利用率の推移 (休日)

2.2.3. PM・PTの実態(四輪)

(1) 地区別の実態

1) PM・PT設置数

① 平日

- 52 地区中、30 地区でPM・PTが設置されている。
- また、22 地区で貨物車用のPM・PTが設置されている。

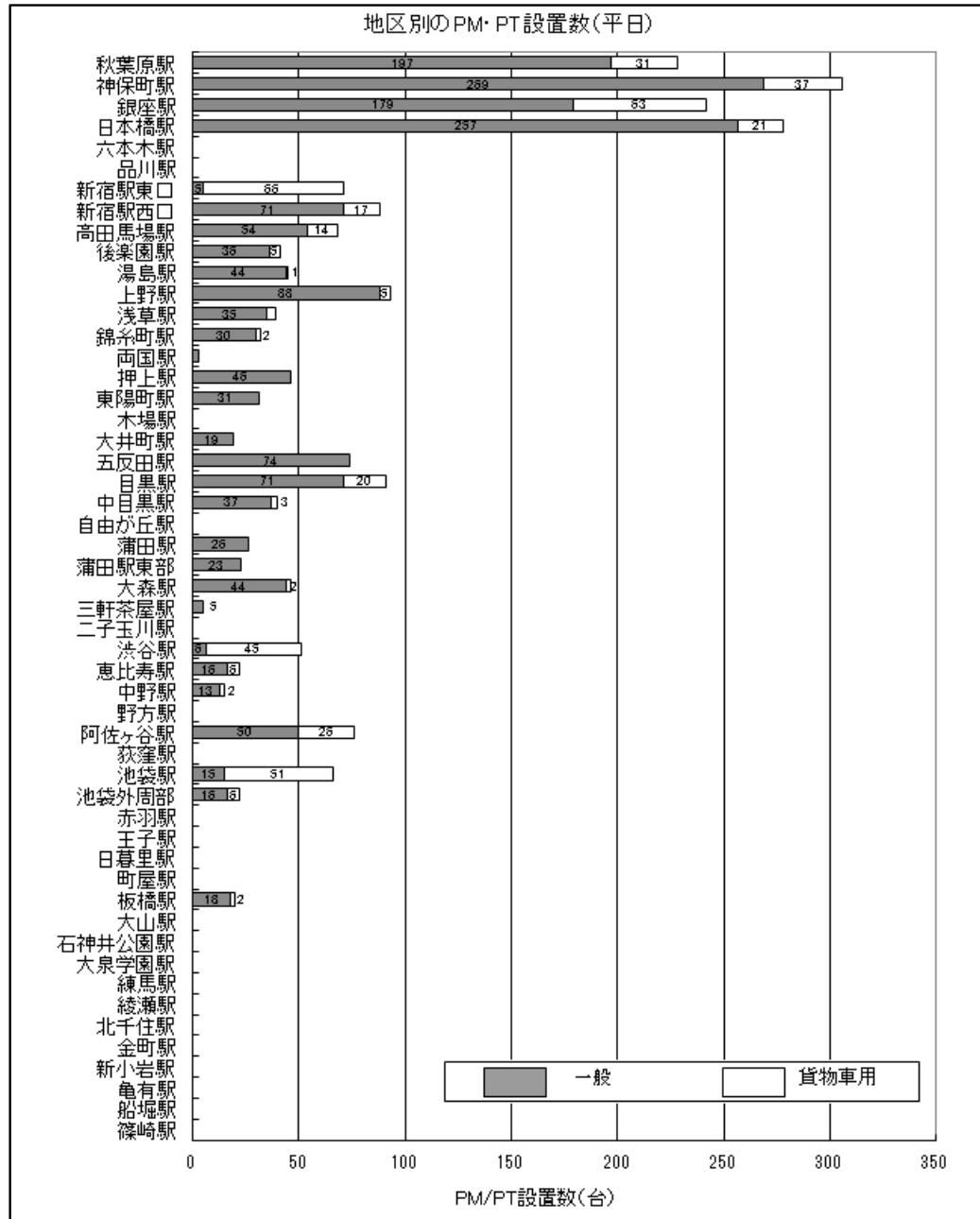


図 2-17 地区別のPM・PT設置数(平日)

② 休日

- 52 地区中、14 地区でPM・PTが設置されている。
- また、12 地区で貨物車用のPM・PTが設置されている。

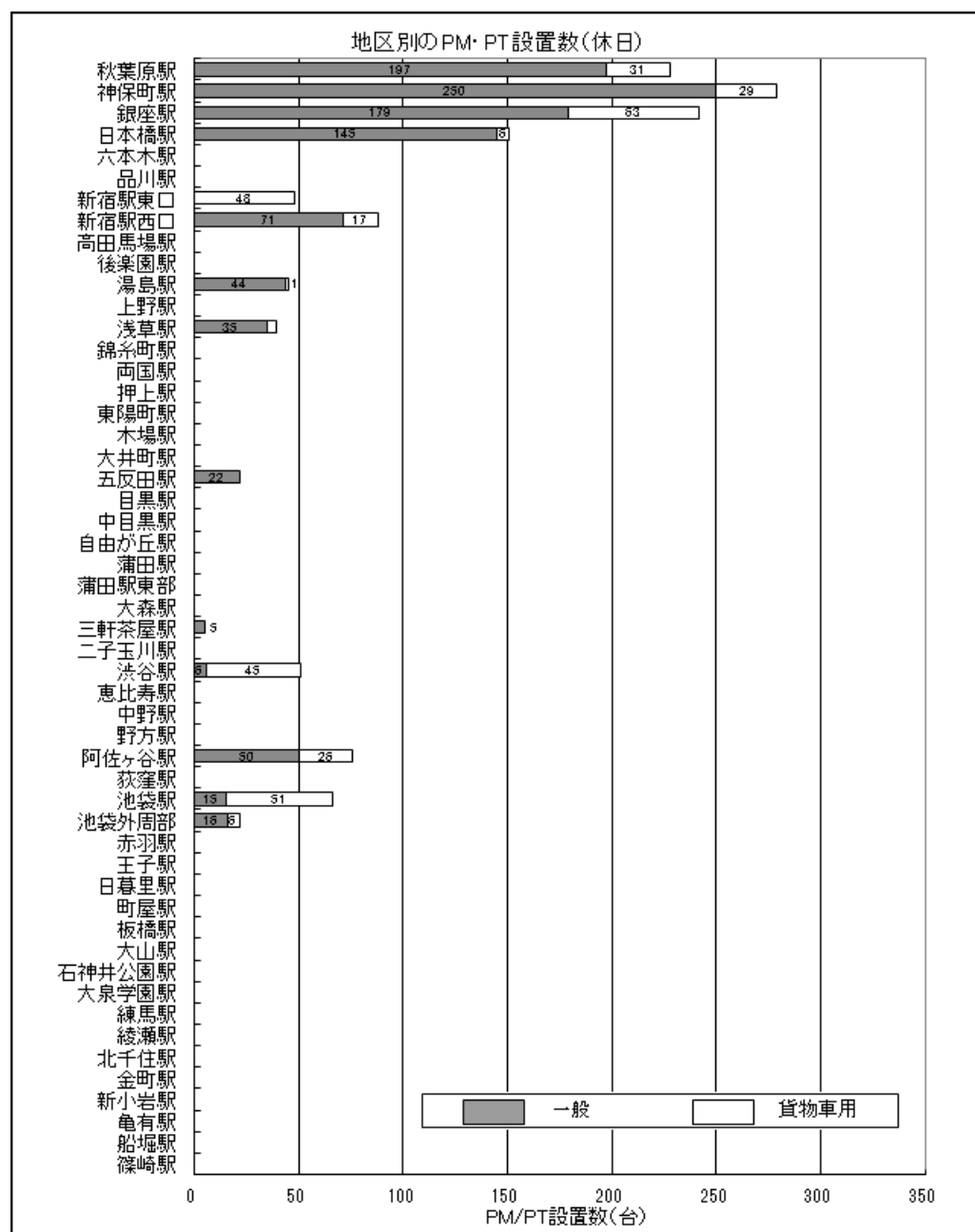


図 2-18 地区別のPM・PT設置数 (休日)

2) ピーク時のPM・PT利用台数・利用率

① 平日

○蒲田駅・三軒茶屋駅・池袋駅外周部の3地区は、ピーク時のPM・PT利用率が70%以上となっている。

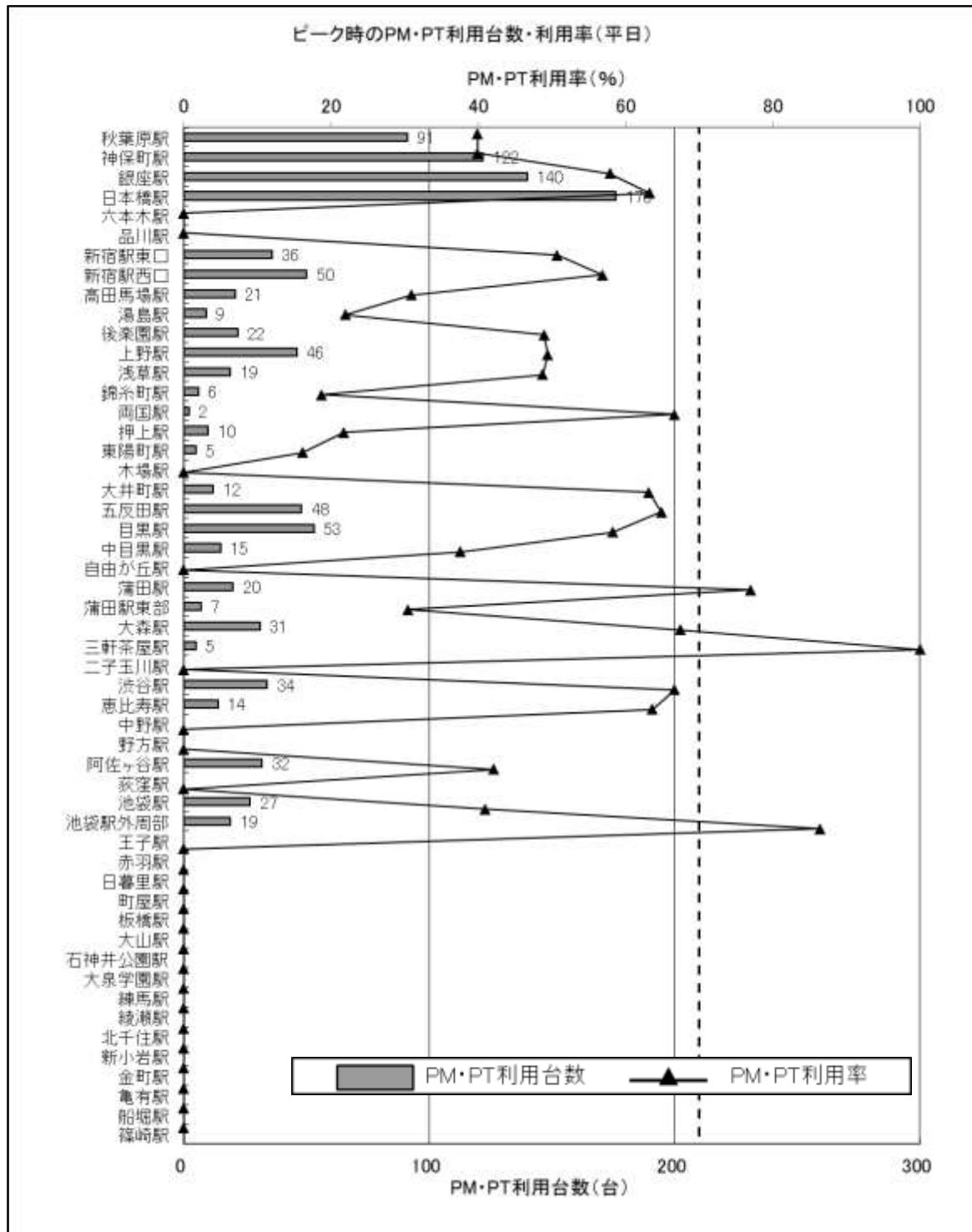


図 2-19 ピーク時のPM・PT利用台数・利用率(平日)

② 休日

○日本橋駅・池袋駅外周部の2地区はピーク時のPM・PT利用率が70%以上となっている。

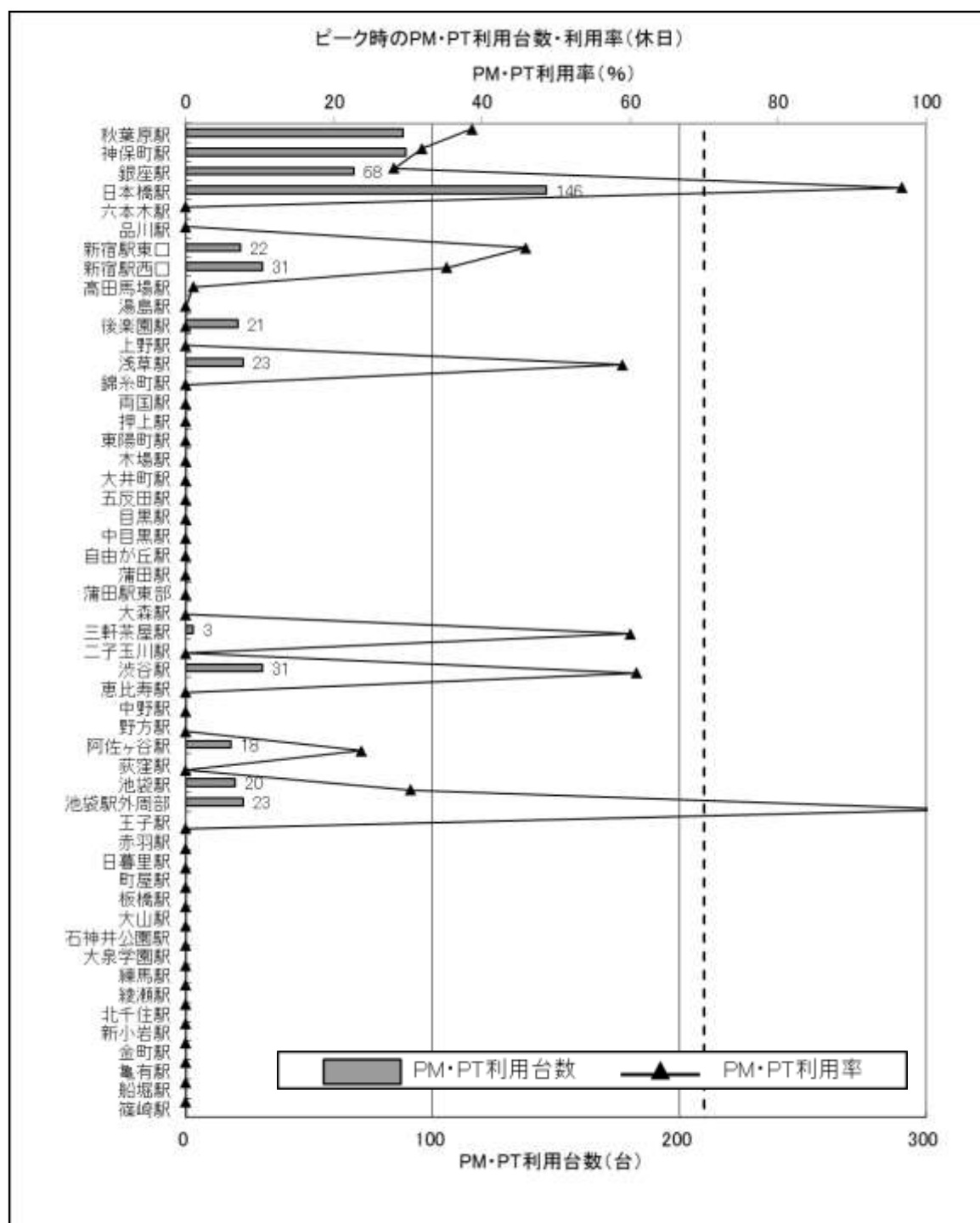


図 2-20 ピーク時のPM・PT利用台数・利用率(休日)

(2) 過年度調査結果との比較

1) PM・PT設置数の推移

① 平日（一般・貨物車用PM・PT）

○PM・PTが設置されているのは30地区あり、そのうち秋葉原駅・神保町駅・銀座駅・日本橋駅は、200台以上PM・PTが設置されている。

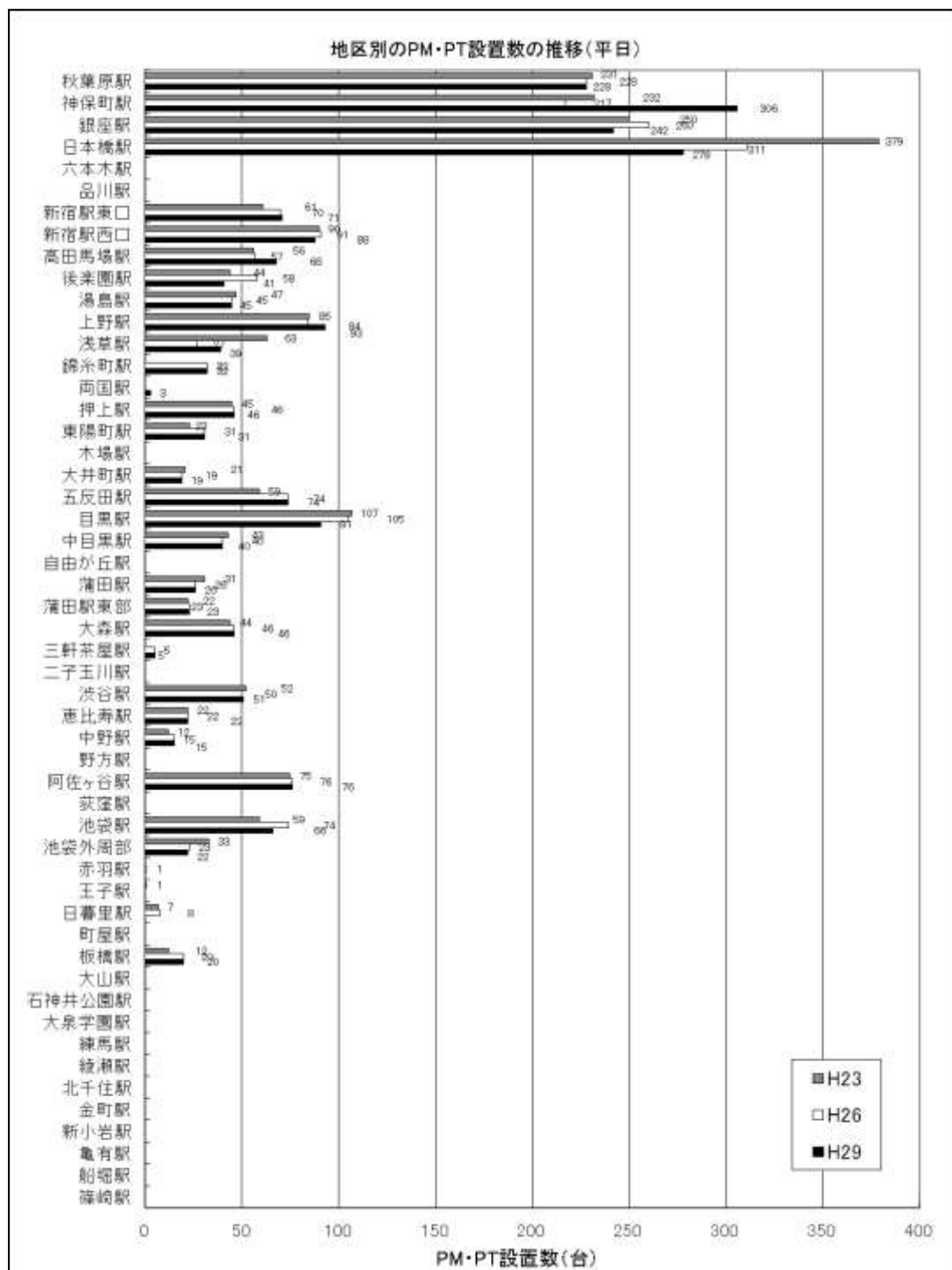


図 2-21 地区別のPM・PT設置数の推移（平日）

② 休日（一般・貨物車用PM・PT）

○PM・PTが設置されているのは14地区あり、そのうち秋葉原駅・神保町駅・銀座駅は、200台以上PM・PTが設置されている。

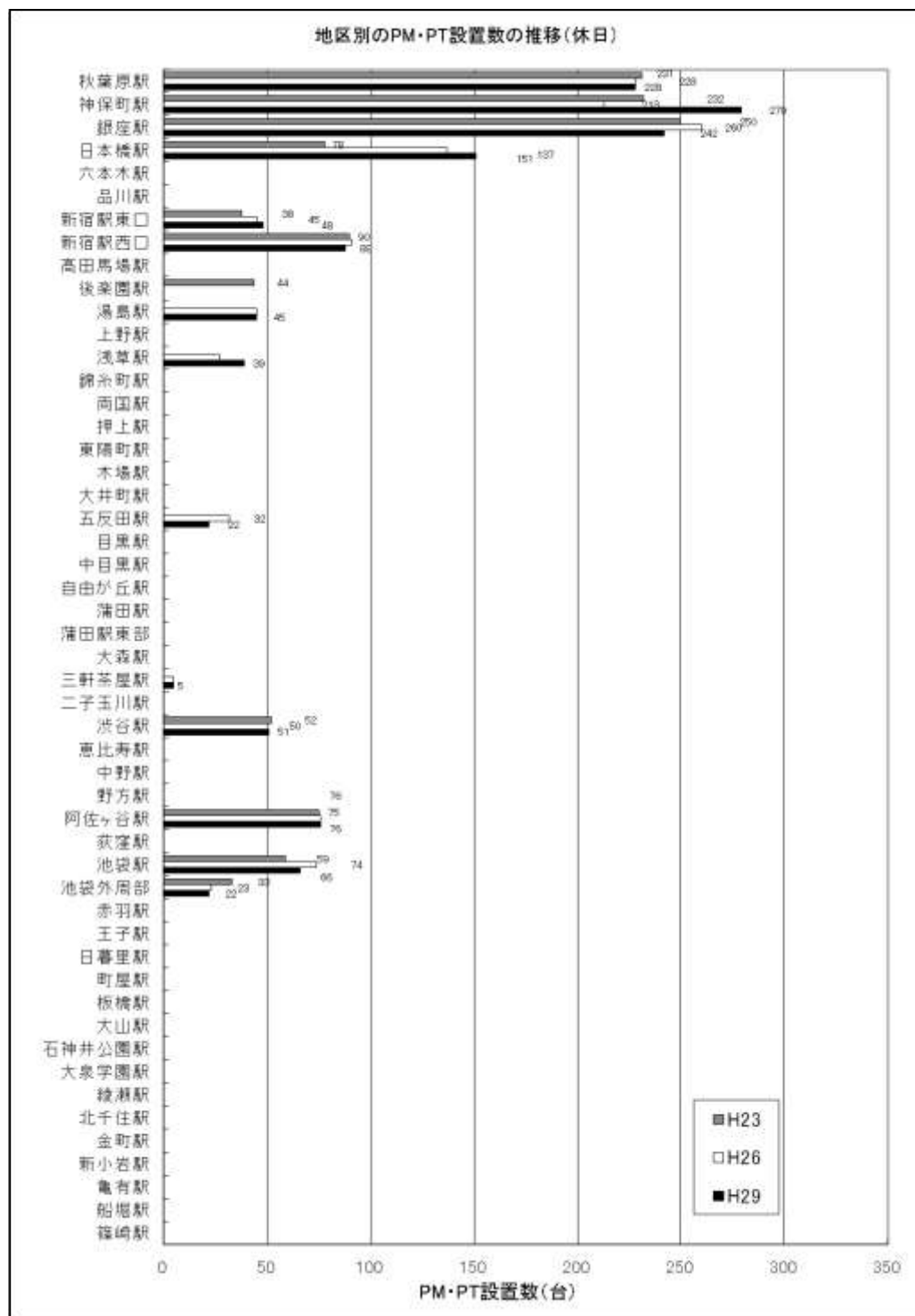


図 2-22 地区別のPM・PT設置数の推移(休日)

① 平日（貨物車用PM・PT）

○銀座駅・新宿駅東口・池袋駅の3地区では、平成29年度の貨物車用PM・PT設置数が50台を超えている。

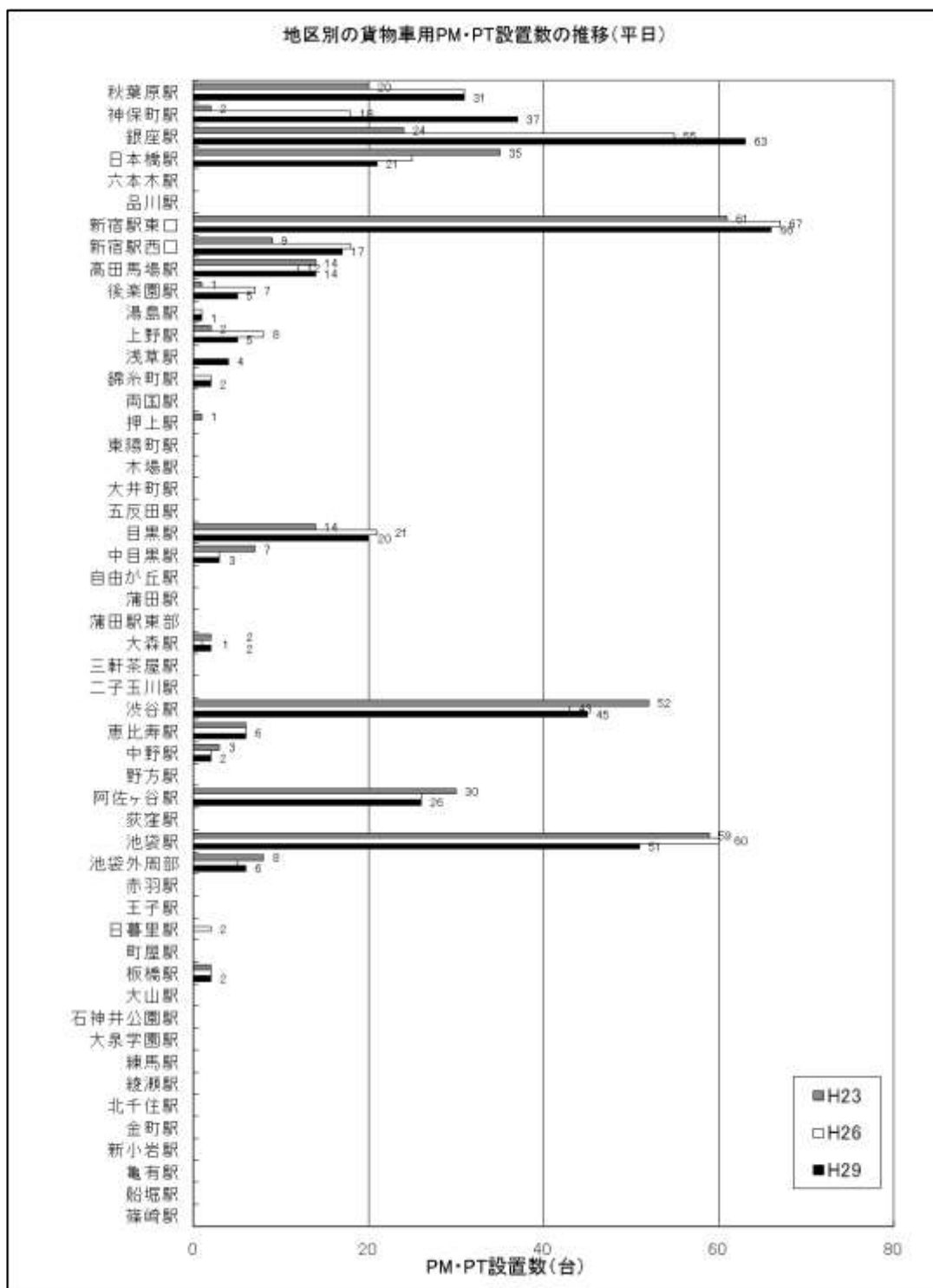


図 2-23 地区別の貨物車用PM・PT設置数の推移（平日）

② 休日（貨物車用PM・PT）

○銀座駅・池袋駅の2地区では平成29年度の貨物車用PM・PT設置数が50台を超えている。

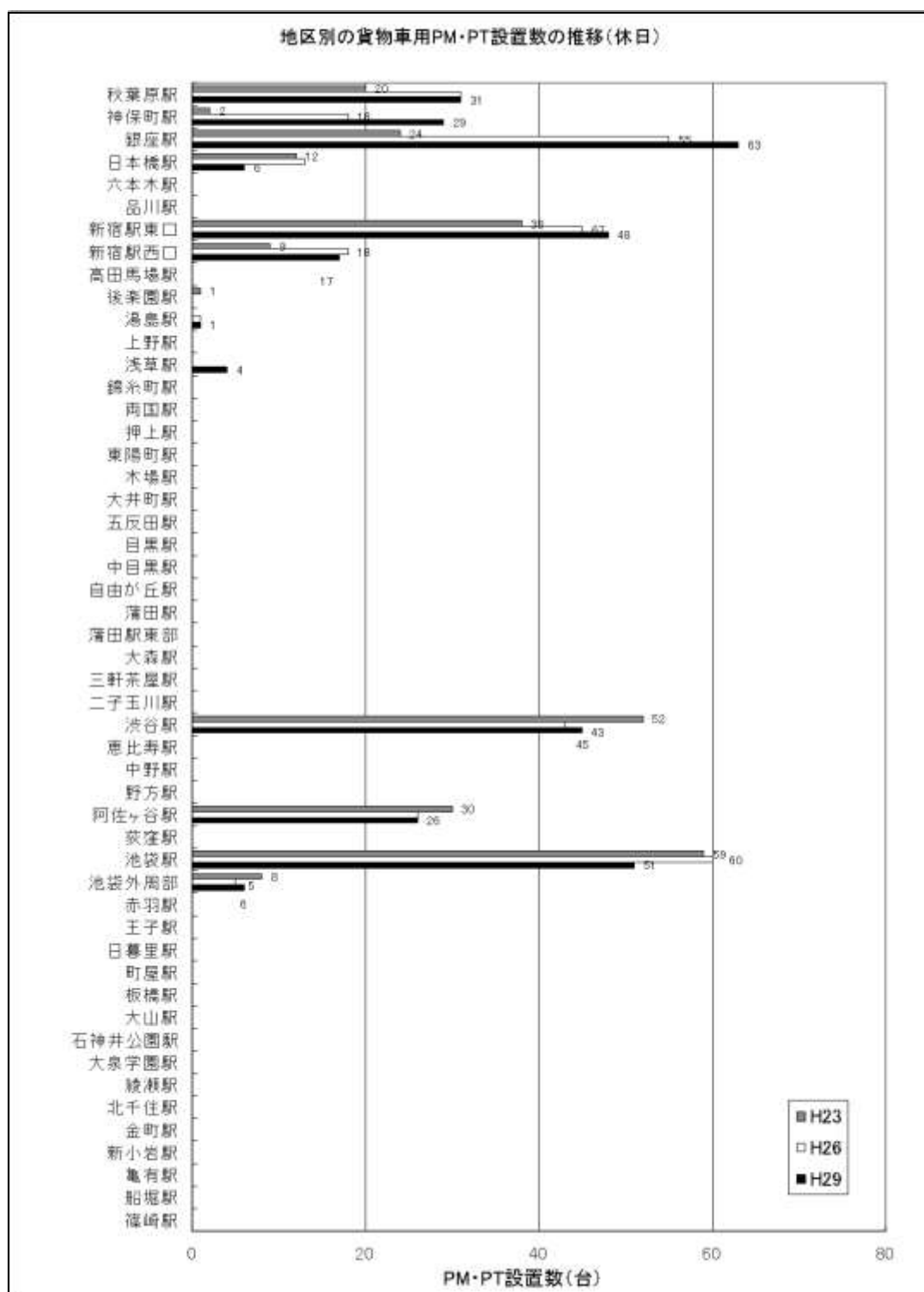


図 2-24 地区別の貨物車用PM・PT設置数の推移(休日)

2.2.4. 路上駐車の実態(四輪)

四輪の路上駐車実態では、合法路上駐車・違法路上駐車・入庫待ち・客待ちタクシーを含むものとした。なお、違法路上駐車には、PM・PTの違法路上駐車（稼働時間外駐車や料金未払）を含む。

(1) 地区別の実態

1) ピーク時の路上駐車台数（台）

① 平日

○路上駐車が最も多いのは、日本橋駅の474台であり、次いで神保町駅が327台、秋葉原駅と新宿駅西口が319台である。

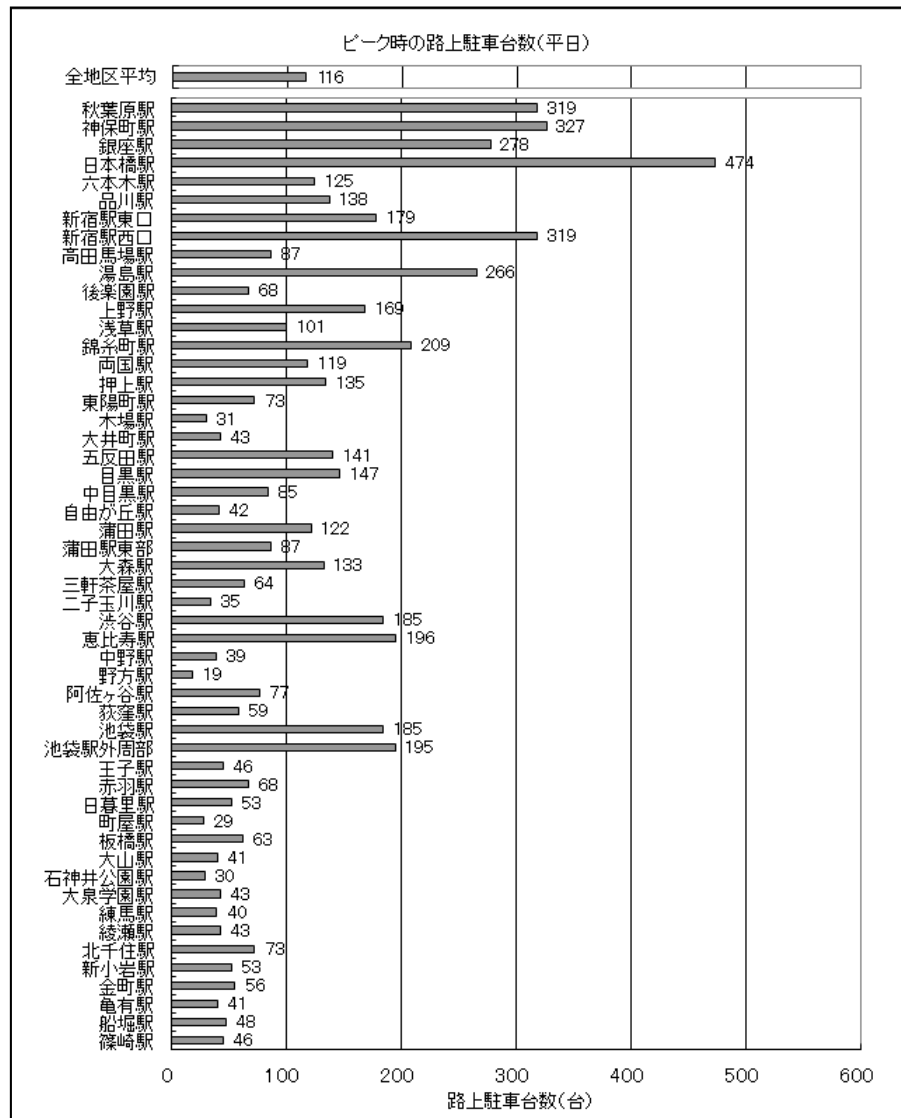


図 2-25 ピーク時の路上駐車台数（平日）

② 休日

○路上駐車が最も多いのは、日本橋駅の 428 台であり、次いで神保町駅が 290 台、秋葉原駅が 274 台である。

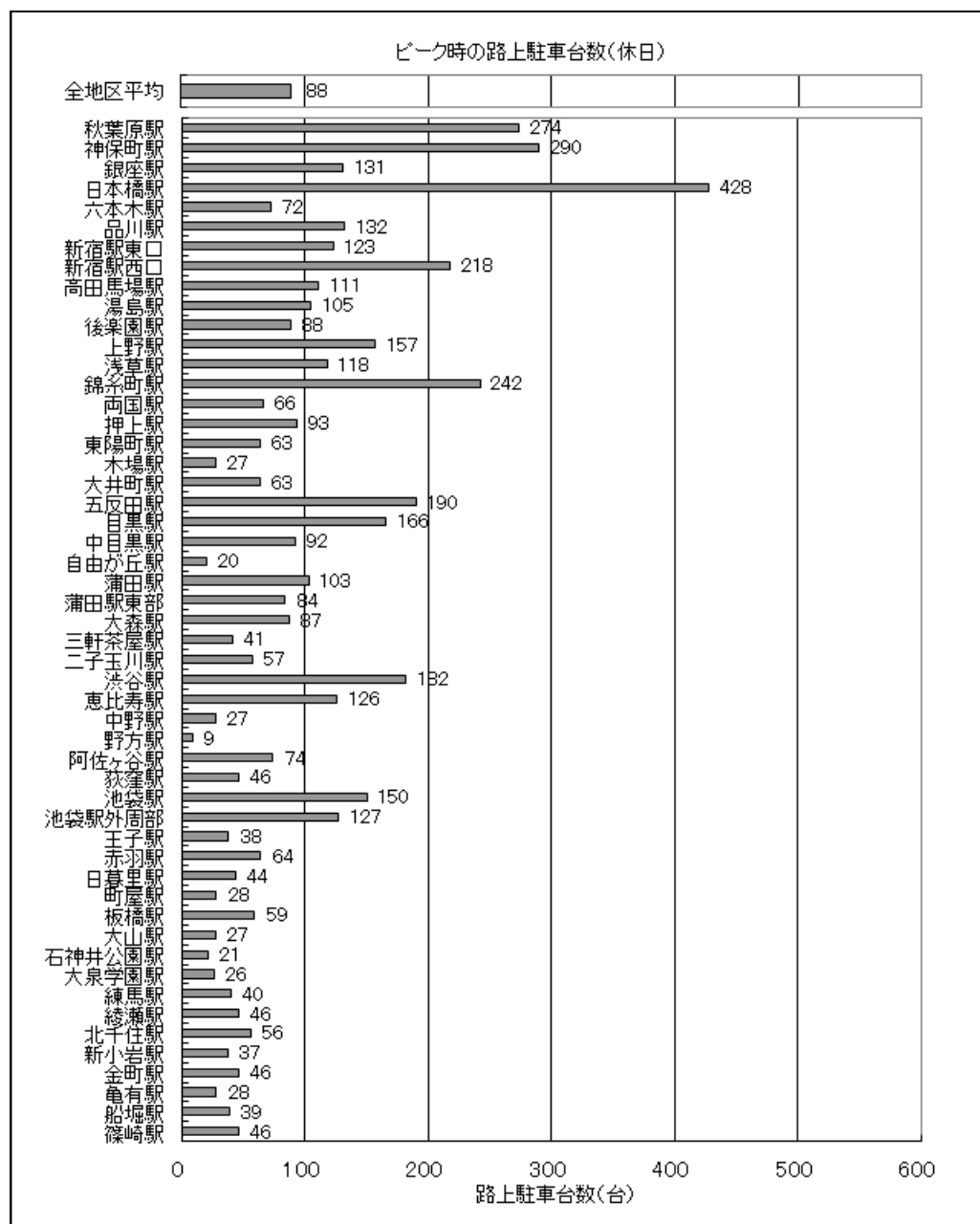


図 2-26 ピーク時の路上駐車台数 (休日)

2) ピーク時の入庫待ち・タクシー待ち

① 平日

- 入庫待ちが多い地区は、中目黒駅・目黒駅・日本橋駅である。
○タクシー待ちが多い地区は、大森駅・日本橋駅・金町駅である。

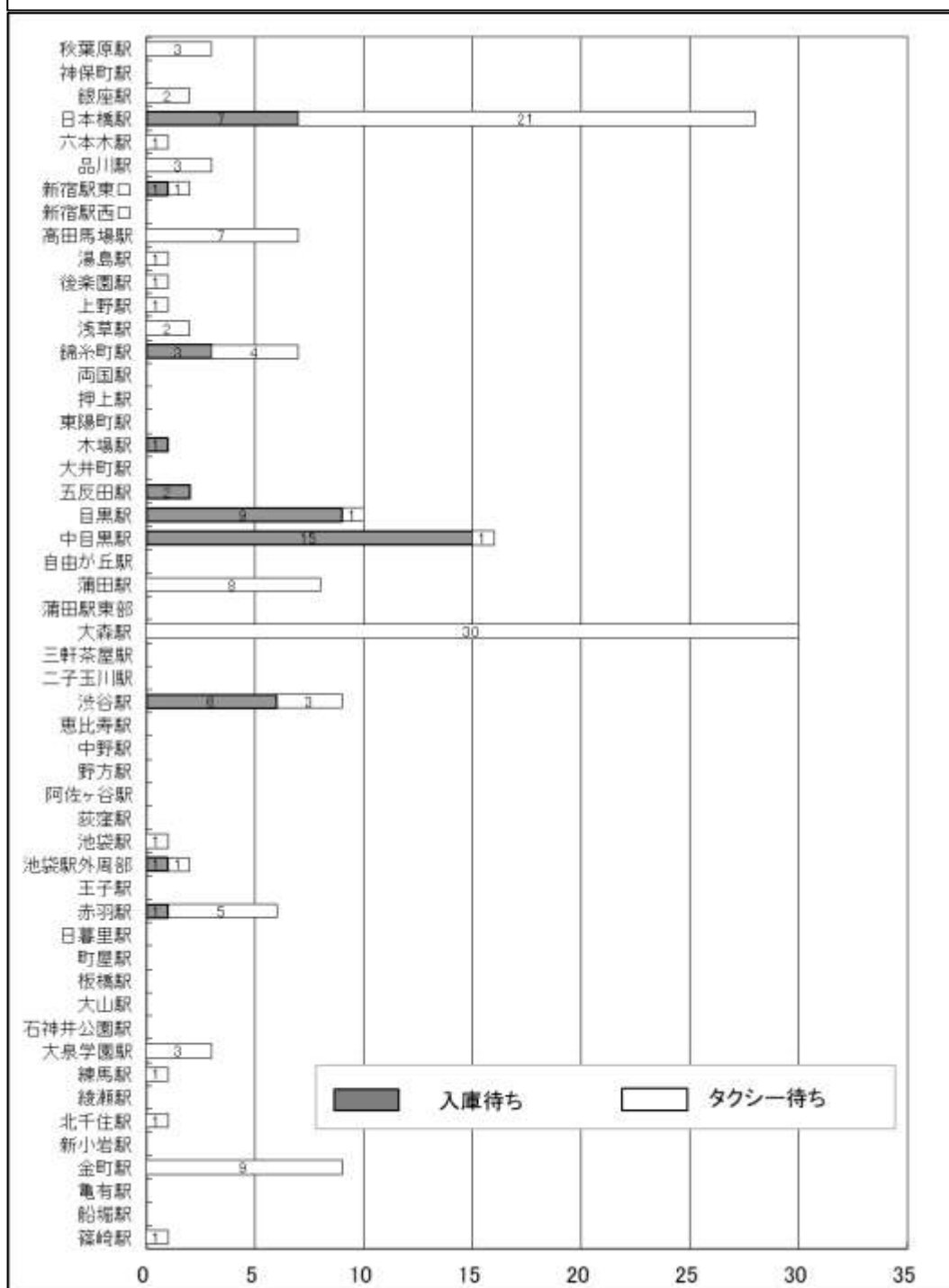


図 2-27 ピーク時の入庫待ち・タクシー待ち（平日）

② 休日

- 入庫待ちが多い地区は、二子玉川駅・錦糸町駅・新宿駅東口である。
- タクシー待ちが多い地区は、日本橋駅・品川駅である。

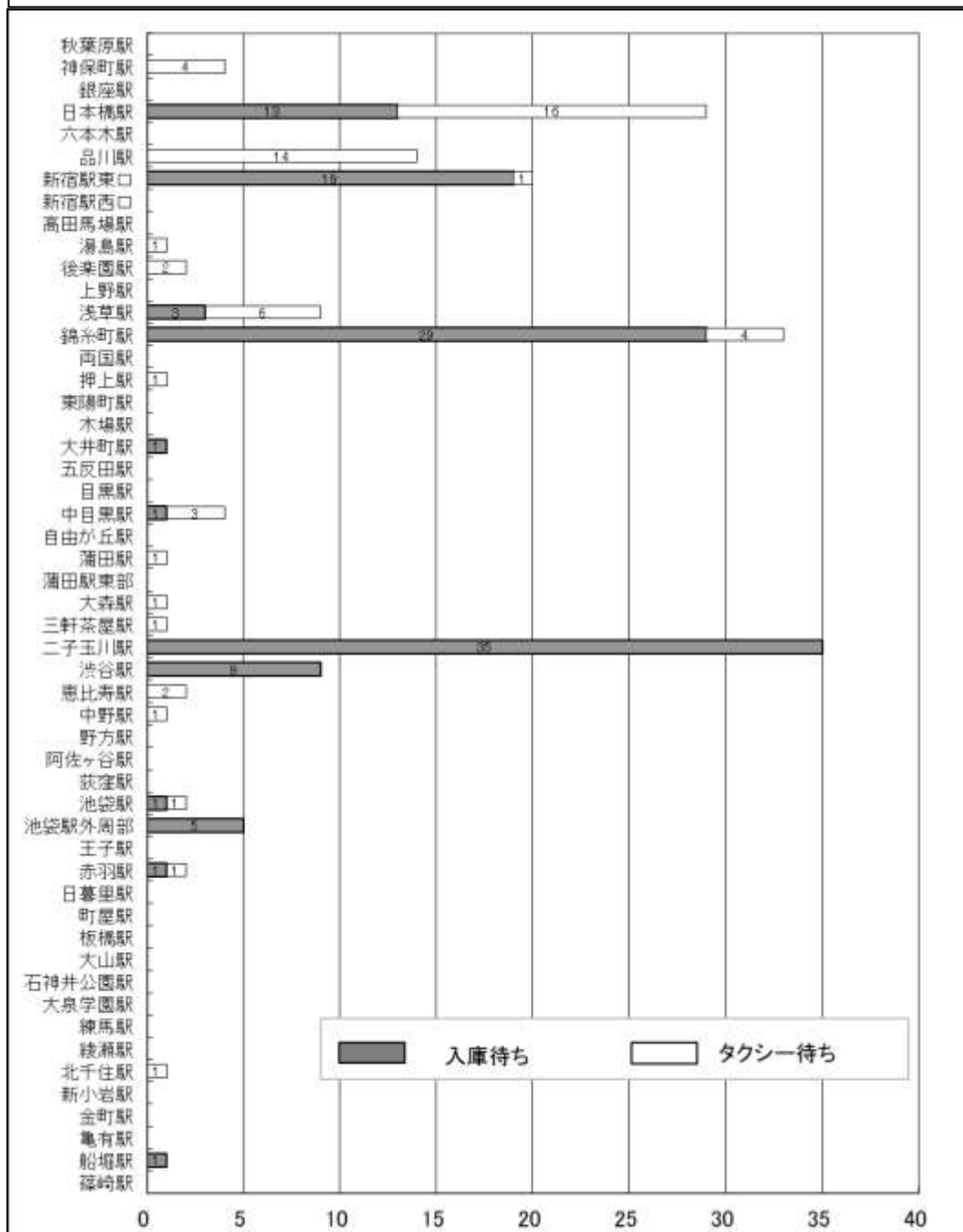


図 2-28 ピーク時の入庫待ち・タクシー待ち（休日）

3) ピーク時の路上駐車車両数(台/0.1km)

① 平日

○100m当たりの路上駐車車両数は、日本橋駅が最も多く、3.12 台/0.1 kmであり、次いで目黒駅が 2.94 台/0.1 km、銀座駅が 2.90 台/0.1 kmである。
○木場駅・大井町駅・町屋駅・大泉学園駅は 100m当たりの路上駐車車両数が 0.5 台/0.1 km以下である。

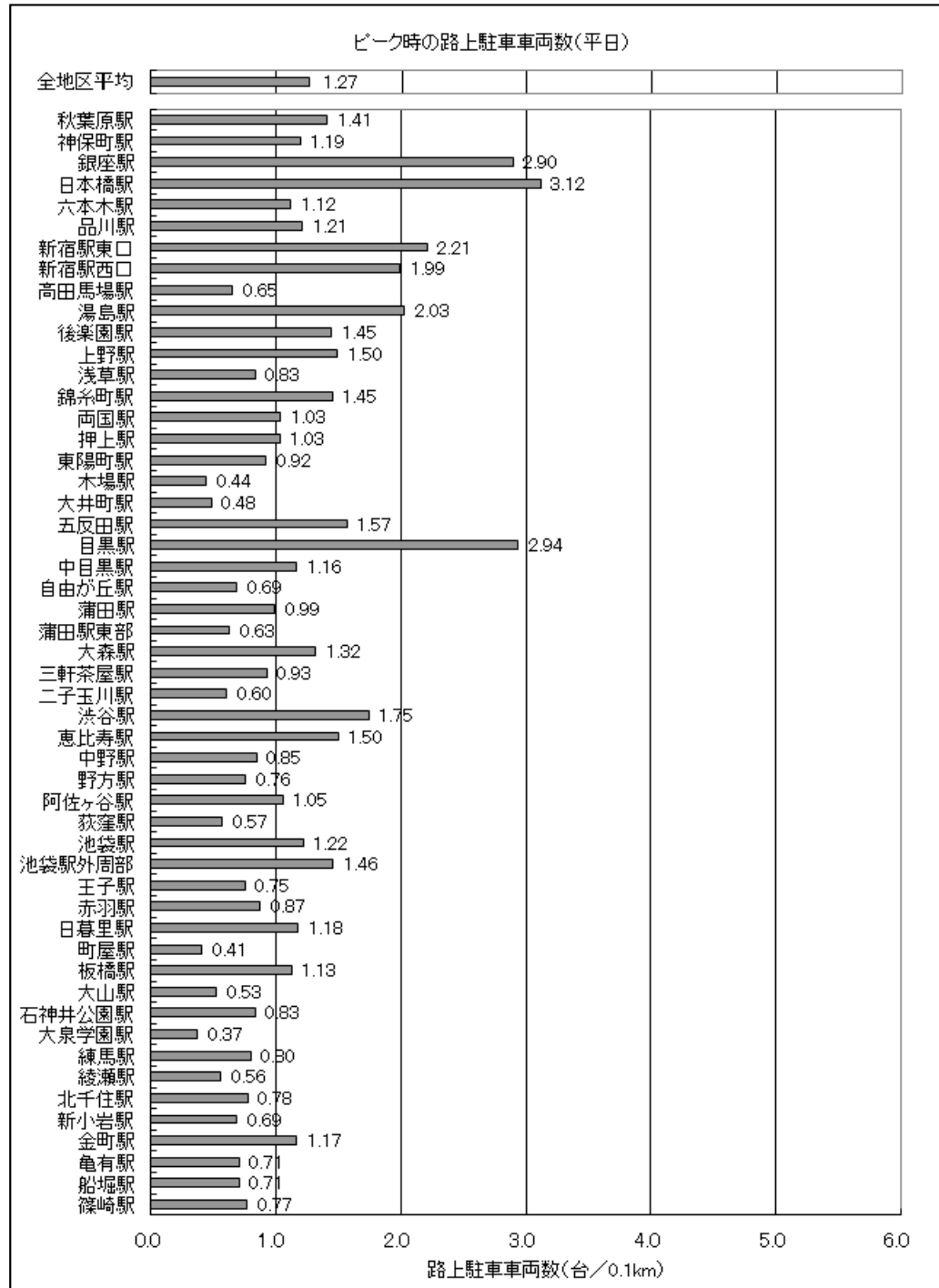


図 2-29 ピーク時の路上駐車車両数 (平日)

② 休日

○100m当たりの路上駐車車両数は、目黒駅が最も多く、3.32 台／0.1 kmであり、次いで日本橋駅が 2.82 台／0.1 km、五反田駅が 2.11 台／0.1 kmである。
 ○木場駅・自由が丘駅・野方駅・荻窪駅・町屋駅・大山駅・大泉学園駅・新小岩駅・亀有駅は、100m当たりの路上駐車車両数が 0.5 台／0.1 km以下である。

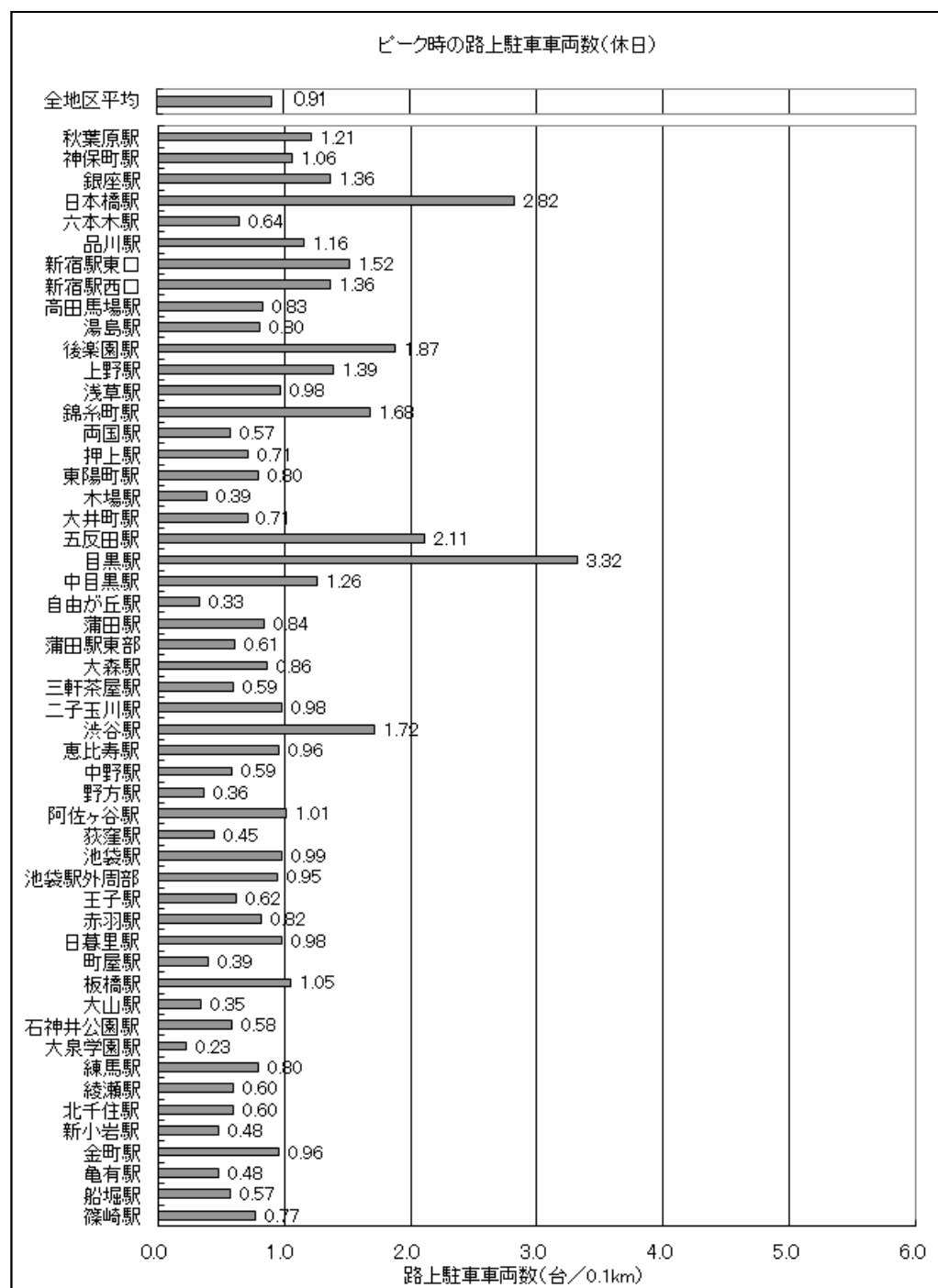


図 2-30 ピーク時の路上駐車車両数 (休日)

4) ピーク時の駐車分類別路上駐車割合

① 平日

○神保町駅・銀座駅・目黒駅・阿佐ヶ谷駅の4地区で、合法駐車の割合が30%を超えている。

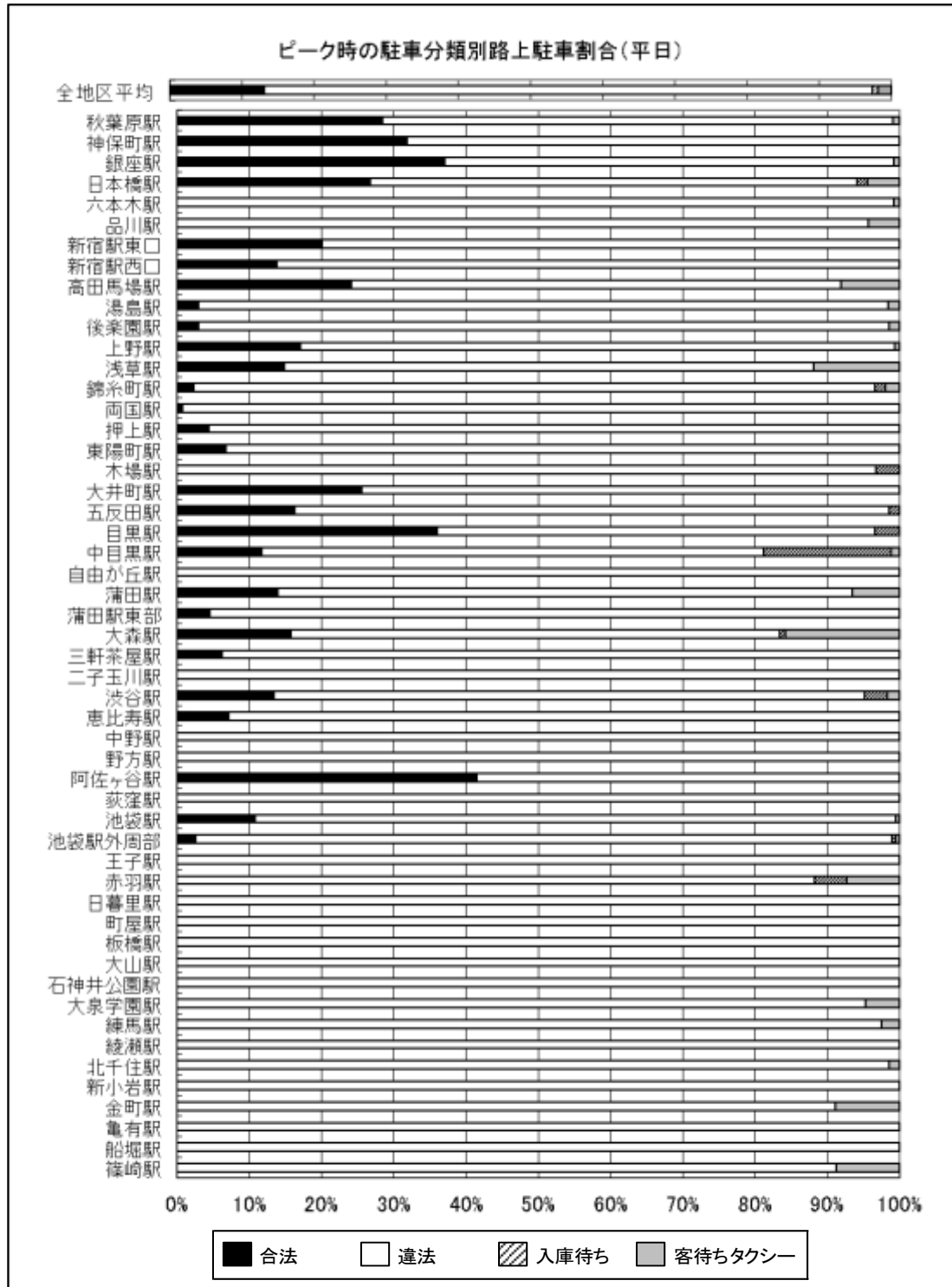


図 2-31 ピーク時の駐車分類別路上駐車割合 (平日)

② 休日

○神保町駅・銀座駅・日本橋駅・上野駅・大森駅の5地区で合法駐車割合が30%を超えている。

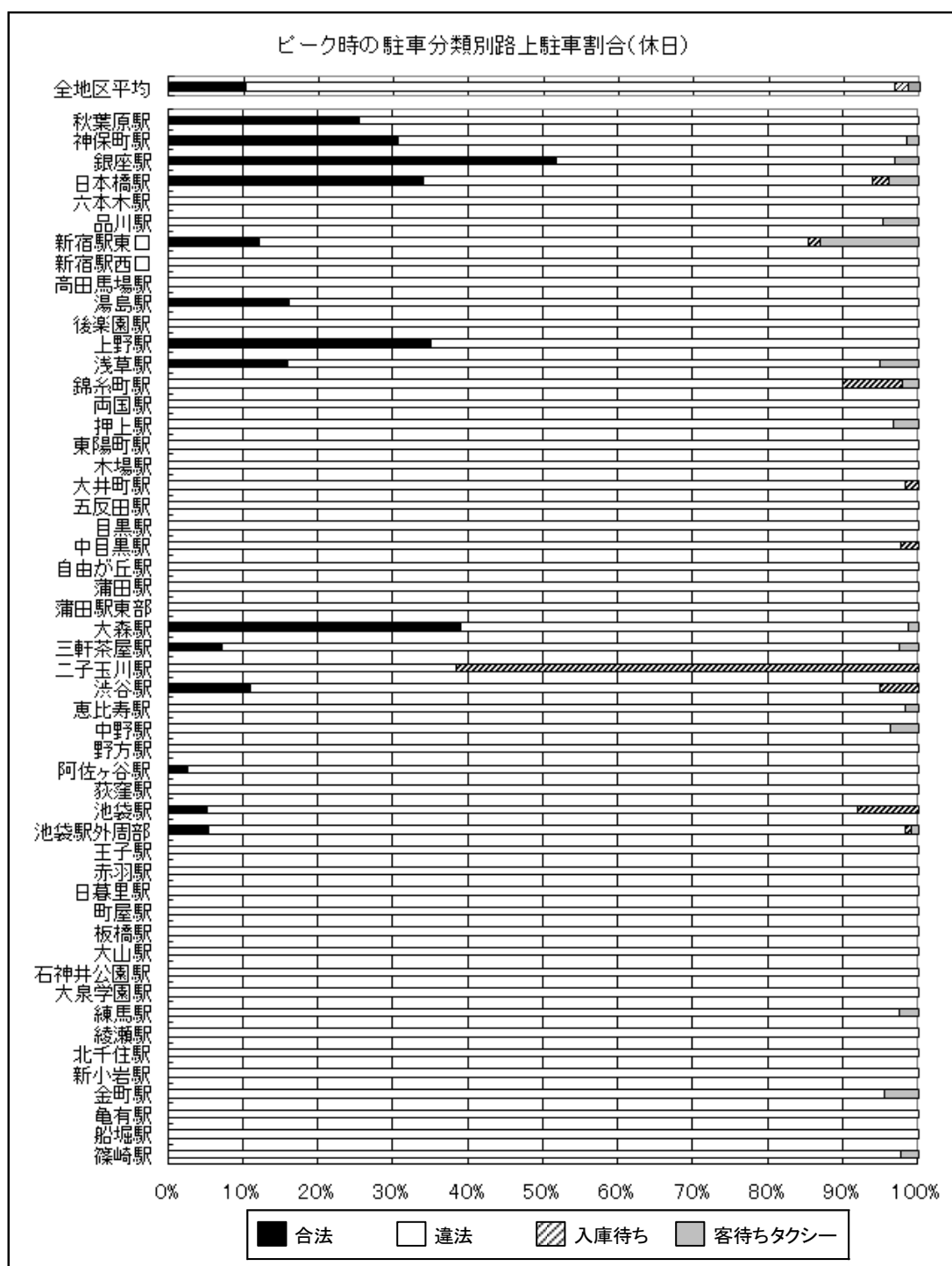


図 2-32 ピーク時の駐車分類別路上駐車割合 (休日)

5) ピーク時の車種別違法路上駐車割合

① 平日

○全地区平均では、乗用車の割合が 30%以上、貨物車種の割合が 50%以上と多数を占めている。

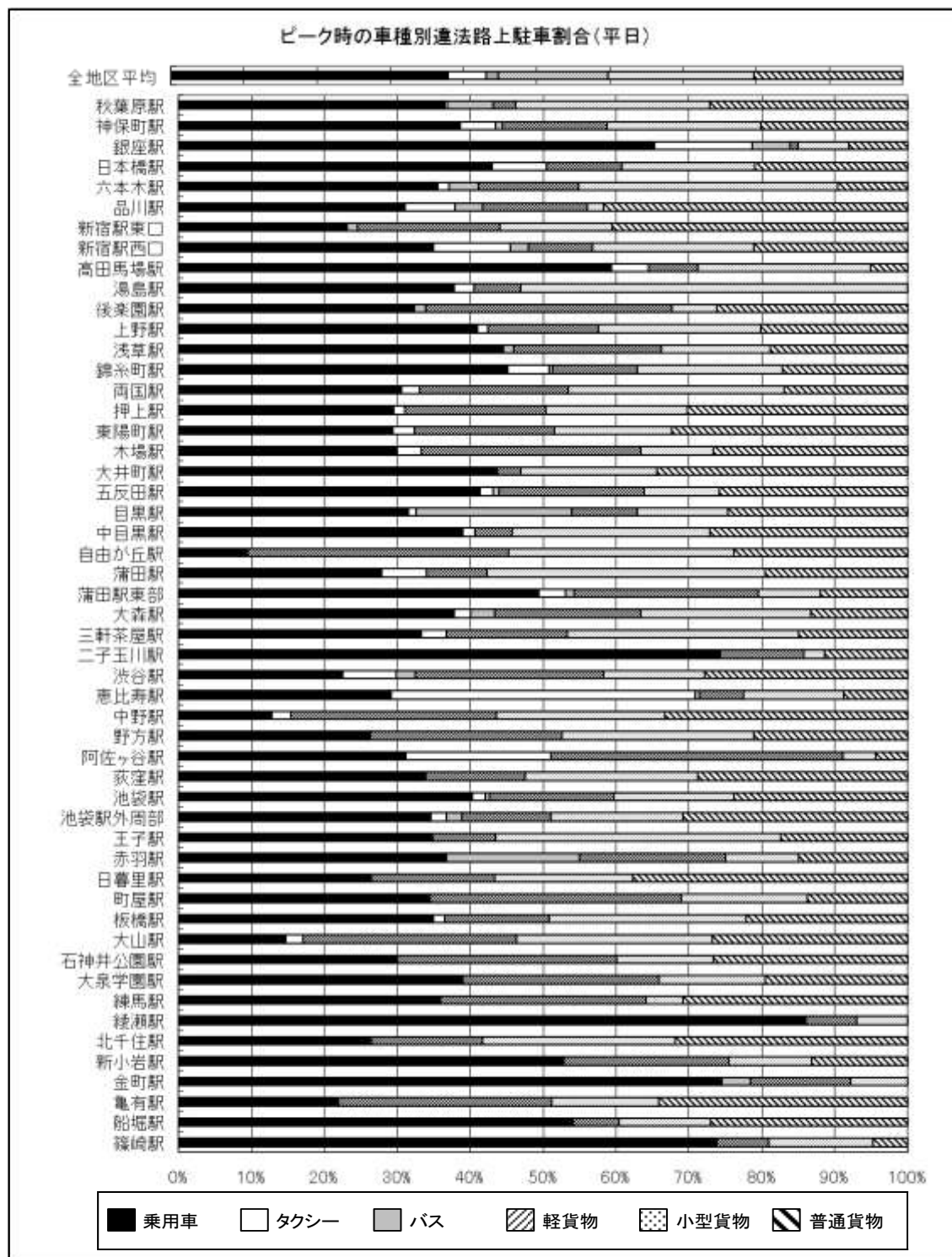


図 2-33 ピーク時の車種別違法路上駐車割合 (平日)

② 休日

○全地区平均では、乗用車の割合が70%近くと多数を占めている。

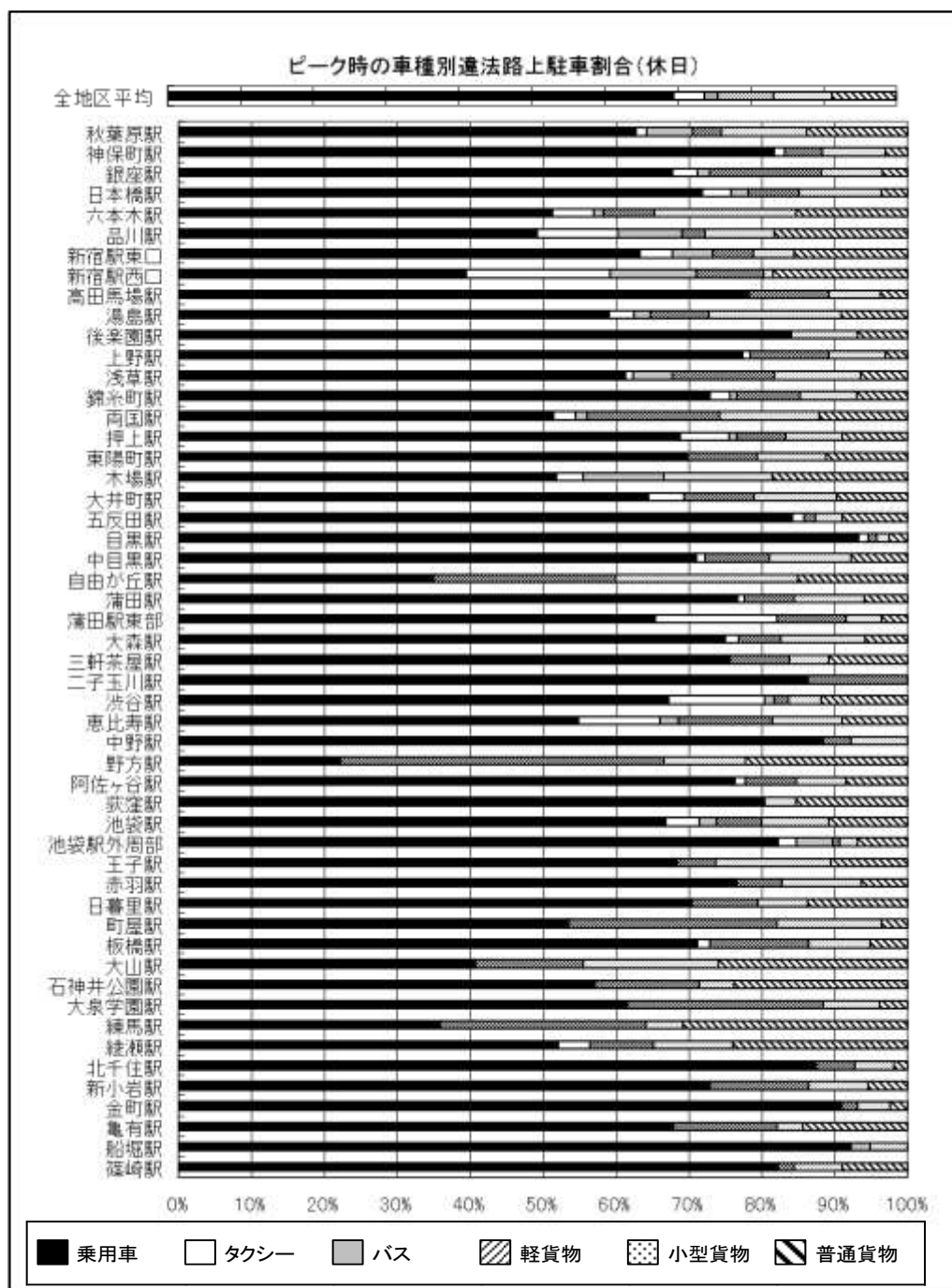


図 2-34 ピーク時の車種別違法路上駐車割合 (休日)

6) 時間帯別の違法路上駐車の種類構成

- 平日は時間帯による車種構成の変動が大きい。11～15 時台は貨物車種の合計が 60%前後に対して、その他の時間帯では乗用車の占める割合が高くなっている。
- 休日は時間帯による車種構成の変動が小さく 1 日を通じて乗用車が 70%前後を占めている。

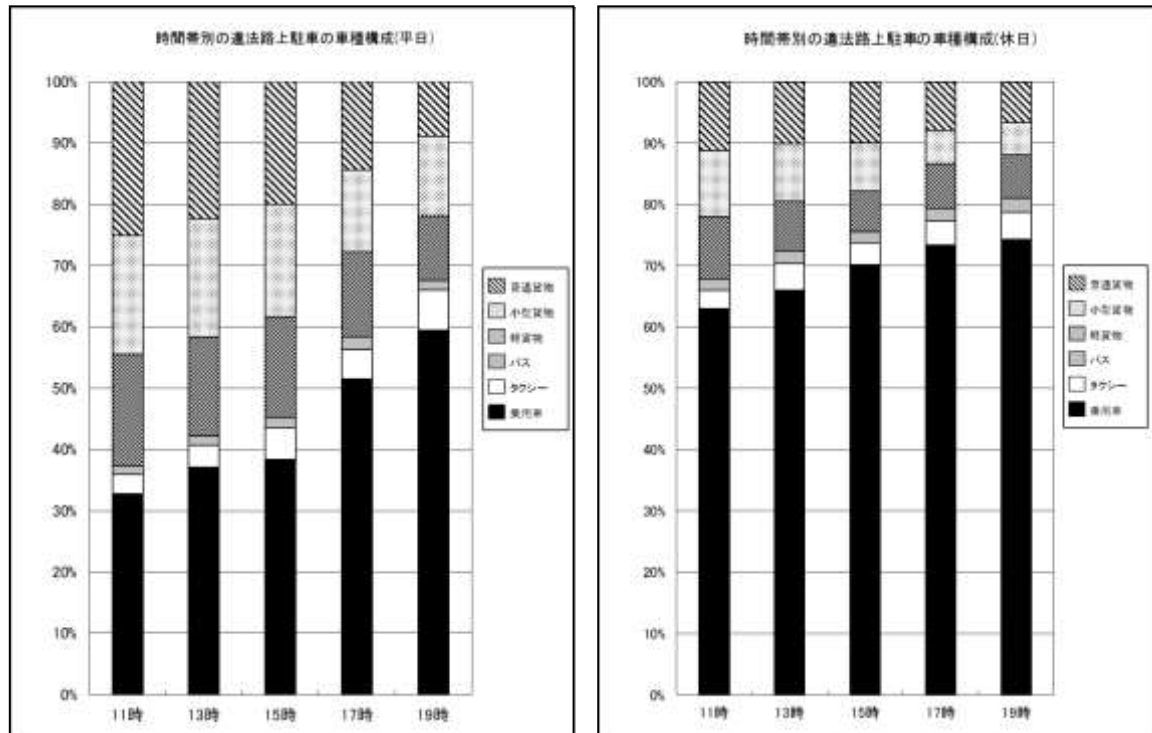
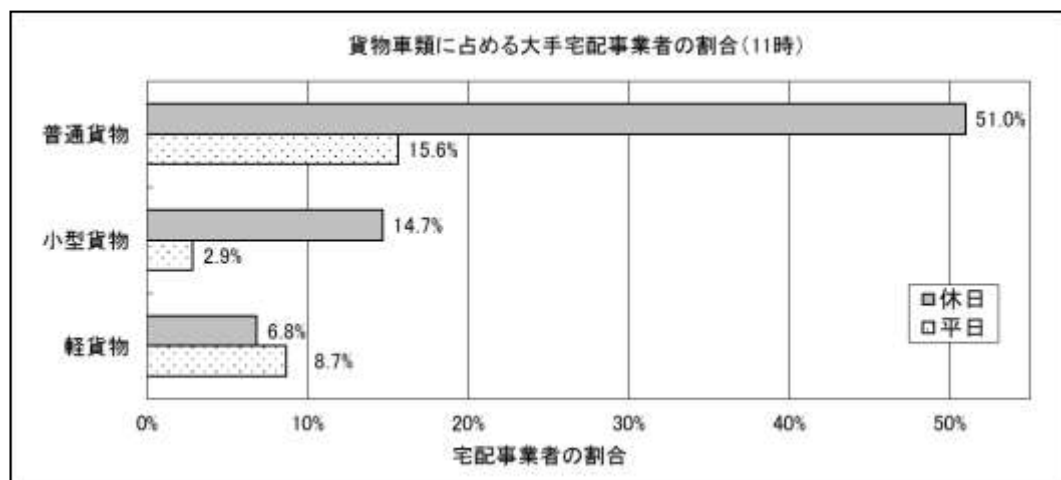


図 2-35 時間帯別の違法路上駐車の種類構成

7) 貨物車類に占める大手宅配業者の割合

- 違法路上駐車において貨物車類に占める割合が最も高い 11 時台での大手宅配事業者の種類別の割合を整理した。



※大手宅配事業者（ヤマト運輸、佐川急便、郵便事業、福山通運、西濃運輸、JP エクスプレス）

図 2-36 貨物車類に占める大手宅配事業者の割合

(2) 過年度調査結果との比較

1) ピーク時の路上占有台数の推移

① 平日

○前回調査（平成 26 年度）と比較すると、路上占有台数は増加傾向にある。

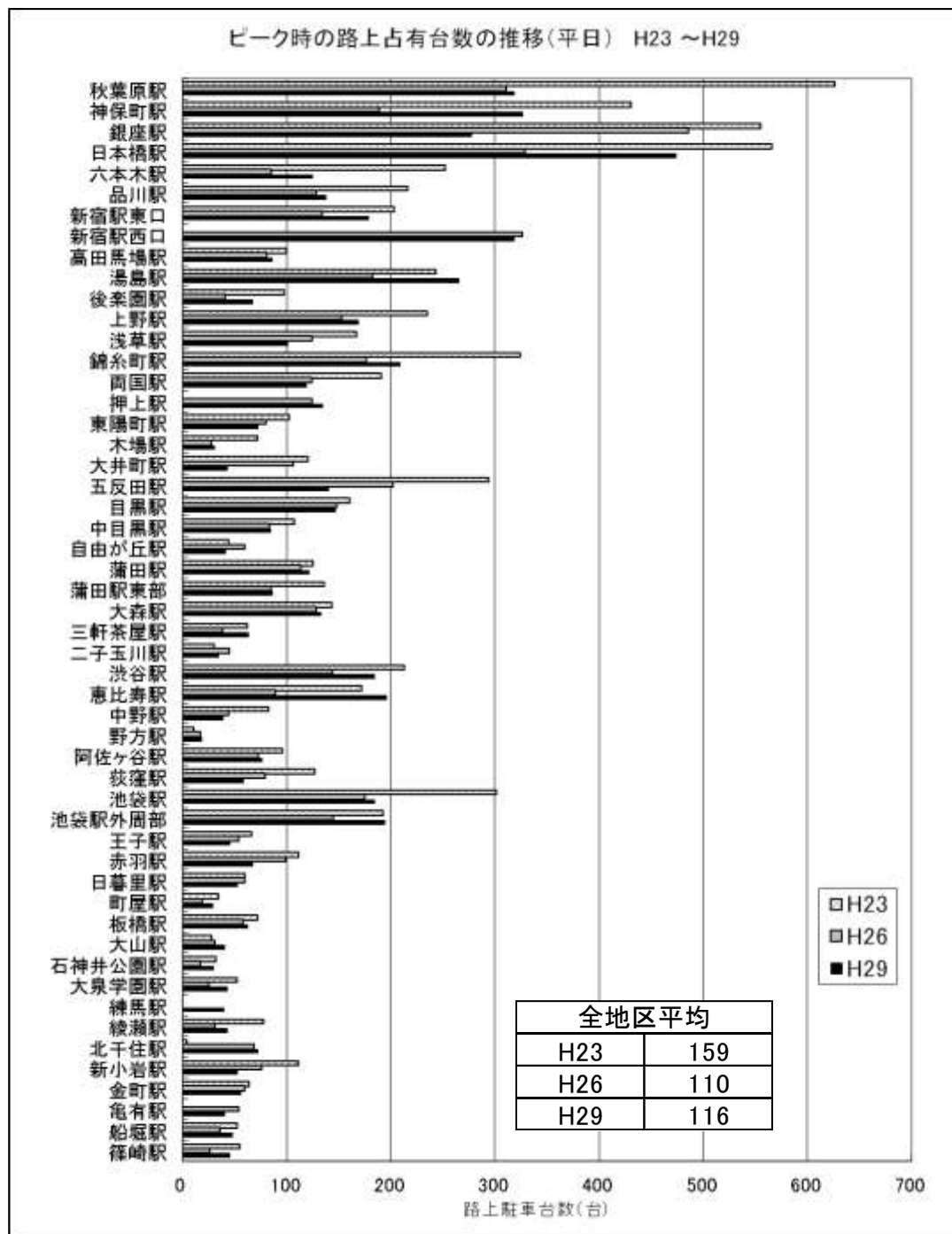


図 2-37 ピーク時の路上占有台数の推移（平日）

② 休日

○前回調査（平成 26 年度）と比較すると、路上占有台数は減少傾向にある。

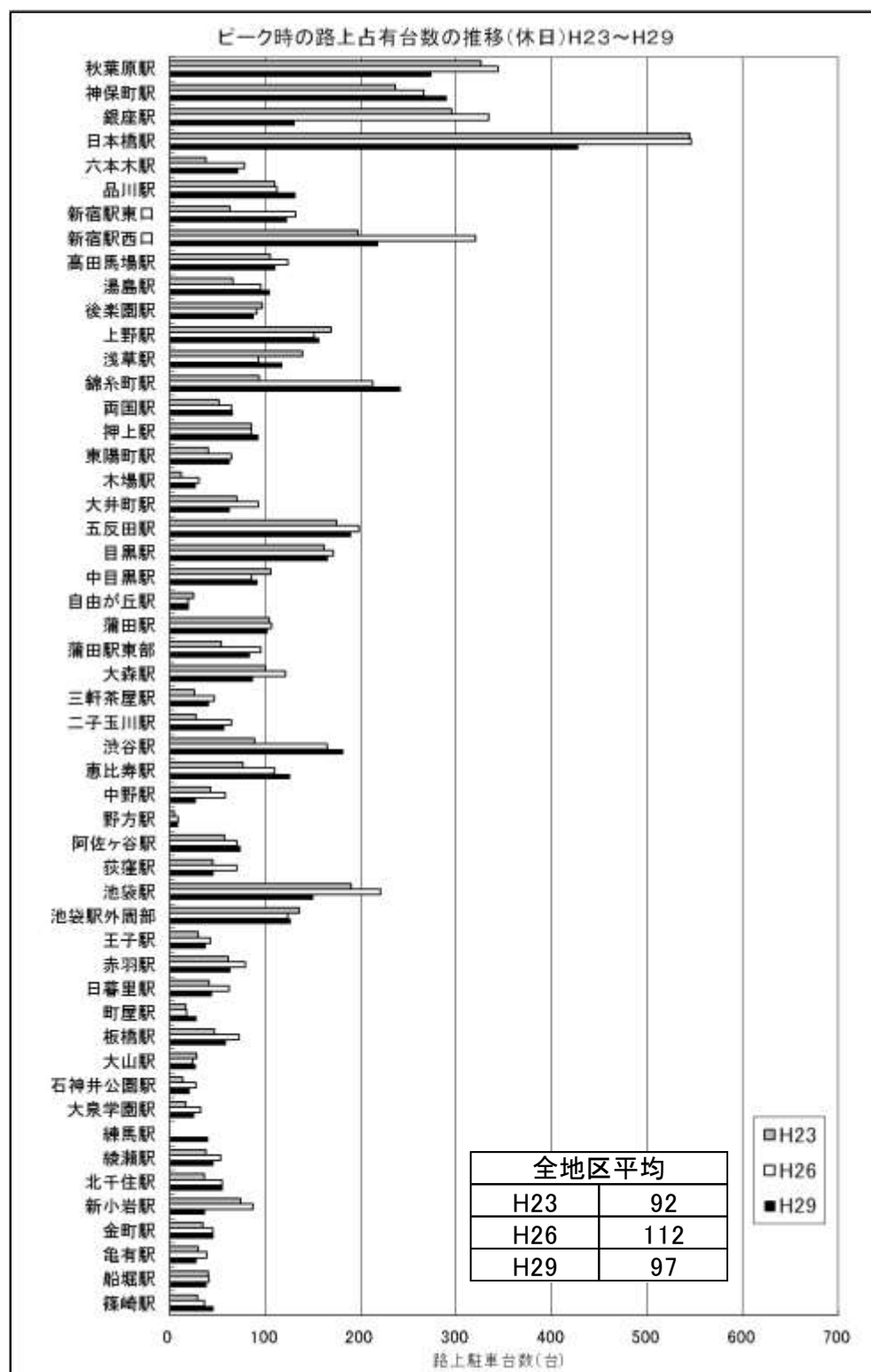


図 2-38 ピーク時の路上占有台数の推移（休日）

2) ピーク時の車種別違法路上駐車台数の変化 (H29/H26)

① 平日

○平成29年度と平成26年度を比較すると、全地区平均で違法路上駐車台数は18.6%減少している。

表 2-3 ピーク時の車種別違法路上駐車台数の変化(平日)

平日	乗用車	タクシー	バス	軽貨物	小型貨物	普通貨物	全車
秋葉原駅	82 (54.3)	1 (12.5)	14 (350.0)	7 (13.2)	60 (48.8)	61 (70.9)	225 (52.9)
神保町駅	86 (88.7)	11 (137.5)	2 (200.0)	32 (86.5)	47 (156.7)	45 (102.3)	223 (102.8)
銀座駅	65 (21.9)	9 (12.7)	1 (33.3)	8 (72.7)	17 (70.8)	10 (58.8)	110 (26.0)
日本橋駅	137 (90.1)	24 (126.3)	0 (-)	33 (220.0)	58 (101.8)	67 (115.5)	319 (105.6)
六本木駅	44 (63.8)	2 (25.0)	5 (250.0)	17 (63.0)	44 (100.0)	12 (38.7)	124 (68.5)
品川駅	34 (106.3)	3 (25.0)	0 (-)	22 (104.8)	3 (7.5)	57 (150.0)	119 (78.8)
新宿駅東口	41 (120.6)	5 (250.0)	3 (150.0)	15 (100.0)	22 (61.1)	45 (195.7)	131 (117.0)
新宿駅西口	96 (69.6)	29 (42.0)	7 (25.9)	24 (70.6)	61 (62.9)	58 (80.6)	275 (62.9)
高田馬場駅	35 (184.2)	3 (0.0)	0 (0.0)	4 (23.5)	14 (82.4)	3 (13.0)	59 (77.6)
湯島駅	56 (78.9)	5 (83.3)	4 (0.0)	27 (96.4)	32 (97.0)	41 (195.2)	165 (103.8)
後楽園駅	21 (84.0)	0 (-)	1 (0.0)	22 (314.3)	4 (28.6)	17 (53.1)	65 (76.5)
上野駅	57 (96.6)	2 (200.0)	0 (0.0)	21 (131.3)	31 (155.0)	28 (82.4)	139 (106.9)
浅草駅	26 (74.3)	0 (-)	1 (16.7)	18 (94.7)	12 (30.0)	12 (38.7)	69 (51.5)
錦糸町駅	89 (40.1)	11 (39.3)	1 (0.0)	23 (191.7)	39 (487.5)	34 (566.7)	197 (71.4)
両国駅	36 (87.8)	3 (0.0)	0 (0.0)	24 (400.0)	35 (100.0)	20 (111.1)	118 (118.0)
押上駅	38 (79.2)	2 (28.6)	0 (0.0)	25 (113.6)	25 (62.5)	39 (156.0)	129 (90.8)
東陽町駅	20 (60.6)	2 (0.0)	0 (0.0)	13 (68.4)	11 (61.1)	22 (733.3)	68 (93.2)
木場駅	9 (45.0)	1 (16.7)	0 (-)	9 (100.0)	3 (17.6)	8 (80.0)	30 (47.6)
大井町駅	14 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	6 (37.5)	11 (68.8)	32 (48.5)
五反田駅	48 (44.4)	2 (5.7)	1 (0.0)	23 (287.5)	12 (240.0)	30 (1000.0)	116 (73.0)
目黒駅	25 (58.1)	1 (50.0)	16 (0.0)	7 (38.9)	10 (62.5)	19 (118.8)	78 (82.1)
中目黒駅	23 (62.2)	1 (25.0)	0 (-)	3 (15.8)	16 (1600.0)	16 (400.0)	59 (89.4)
自由が丘駅	6 (24.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (10.0)	1 (11.1)	11 (366.7)	20 (35.1)
蒲田駅	27 (57.4)	6 (200.0)	0 (0.0)	8 (50.0)	37 (160.9)	19 (90.5)	97 (88.2)
蒲田駅東部	25 (119.0)	2 (28.6)	0 (0.0)	36 (300.0)	9 (45.0)	4 (25.0)	76 (100.0)
大森駅	36 (97.3)	1 (12.5)	3 (0.0)	17 (94.4)	22 (78.6)	8 (28.6)	87 (73.1)
三軒茶屋駅	20 (181.8)	2 (33.3)	0 (-)	10 (111.1)	19 (82.6)	9 (128.6)	60 (105.3)
二子玉川駅	16 (59.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (200.0)	1 (0.0)	2 (200.0)	21 (72.4)
渋谷駅	34 (44.2)	11 (57.9)	4 (200.0)	39 (169.6)	21 (80.8)	42 (144.8)	151 (85.8)
恵比寿駅	53 (117.8)	76 (1266.7)	1 (100.0)	11 (122.2)	25 (83.3)	16 (106.7)	182 (171.7)
中野駅	9 (37.5)	1 (50.0)	0 (0.0)	9 (450.0)	9 (450.0)	8 (0.0)	36 (120.0)
野方駅	5 (125.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (125.0)	5 (500.0)	4 (133.3)	19 (158.3)
阿佐ヶ谷駅	18 (105.9)	0 (0.0)	1 (100.0)	17 (188.9)	9 (47.4)	8 (88.9)	53 (96.4)
荻窪駅	20 (51.3)	0 (-)	0 (-)	8 (47.1)	14 (93.3)	17 (212.5)	59 (72.0)
池袋駅	66 (106.5)	3 (60.0)	1 (20.0)	28 (133.3)	27 (50.9)	39 (62.9)	164 (78.8)
池袋駅外周部	65 (101.6)	4 (40.0)	4 (200.0)	23 (71.9)	34 (117.2)	58 (241.7)	188 (116.8)
王子駅	16 (76.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (50.0)	18 (163.6)	8 (38.1)	46 (75.4)
赤羽駅	14 (34.1)	0 (-)	0 (0.0)	12 (0.0)	9 (150.0)	13 (260.0)	48 (72.7)
日暮里駅	11 (68.8)	0 (0.0)	1 (0.0)	8 (61.5)	12 (240.0)	11 (84.6)	43 (91.5)
町屋駅	10 (83.3)	0 (-)	0 (0.0)	10 (0.0)	5 (500.0)	4 (133.3)	29 (170.6)
板橋駅	22 (169.2)	1 (25.0)	0 (0.0)	9 (112.5)	17 (154.5)	14 (107.7)	63 (128.6)
大山駅	6 (60.0)	1 (0.0)	0 (0.0)	12 (300.0)	11 (110.0)	11 (137.5)	41 (128.1)
石神井公園駅	4 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (166.7)	3 (0.0)	6 (600.0)	23 (121.1)
大泉学園駅	11 (91.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (71.4)	6 (85.7)	5 (100.0)	27 (87.1)
練馬駅	14 (-)	0 (-)	0 (-)	11 (-)	2 (-)	12 (-)	39 (-)
綾瀬駅	7 (35.0)	1 (100.0)	0 (-)	10 (333.3)	5 (45.5)	8 (400.0)	31 (79.5)
北千住駅	19 (44.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (220.0)	19 (950.0)	23 (575.0)	72 (133.3)
新小岩駅	14 (43.8)	0 (-)	0 (0.0)	10 (142.9)	2 (11.8)	9 (50.0)	35 (46.7)
金町駅	21 (150.0)	0 (-)	1 (50.0)	11 (183.3)	4 (80.0)	3 (42.9)	40 (111.1)
亀有駅	13 (59.1)	0 (0.0)	0 (-)	3 (75.0)	10 (166.7)	8 (266.7)	34 (91.9)
船堀駅	26 (118.2)	0 (-)	0 (0.0)	3 (300.0)	6 (100.0)	13 (260.0)	48 (137.1)
篠崎駅	7 (38.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (300.0)	5 (50.0)	10 (111.1)	28 (71.8)
全地区平均	33 (66.5)	4 (58.2)	1 (96.0)	14 (104.0)	18 (83.2)	20 (110.9)	91 (81.4)

※表中の数値はH29の台数、()内はH26値を100としたH29/H26の割合(%) -はH26の値が0 0はH29の値が0

② 休日

○平成29年度と平成26年度を比較すると、全地区平均で違法路上駐車台数は11.7%減少している。

表 2-4 ピーク時の車種別違法路上駐車台数の変化(休日)

休日	乗用車	タクシー	バス	軽貨物	小型貨物	普通貨物	全車
秋葉原駅	128 (83.1)	3 (50.0)	13 (185.7)	8 (50.0)	24 (80.0)	28 (116.7)	204 (86.1)
神保町駅	161 (161.0)	3 (33.3)	0 (0.0)	10 (76.9)	17 (73.9)	6 (33.3)	197 (120.9)
銀座駅	45 (24.7)	3 (37.5)	0 (-)	7 (87.5)	4 (25.0)	1 (9.1)	60 (26.0)
日本橋駅	179 (55.2)	9 (81.8)	2 (100.0)	3 (37.5)	32 (152.4)	23 (143.8)	248 (64.9)
六本木駅	37 (100.0)	4 (100.0)	1 (20.0)	5 (83.3)	14 (140.0)	11 (110.0)	72 (100.0)
品川駅	55 (250.0)	5 (62.5)	14 (233.3)	2 (100.0)	9 (225.0)	18 (1800.0)	103 (239.5)
新宿駅東口	43 (71.7)	1 (14.3)	1 (0.0)	2 (25.0)	9 (60.0)	12 (92.3)	68 (66.0)
新宿駅西口	41 (38.7)	37 (61.7)	19 (61.3)	15 (115.4)	3 (75.0)	26 (96.3)	141 (58.5)
高田馬場駅	73 (85.9)	1 (0.0)	1 (100.0)	11 (157.1)	7 (50.0)	10 (250.0)	103 (92.8)
湯島駅	45 (59.2)	3 (60.0)	2 (200.0)	2 (200.0)	17 (425.0)	10 (125.0)	79 (83.2)
後楽園駅	57 (82.6)	0 (-)	1 (0.0)	12 (300.0)	6 (100.0)	9 (90.0)	85 (93.4)
上野駅	59 (49.2)	0 (0.0)	0 (-)	4 (133.3)	7 (63.6)	3 (150.0)	73 (53.3)
浅草駅	51 (113.3)	1 (14.3)	5 (100.0)	10 (333.3)	6 (75.0)	5 (100.0)	78 (114.7)
錦糸町駅	146 (104.3)	3 (100.0)	2 (0.0)	19 (316.7)	19 (100.0)	16 (114.3)	205 (112.6)
両国駅	32 (86.5)	2 (200.0)	6 (0.0)	10 (1000.0)	9 (900.0)	5 (62.5)	64 (133.3)
押上駅	52 (77.6)	2 (40.0)	0 (0.0)	22 (733.3)	8 (200.0)	6 (150.0)	90 (108.4)
東陽町駅	41 (85.4)	2 (200.0)	0 (0.0)	4 (80.0)	8 (133.3)	5 (100.0)	60 (92.3)
木場駅	11 (50.0)	3 (150.0)	1 (100.0)	0 (-)	3 (75.0)	3 (0.0)	21 (70.0)
大井町駅	40 (95.2)	3 (300.0)	0 (0.0)	6 (50.0)	7 (100.0)	6 (66.7)	62 (87.3)
五反田駅	160 (139.1)	3 (27.3)	0 (0.0)	3 (300.0)	7 (46.7)	17 (340.0)	190 (129.3)
目黒駅	130 (95.6)	1 (100.0)	1 (0.0)	6 (75.0)	8 (133.3)	8 (88.9)	154 (96.3)
中目黒駅	67 (106.3)	0 (-)	0 (0.0)	7 (0.0)	4 (100.0)	2 (200.0)	80 (112.7)
自由が丘駅	7 (77.8)	0 (-)	0 (0.0)	1 (0.0)	3 (150.0)	2 (0.0)	13 (108.3)
蒲田駅	67 (93.1)	2 (0.0)	0 (0.0)	7 (175.0)	10 (142.9)	7 (175.0)	93 (106.9)
蒲田駅東部	55 (107.8)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	11 (122.2)	12 (1200.0)	78 (104.0)
大森駅	29 (33.7)	1 (25.0)	1 (0.0)	7 (70.0)	3 (33.3)	6 (300.0)	47 (42.3)
三軒茶屋駅	28 (100.0)	0 (-)	0 (0.0)	3 (50.0)	2 (50.0)	4 (100.0)	37 (80.4)
二子玉川駅	19 (126.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (300.0)	0 (-)	0 (-)	22 (104.8)
渋谷駅	103 (100.0)	20 (222.2)	2 (100.0)	3 (100.0)	7 (700.0)	18 (105.9)	153 (113.3)
恵比寿駅	68 (93.2)	14 (700.0)	3 (0.0)	16 (228.6)	12 (109.1)	11 (157.1)	124 (124.0)
中野駅	23 (50.0)	0 (-)	0 (-)	1 (16.7)	2 (200.0)	0 (-)	26 (44.8)
野方駅	2 (200.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (133.3)	1 (50.0)	2 (66.7)	9 (100.0)
阿佐ヶ谷駅	55 (275.0)	1 (33.3)	0 (0.0)	5 (0.0)	5 (0.0)	6 (200.0)	72 (276.9)
荻窪駅	25 (75.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (-)	3 (75.0)	8 (266.7)	36 (83.7)
池袋駅	78 (69.6)	7 (140.0)	1 (25.0)	14 (233.3)	6 (37.5)	15 (100.0)	121 (76.6)
池袋駅外周部	62 (75.6)	1 (11.1)	2 (100.0)	4 (100.0)	5 (45.5)	9 (75.0)	83 (69.2)
王子駅	26 (123.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (50.0)	6 (300.0)	4 (133.3)	38 (126.7)
赤羽駅	28 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (400.0)	3 (50.0)	1 (50.0)	36 (70.6)
日暮里駅	17 (48.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (80.0)	2 (66.7)	6 (120.0)	29 (60.4)
町屋駅	15 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (800.0)	4 (400.0)	1 (100.0)	28 (155.6)
板橋駅	42 (76.4)	1 (100.0)	0 (0.0)	8 (400.0)	5 (125.0)	3 (42.9)	59 (85.5)
大山駅	5 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (42.9)	1 (0.0)	1 (50.0)	10 (41.7)
石神井公園駅	12 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (100.0)	1 (0.0)	5 (0.0)	21 (77.8)
大泉学園駅	16 (94.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (700.0)	2 (50.0)	1 (100.0)	26 (113.0)
練馬駅	16 (-)	0 (-)	0 (-)	6 (-)	2 (-)	4 (-)	28 (-)
綾瀬駅	29 (96.7)	0 (-)	0 (0.0)	5 (55.6)	7 (140.0)	2 (200.0)	43 (93.5)
北千住駅	34 (87.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	7 (350.0)	5 (0.0)	47 (104.4)
新小岩駅	27 (57.4)	0 (-)	0 (0.0)	5 (55.6)	3 (100.0)	2 (50.0)	37 (56.9)
金町駅	32 (139.1)	1 (0.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	1 (0.0)	2 (66.7)	37 (123.3)
亀有駅	19 (105.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (66.7)	1 (0.0)	4 (200.0)	28 (107.7)
船堀駅	15 (71.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (66.7)	3 (75.0)	3 (100.0)	23 (74.2)
篠崎駅	35 (120.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.0)	0 (-)	3 (300.0)	39 (125.8)
全地区平均	51 (82.3)	3 (66.8)	2 (108.3)	6 (121.5)	7 (99.7)	7 (120.4)	75 (88.3)

※表中の数値はH29の台数、()内はH26値を100としたH29/H26の割合(%) -はH26の値が0 0はH29の値が0

2.2.5. 路上駐車時間の実態(四輪)

ナンバープレート調査を実施した 9 地区の調査結果をもとに、地区全体の平均路上駐車時間、時間帯別・車種別の路上駐車時間を分析した。

(1) 地区別の実態

1) 平均路上駐車時間(平日・休日)

- 上野駅・渋谷駅・休日の蒲田駅を除き、平均路上駐車時間は 30 分以下となっている。
- 上野駅・蒲田駅を除き平日・休日の差は小さい。
- 平日・休日の平均駐車時間で、10 分以上の差があるのが上野駅・蒲田駅である。

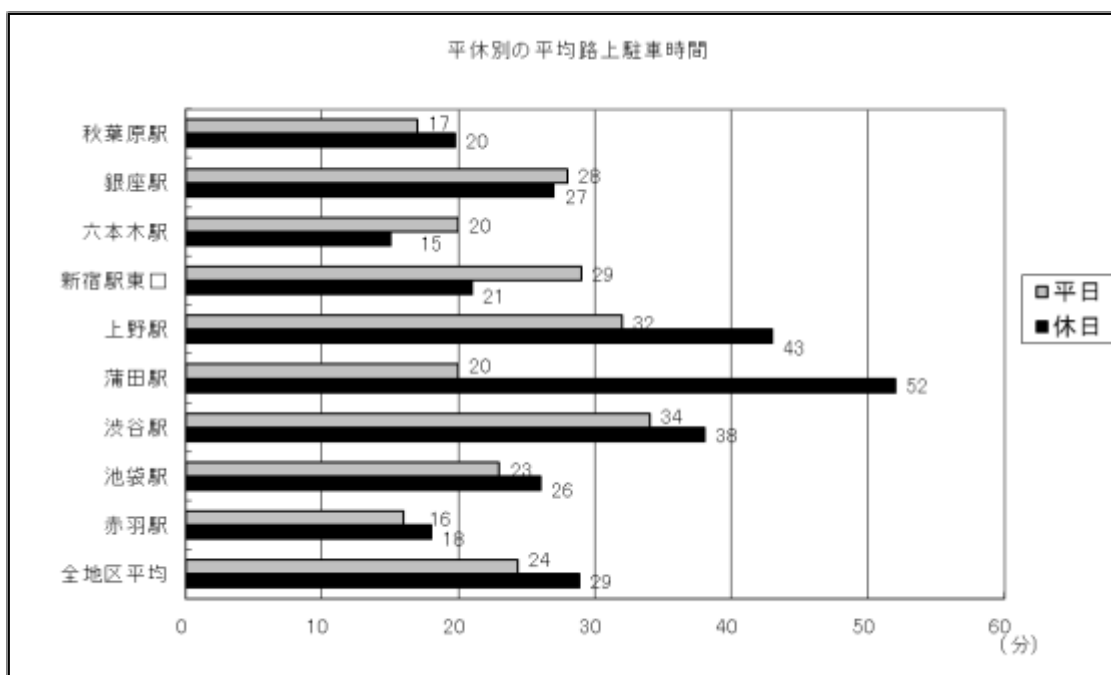


図 2-39 平均路上駐車時間 (平日・休日)

2) 時間帯別の路上駐車時間

① 平日

- 全地区平均は1日を通じて30分までの間で推移している。
- 上野駅は時間帯で大きく変動している。

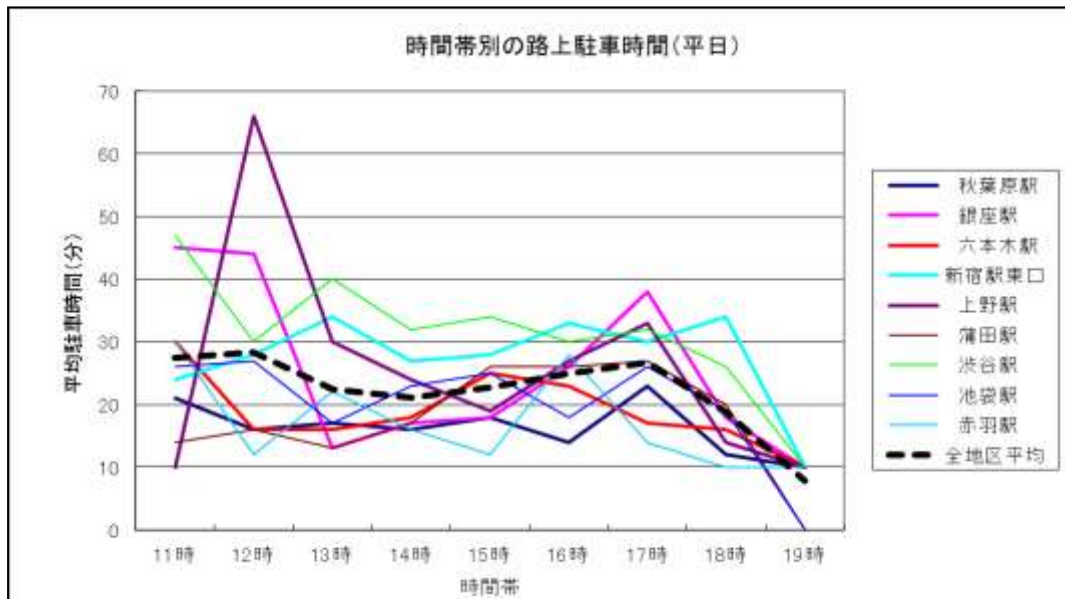


図 2-40 時間帯別の路上駐車時間 (平日)

② 休日

- 全地区平均は1日を通じて50分までの間で推移している。
- 上野駅・蒲田駅は時間帯で大きく変動している。

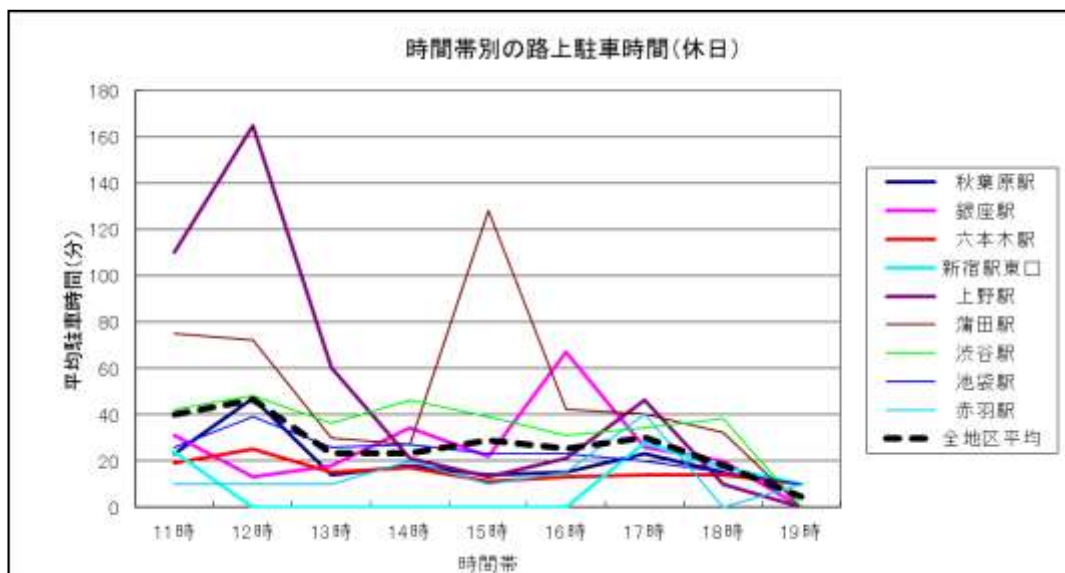


図 2-41 時間帯別の路上駐車時間 (休日)

3) 車種別の路上駐車時間

① 平日

- 全地区平均では乗用車の路上駐車時間が長く、次いで軽貨物・小型貨物の順となっている。
- 路上駐車時間で最も長いのは渋谷駅の乗用車である。

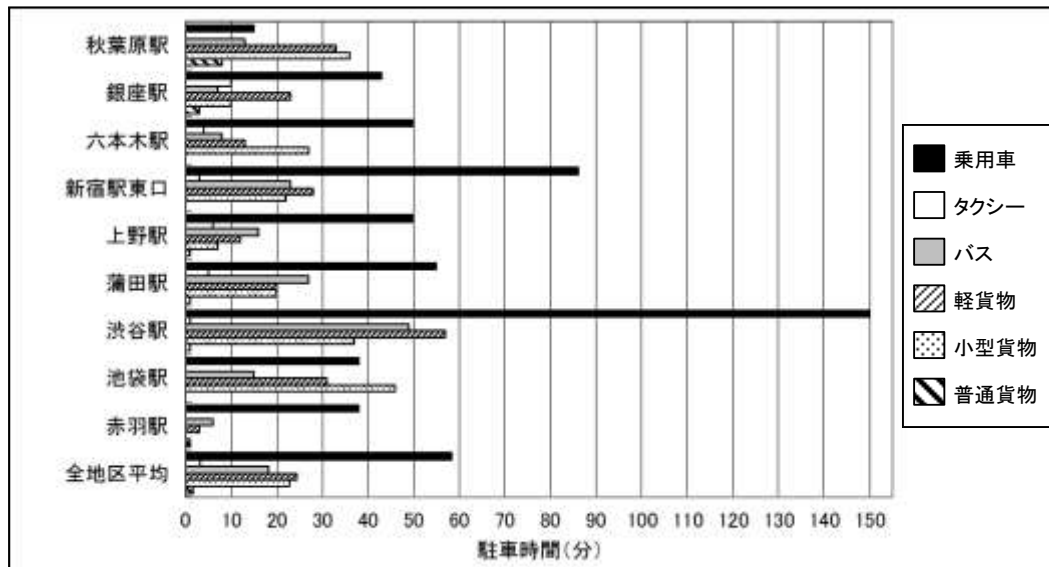


図 2-42 車種別の路上駐車時間（平日）

② 休日

- 全地区平均では乗用車の路上駐車時間が最も長く、次いでタクシー・小型貨物の順となっている。
- 路上駐車時間で最も長いのは渋谷駅の乗用車である。

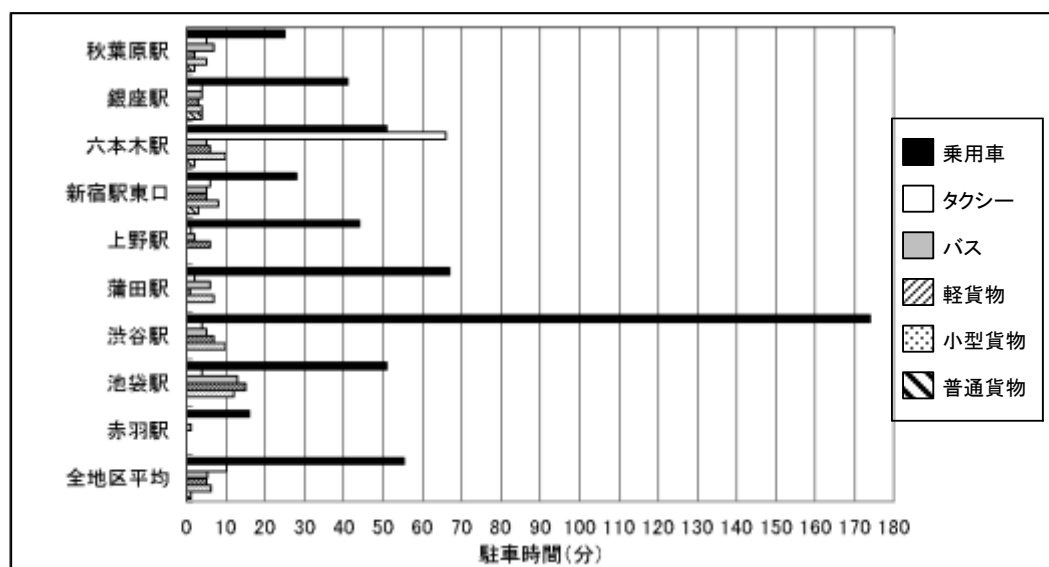


図 2-43 車種別の路上駐車時間（休日）

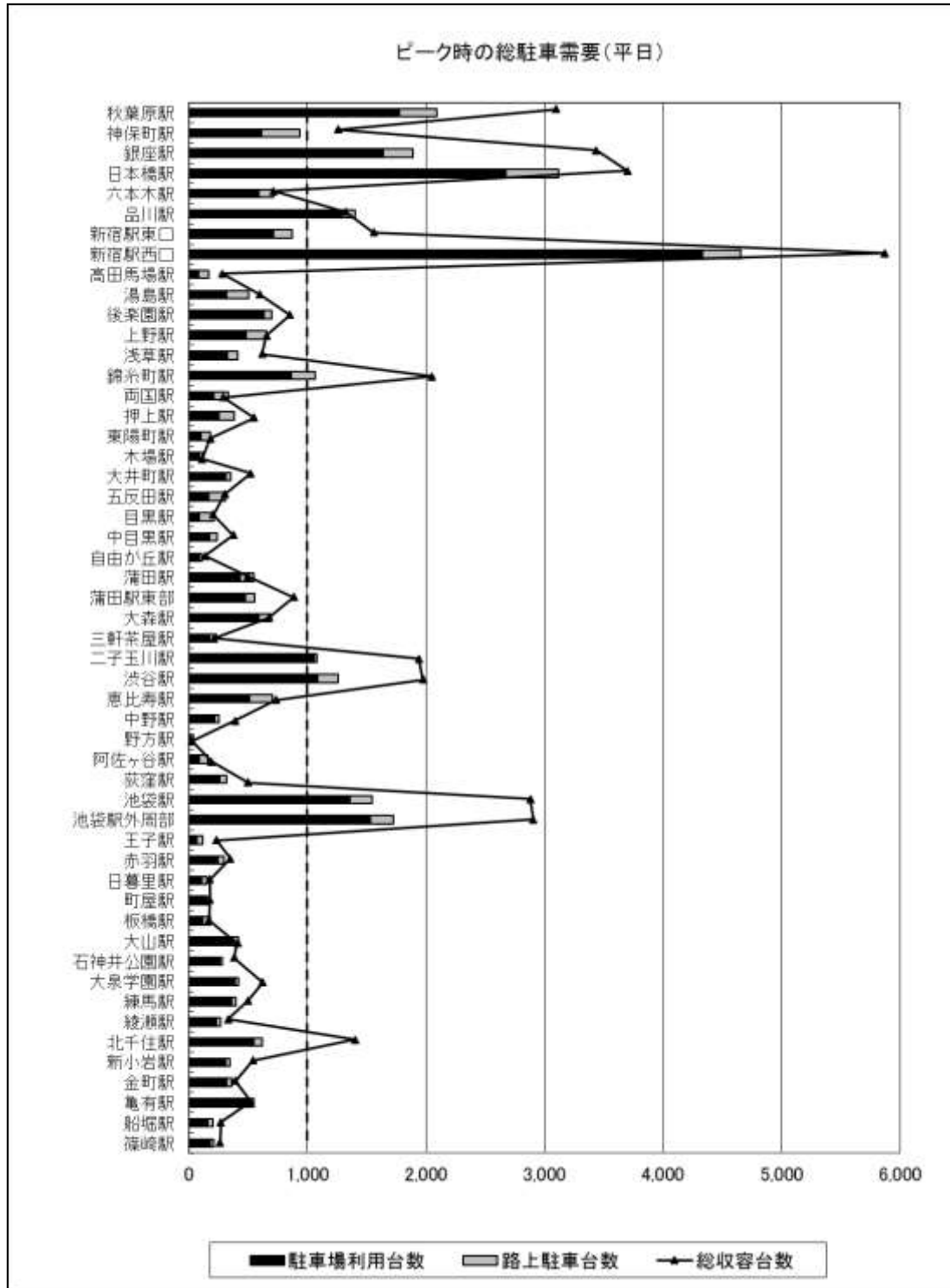
2.2.6. 駐車需給バランスの実態(四輪)

(1) 地区別の実態

1) ピーク時の総駐車需要

① 平日

○秋葉原駅・銀座駅・日本橋駅・品川駅・新宿駅西口・錦糸町駅・二子玉川駅・渋谷駅・池袋駅・池袋駅外周部の10地区で、ピーク時の総駐車需要が1,000台以上となっている。

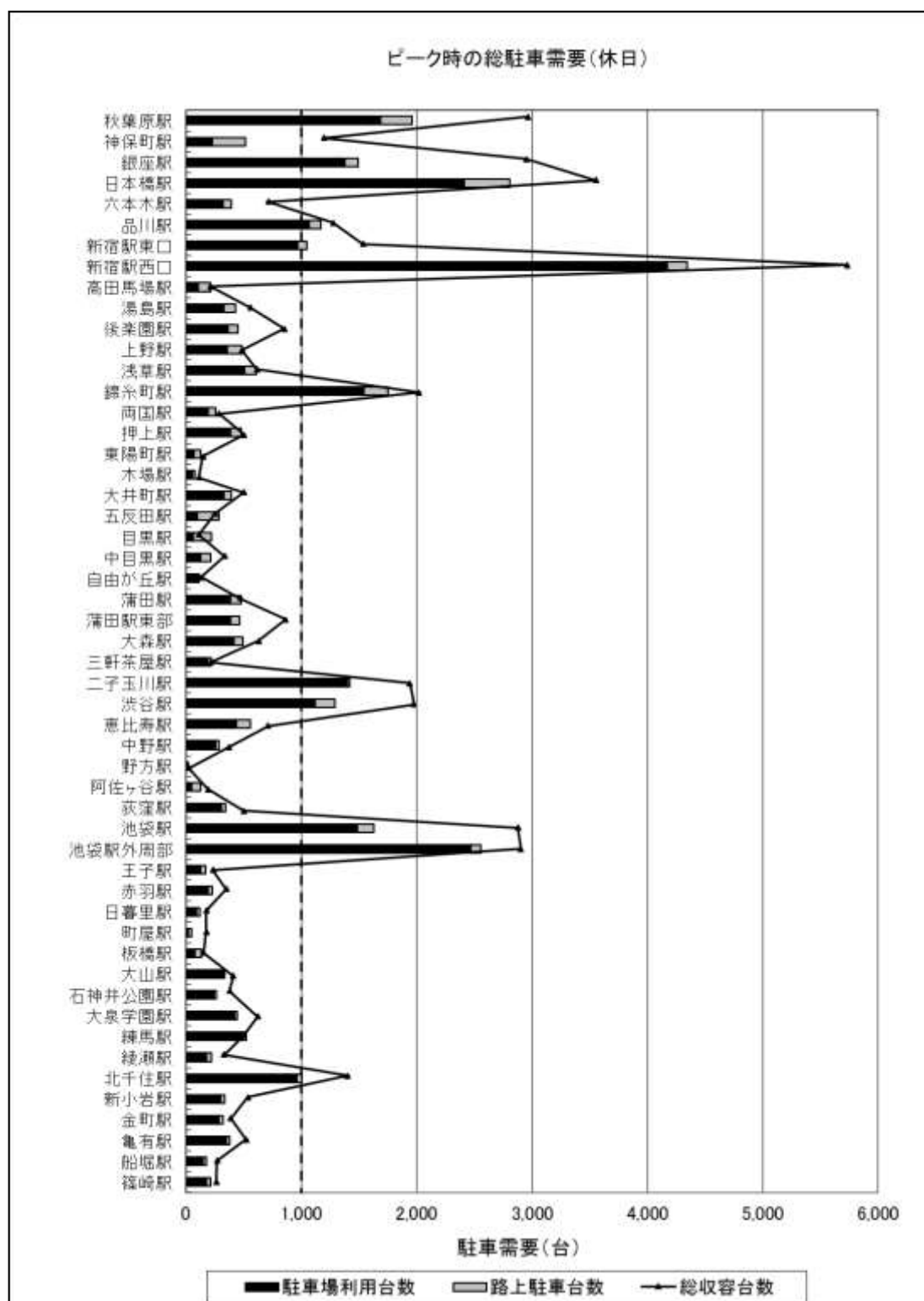


※路上駐車台数は合法・違法の路上駐車台数、入庫待ち車両の合算

図 2-44 ピーク時の総駐車需要 (平日)

② 休日

○秋葉原駅・銀座駅・日本橋駅・品川駅・新宿駅西口・錦糸町駅・二子玉川駅・渋谷駅・池袋駅・池袋駅外周部の10地区で、ピーク時の総駐車需要が1,000台以上となっている。



※路上駐車台数は合法・違法の路上駐車台数、入庫待ち車両の合算

図 2-45 ピーク時の総駐車需要(休日)

(2) 過年度調査結果との比較

1) ピーク時の総駐車需要の推移

① 平日

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、平日の総駐車需要は増加している。

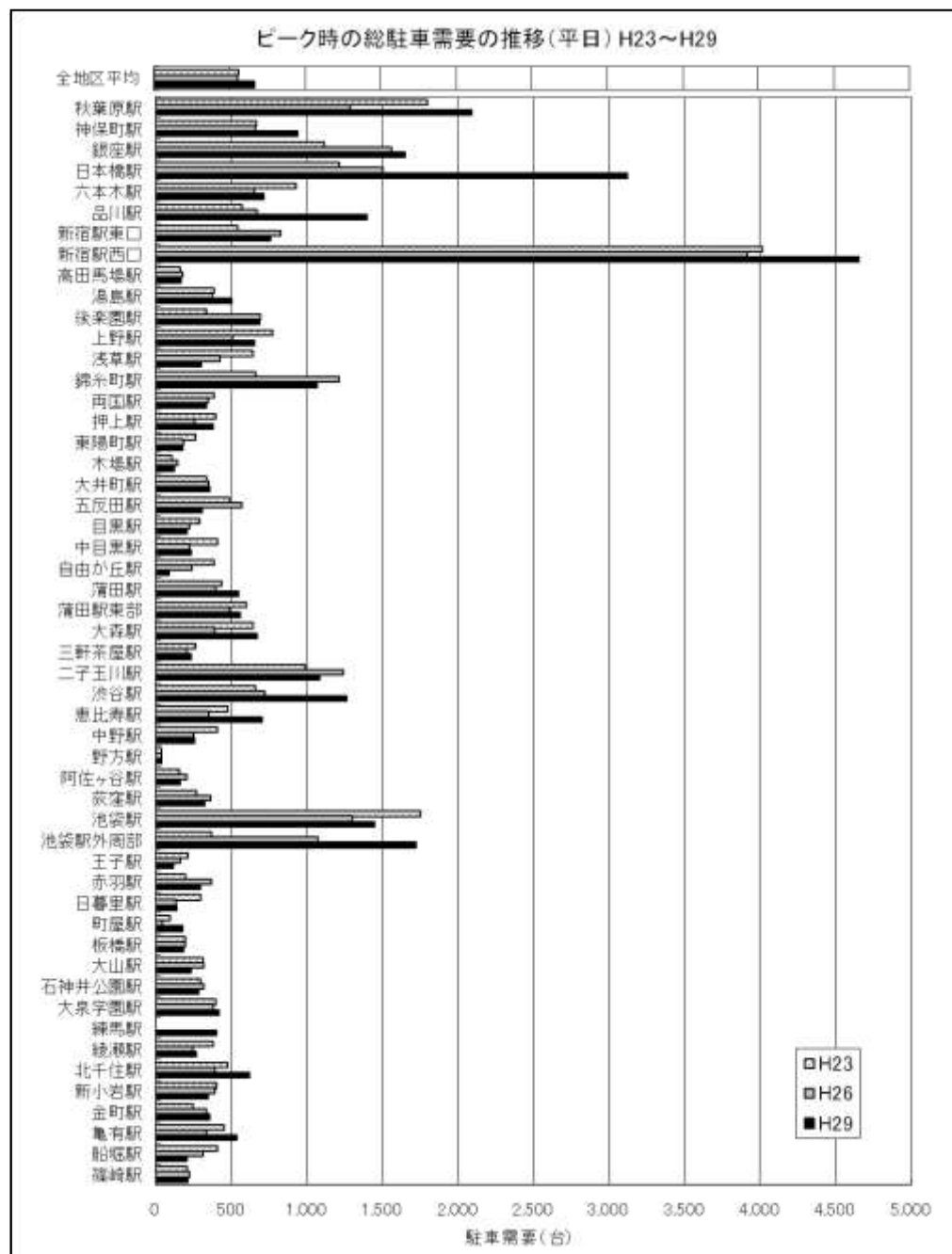


図 2-46 ピーク時の総駐車需要の推移(平日)

① 休日

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、休日の総駐車需要は増加している。

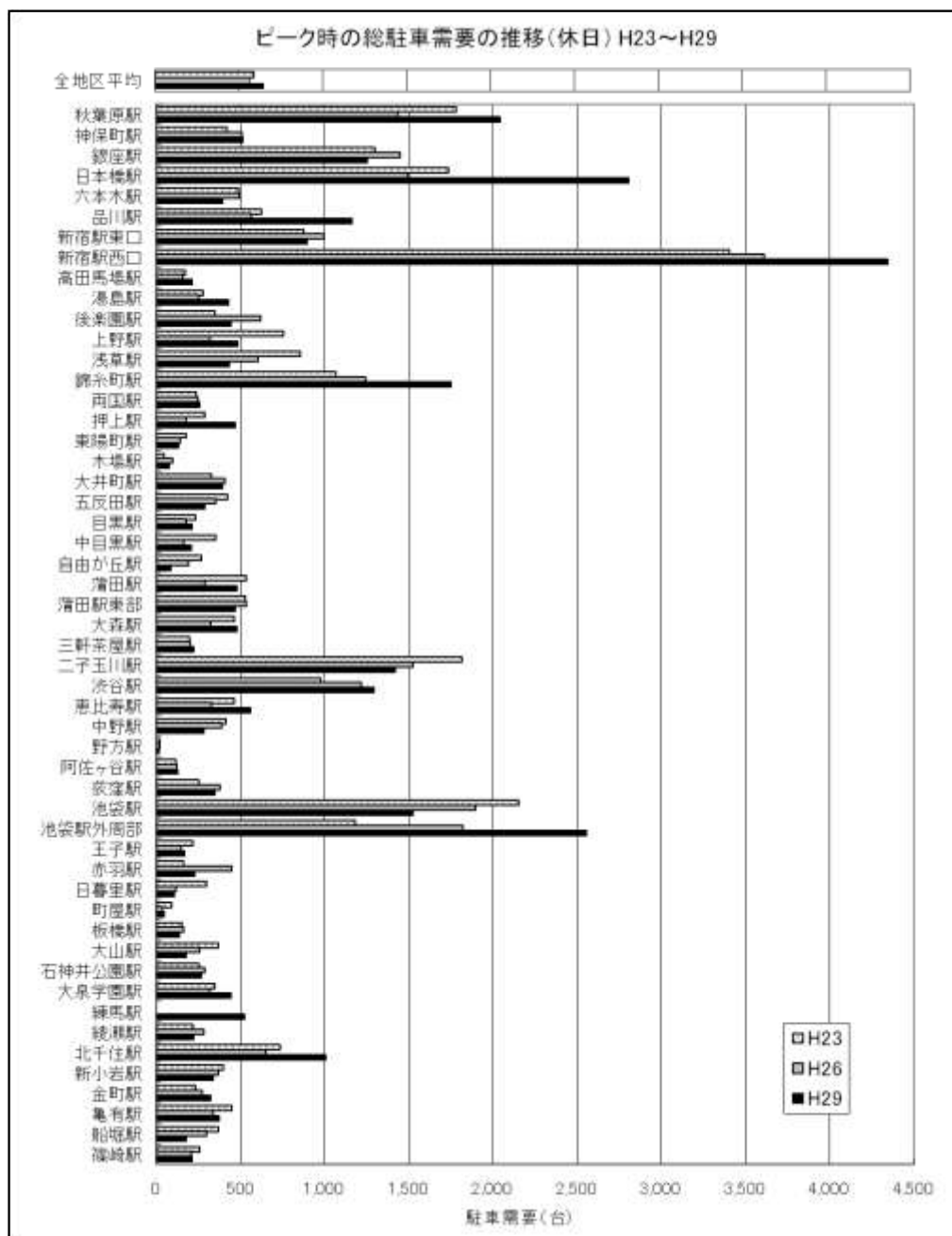
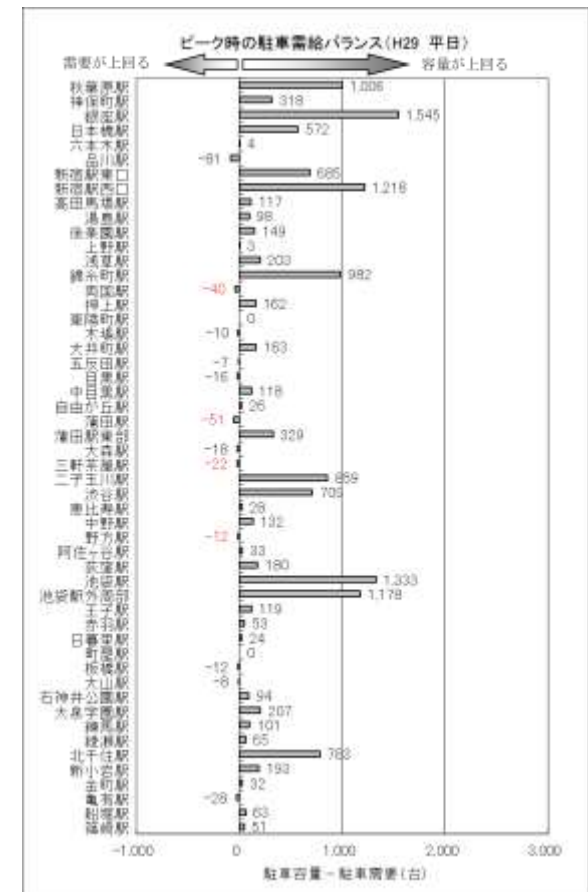
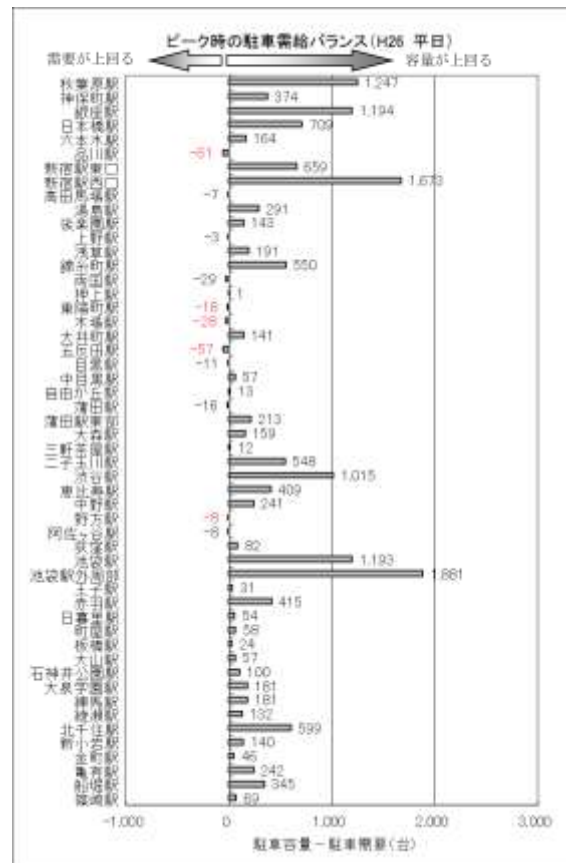
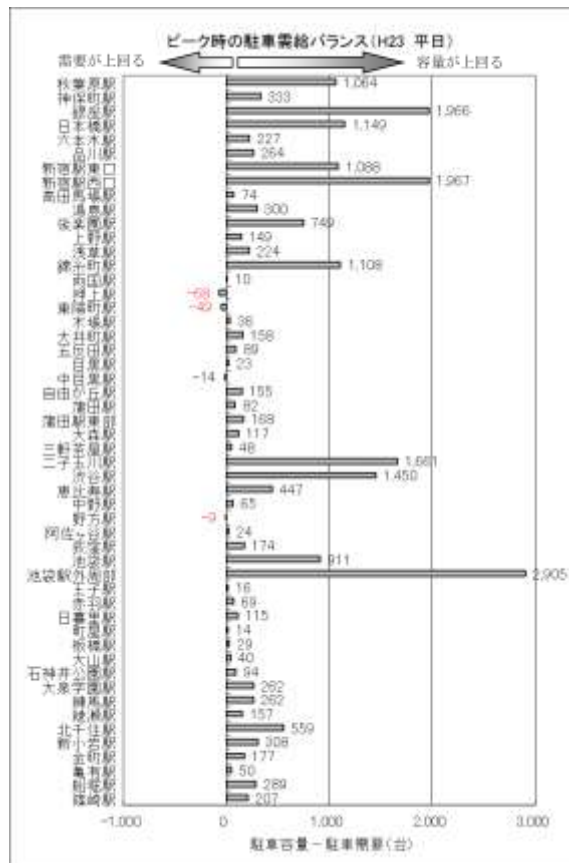


図 2-47 ピーク時の総駐車需要の推移(休日)

2) 駐車需給バランスの推移

①平日

○駐車需給が駐車容量(収容台数)を上回る地区は平成 23 年度が 3 地区、平成 26 年度が 5 地区、平成 29 年度が 4 地区になっている。



* 駐車需要が駐車容量を上回る地区：3 地区

* 駐車需要が駐車容量を上回る地区：5 地区

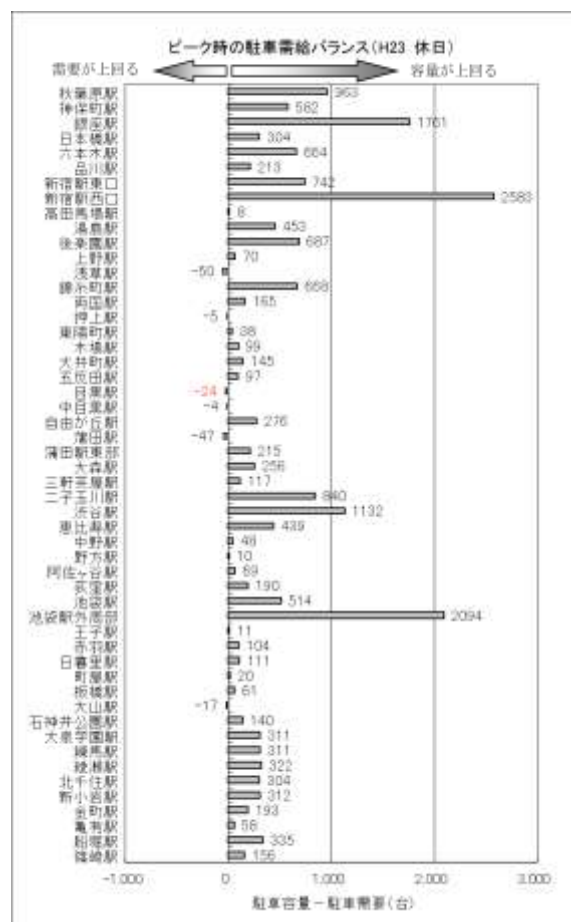
* 駐車需要が駐車容量を上回る地区：4 地区

* 赤字：駐車需要が駐車容量を上回る地区（需要/容量が 110%以内の場合は、需給バランス確保とみなしている）

図 2-48 ピーク時の駐車需給バランスの推移（平日）

②休日

○駐車需給が駐車容量(収容台数)を上回る地区は平成 23 年度が 1 地区、平成 26 年度が 2 地区、平成 29 年度が 2 地区になっている。



* 駐車需要が駐車容量を上回る地区：1 地区

* 赤字：駐車需要が駐車容量を上回る地区（需要/容量が 110%以内の場合は、需給バランス確保とみなしている）



* 駐車需要が駐車容量を上回る地区：2 地区



* 駐車需要が駐車容量を上回る地区：2 地区

図 2-49 ピーク時の駐車需給バランスの推移（休日）

2.3. 実態調査結果（二輪）

2.3.1. 路外駐車場施設の実態（二輪）

(1) 地区別の実態

1) 路外駐車場の整備状況

① 駐車場数

○42 地区中、秋葉原駅・池袋駅で駐車場が 10 場以上となっている。

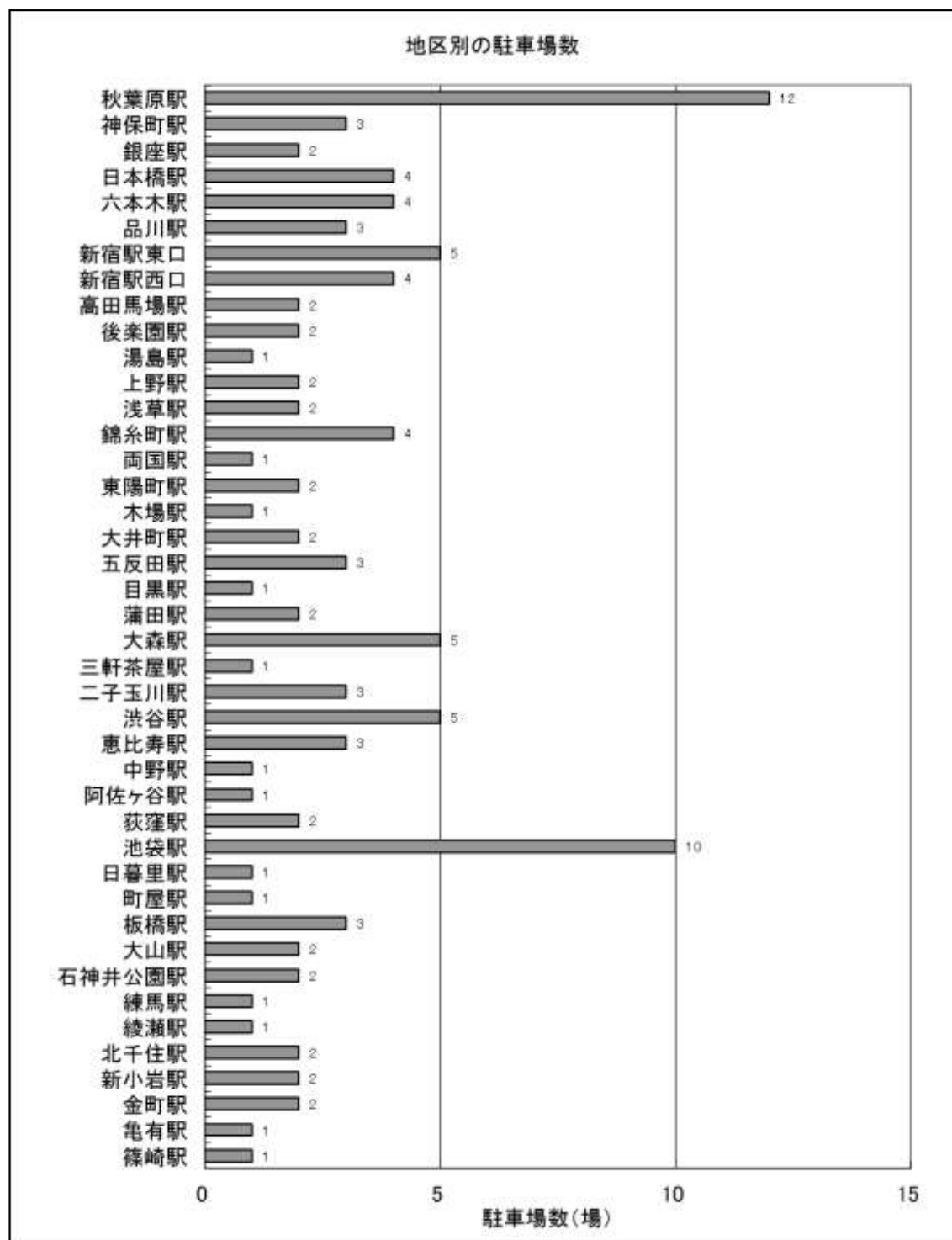


図 2-50 地区別の駐車場数

② 構造・形態別の駐車場割合

○最も高い割合が「平面構造」であり、次いで「地下構造」、「立体構造」の順となっている。

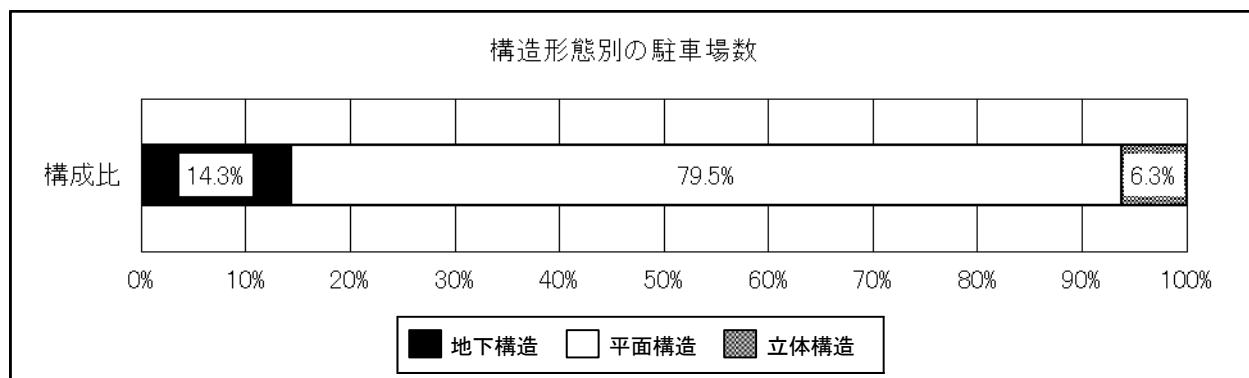


図 2-51 構造形態別の駐車場割合

○最も高い割合が「チェーンロック式」であり、次いで「フラップ式」、「なし(有人等)」の順となっている。

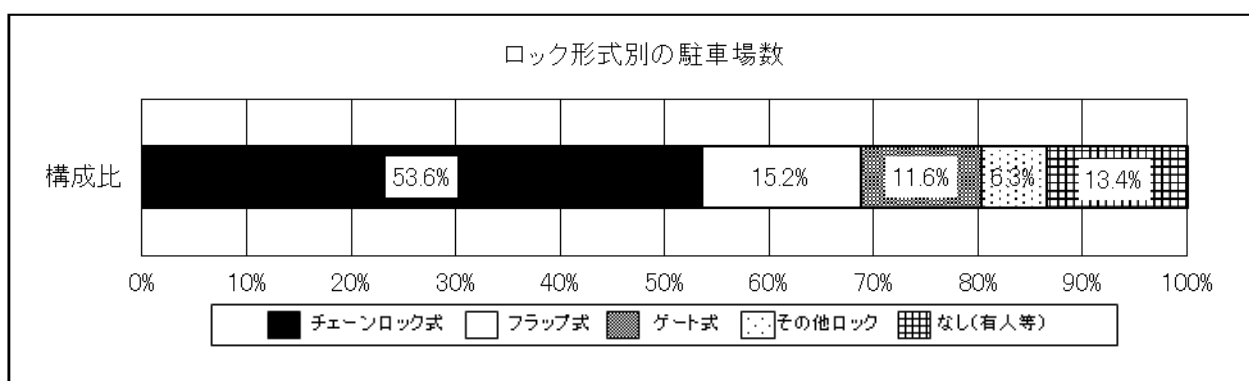


図 2-52 ロック形式別の駐車場割合

③ 収容台数規模別の駐車場割合

○最も高い割合が「～30 台」であり、次いで「～10 台」、「～50 台」の順となっている。

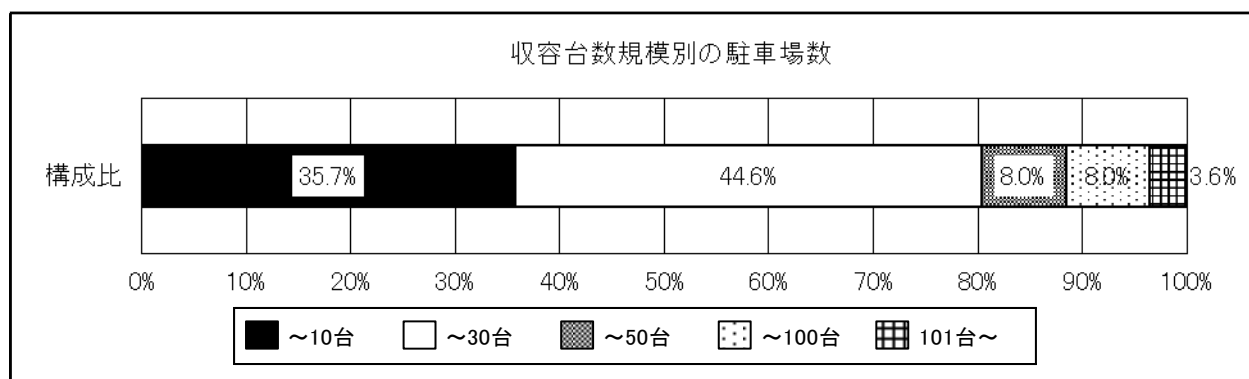


図 2-53 収容台数規模別の駐車場割合

2) 総収容台数（平日・休日）

○総収容台数が 200 台以上の地区は、秋葉原駅・渋谷駅の 2 地区となっている。

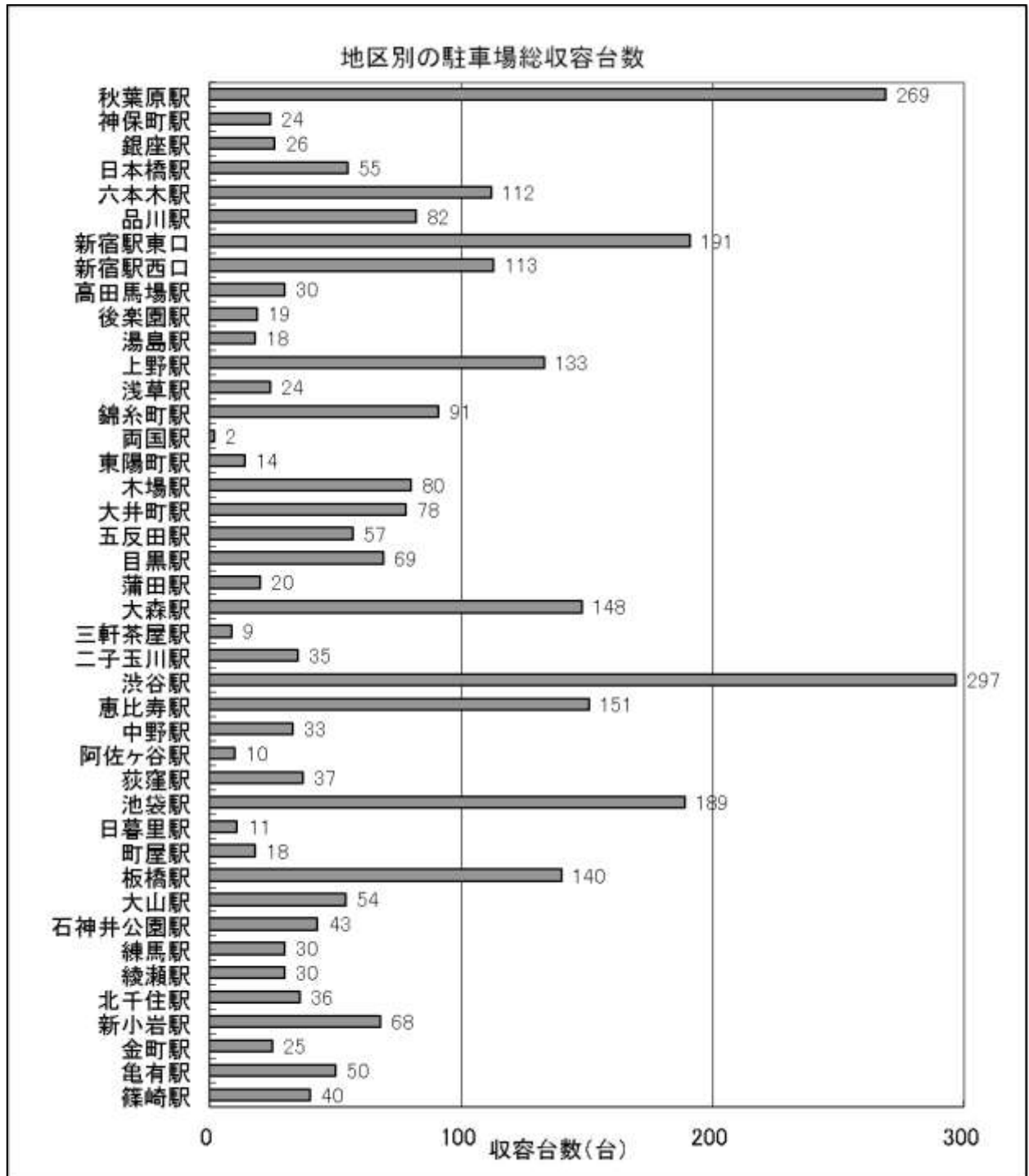


図 2-54 地区別の駐車場収容台数

(2) 過年度調査結果との比較

1) 駐車場数の推移

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、駐車場数は増加している。

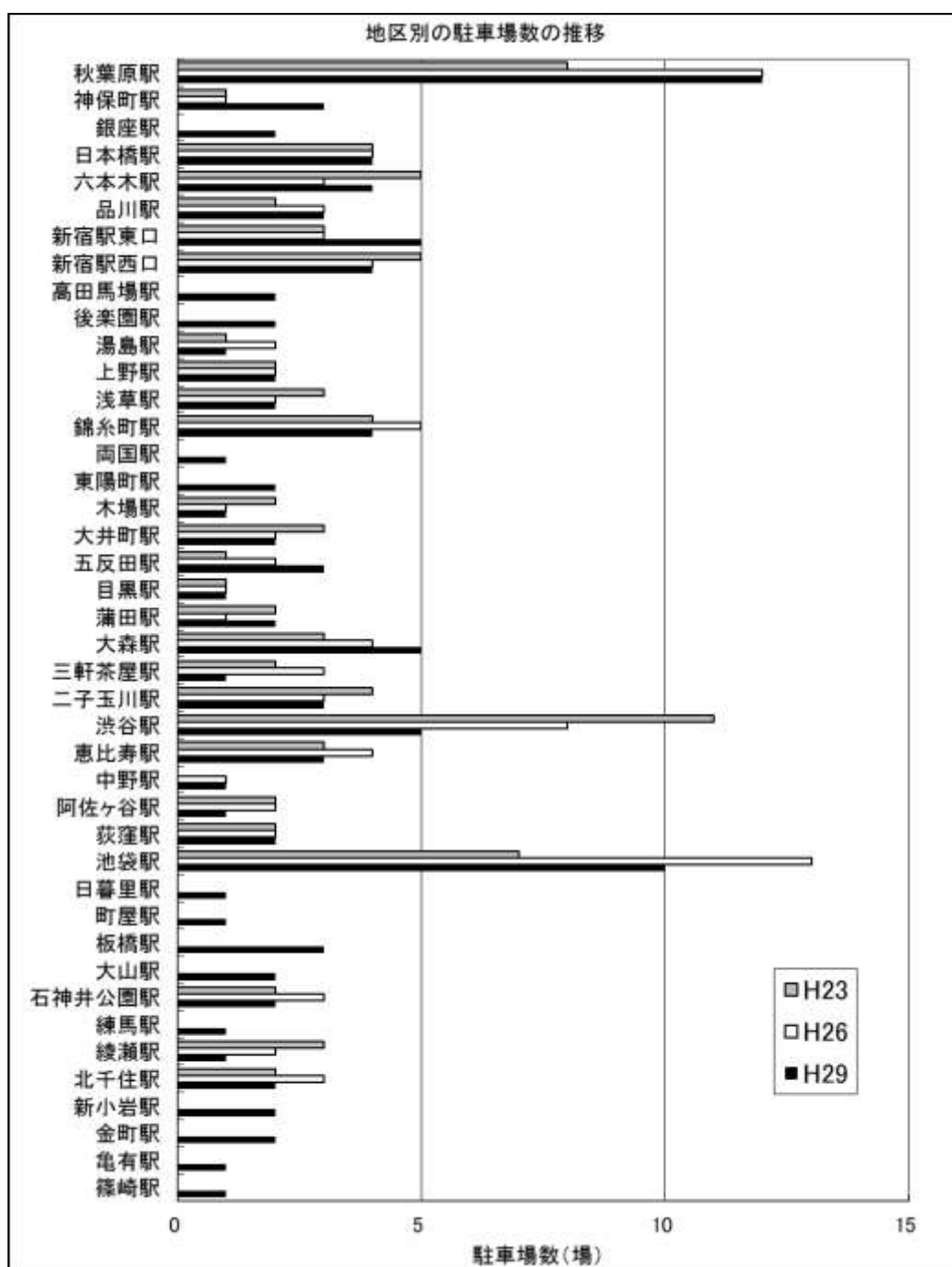
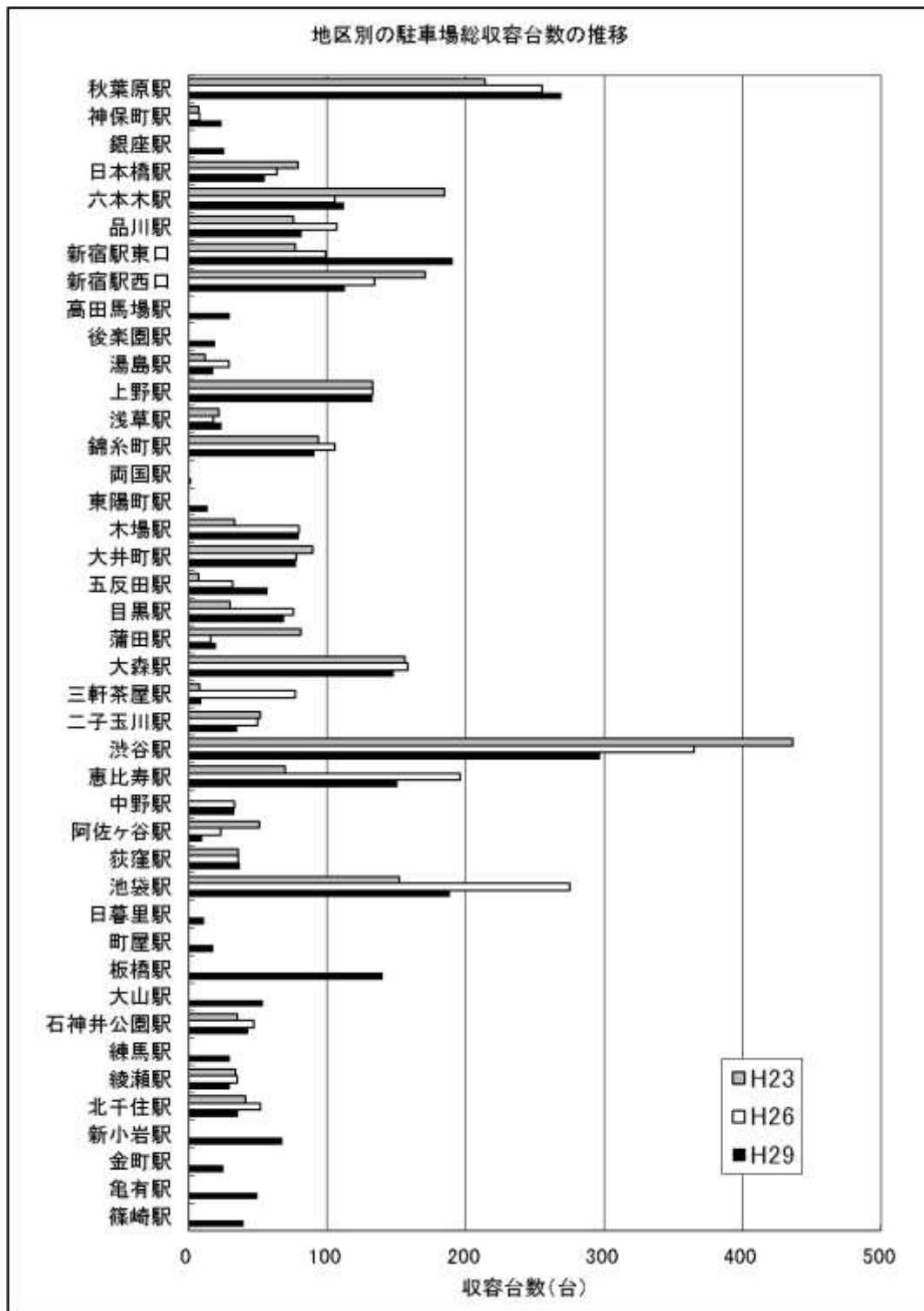


図 2-55 地区別の駐車場数の推移

2) 地区別の駐車場総収容台数の推移（平日・休日）

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、総収容台数は増加している。



※中野駅（H23）、赤羽駅（H26）は路外駐車場無し

図 2-56 地区別の駐車場総収容台数の推移

2.3.2. 路外駐車場の利用実態（二輪）

(1) 地区別の実態

1) ピーク時の駐車場利用率

① 平日

○神保町駅・六本木駅・品川駅・湯島駅・浅草駅・両国駅・大井町駅・五反田駅・三軒茶屋駅・中野駅・板橋駅・新小岩駅・亀有駅の13地区でピーク時駐車場利用率が80%を超えている。

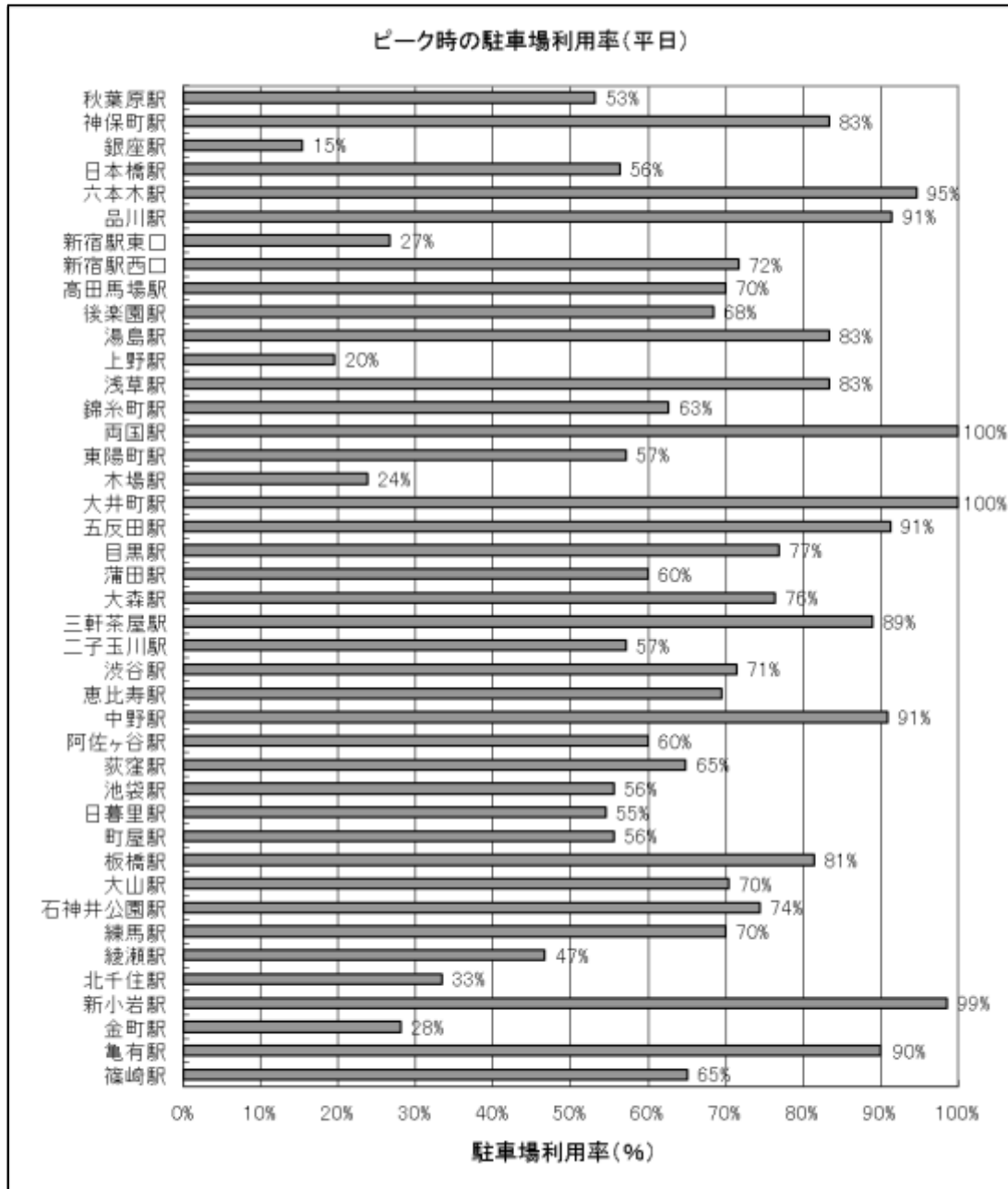


図 2-57 ピーク時の駐車場利用率（平日）

② 休日

○錦糸町駅・中野駅・練馬駅・新小岩駅・亀有駅での5地区でピーク時駐車場利用率が80%を超えている。

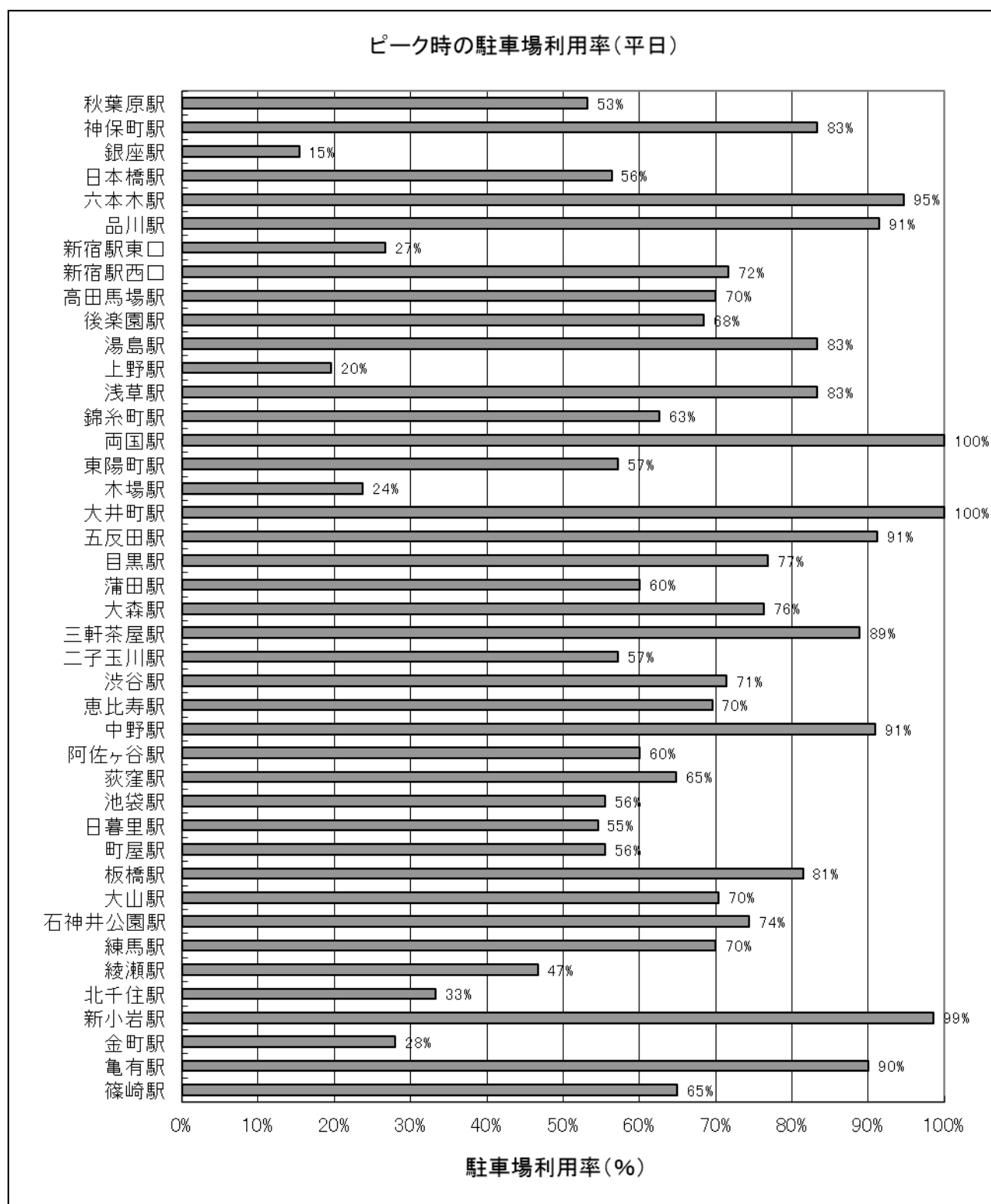


図 2-58 ピーク時の駐車場利用率 (休日)

2) ピーク時の駐車場利用台数

① 平日

- ピーク時の駐車場利用台数が最も多いのは、渋谷駅で 212 台である。
- 一方、銀座駅・両国駅は駐車場利用台数が 5 台未満である。

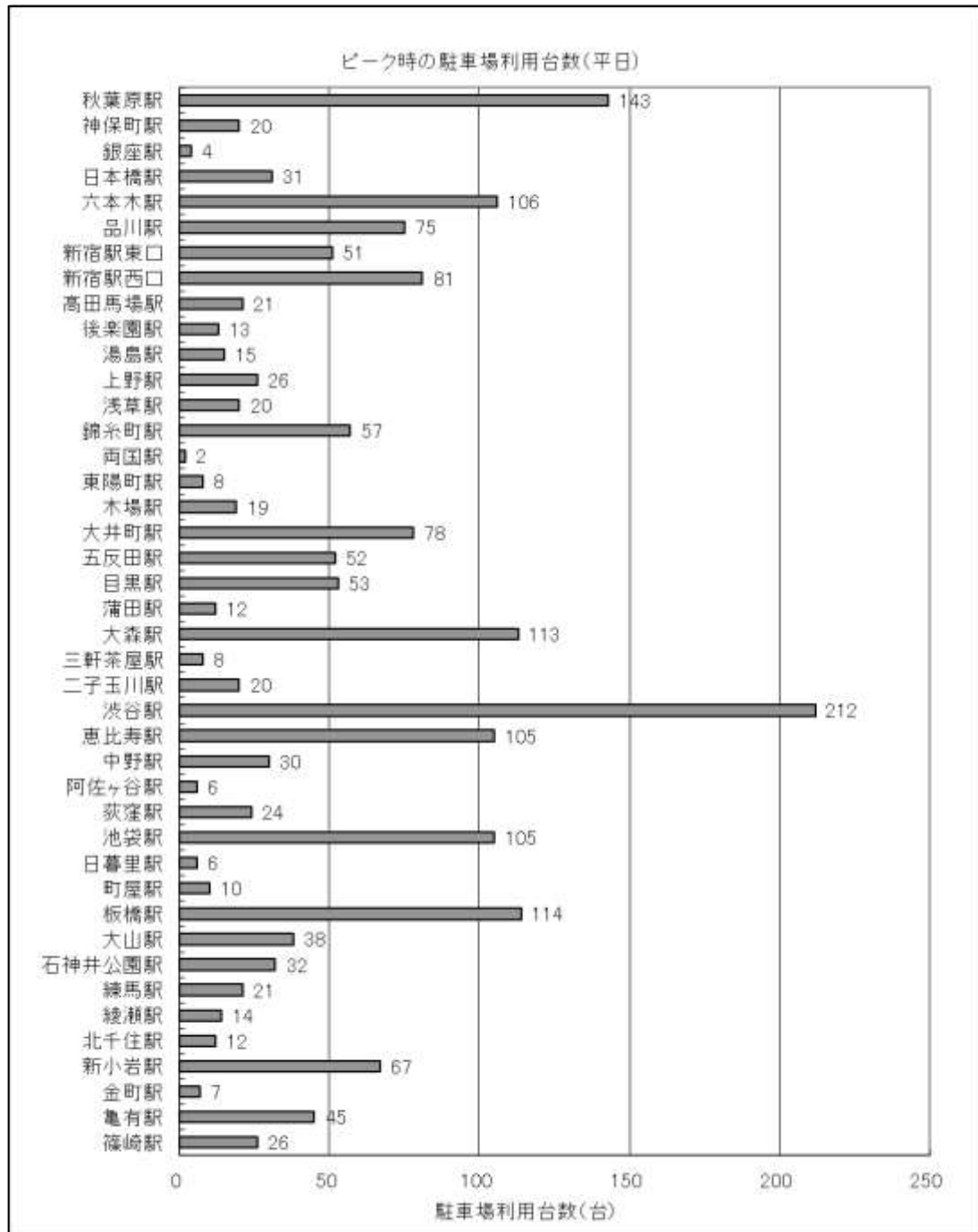


図 2-59 ピーク時の駐車場利用台数 (平日)

② 休日

- ピーク時の駐車場利用台数が最も多いのは、秋葉原駅で 187 台である。
○一方、後楽園駅・両国駅・阿佐ヶ谷駅は駐車場利用台数が 5 台未満である。

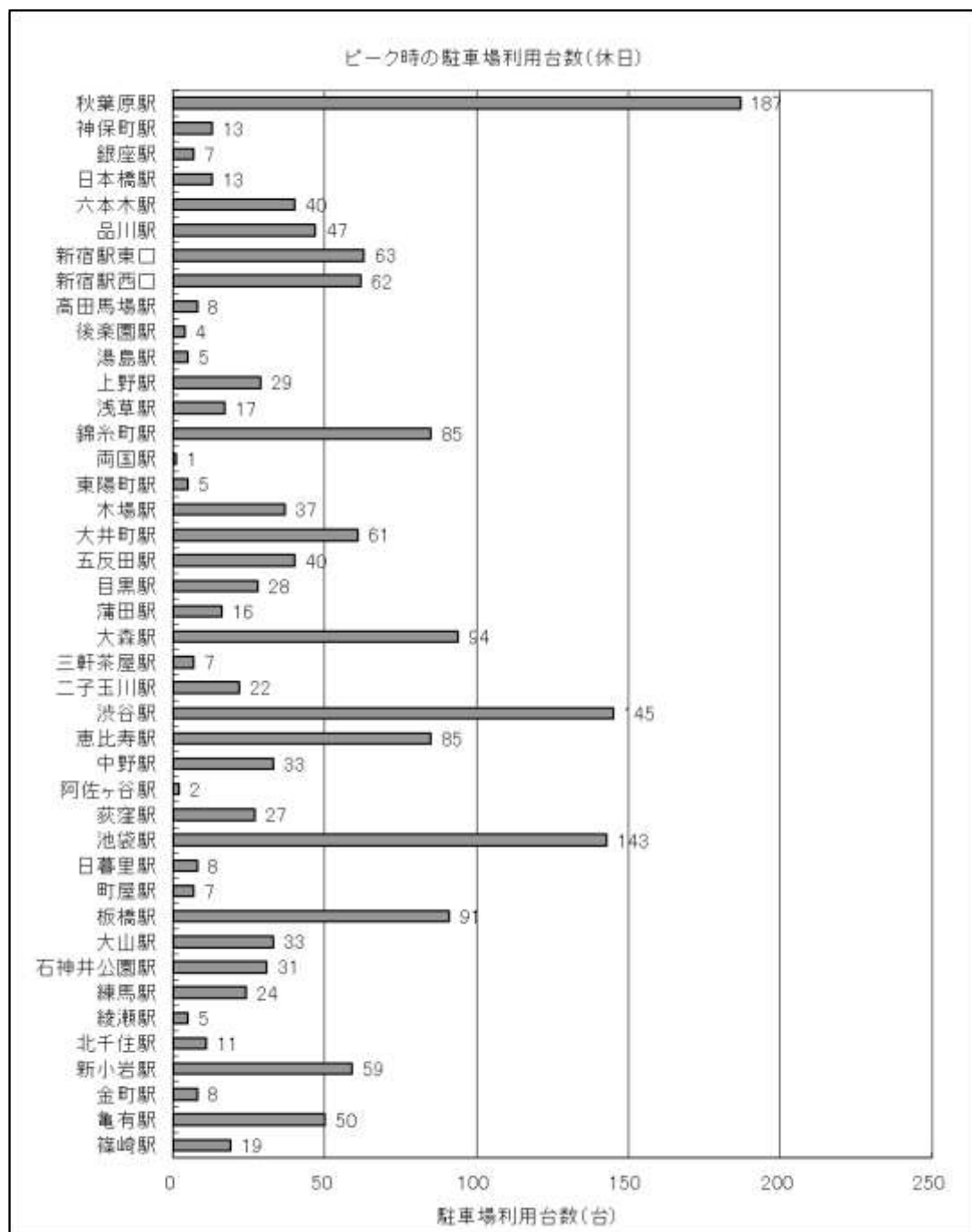


図 2-60 ピーク時の駐車場利用台数 (休日)

(2) 過年度調査結果との比較

1) ピーク時の駐車場利用率の推移

① 平日

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、全体的にピーク時の駐車場利用率は増加傾向にある。

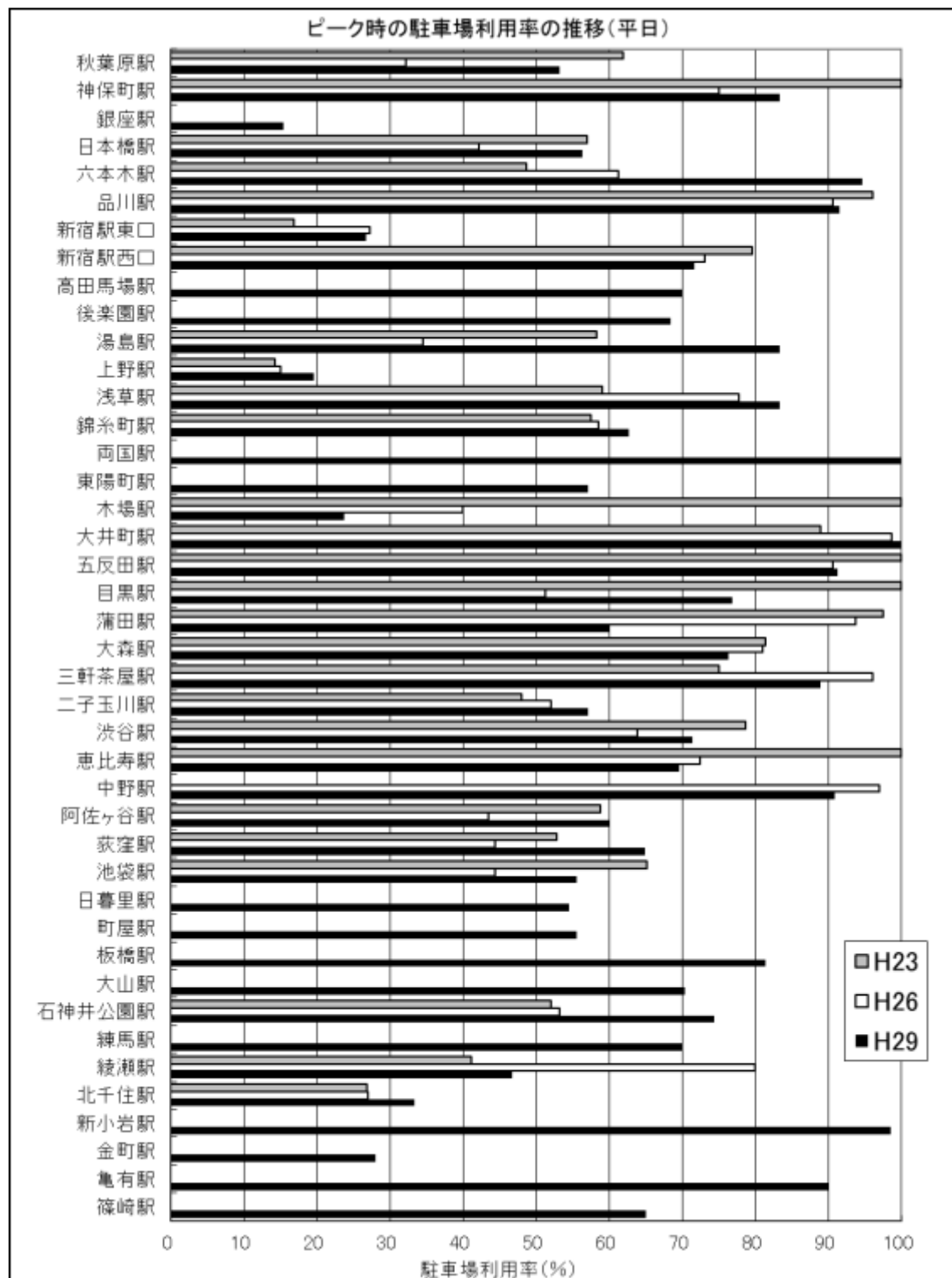


図 2-61 ピーク時の駐車場利用率の推移(平日)

② 休日

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、全体的にピーク時の駐車場利用率は増加傾向にある。

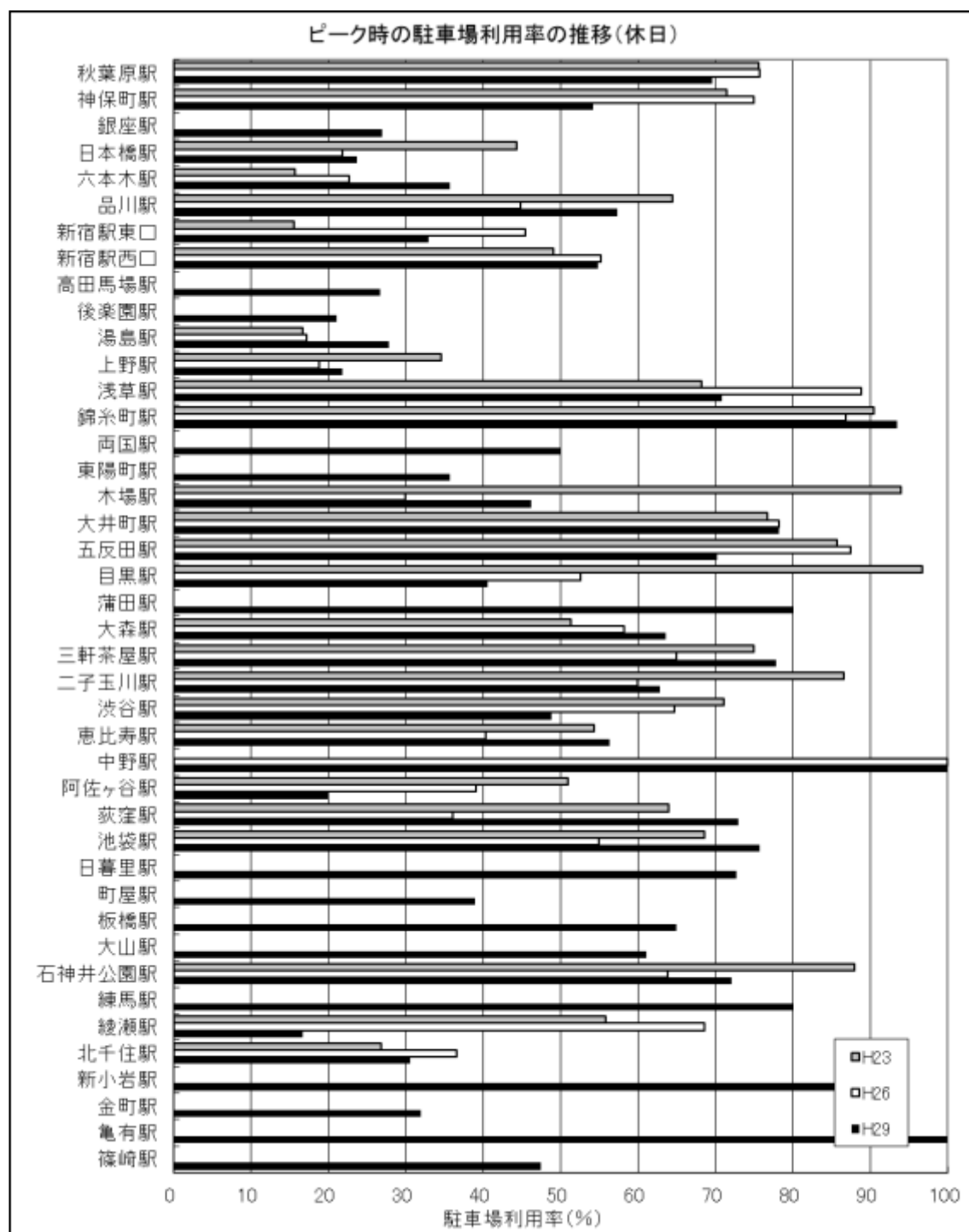


図 2-62 ピーク時の駐車場利用率の推移 (休日)

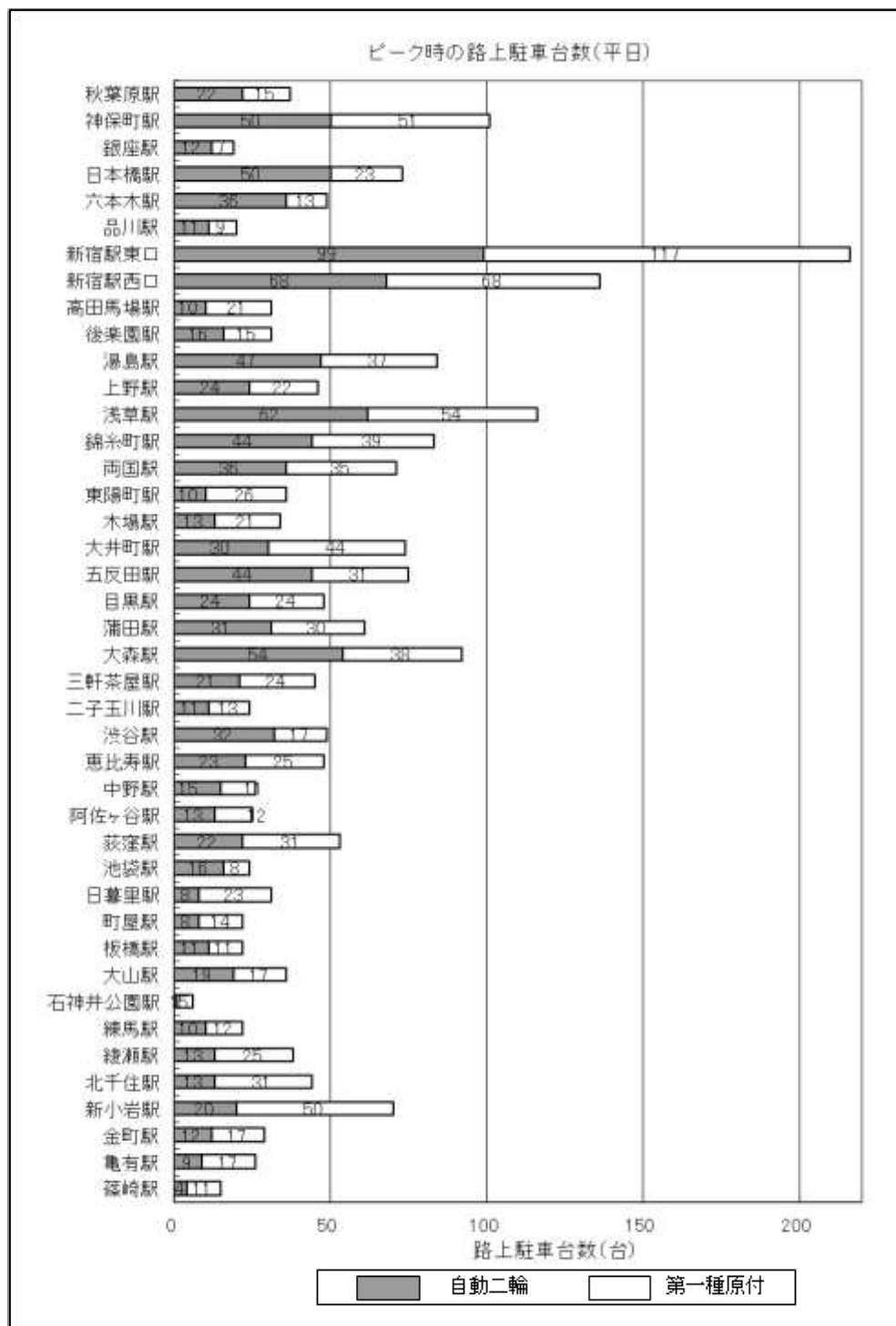
2.3.3. 路上駐車の実態（二輪）

(1) 地区別の実態

1) ピーク時の路上駐車台数（台）

① 平日

○路上駐車が最も多いのは、新宿駅東口の 216 台(99 台+117 台)であり、次いで新宿駅西口が 136 台(68 台+68 台)、浅草駅が 116 台(62 台+54 台)である。

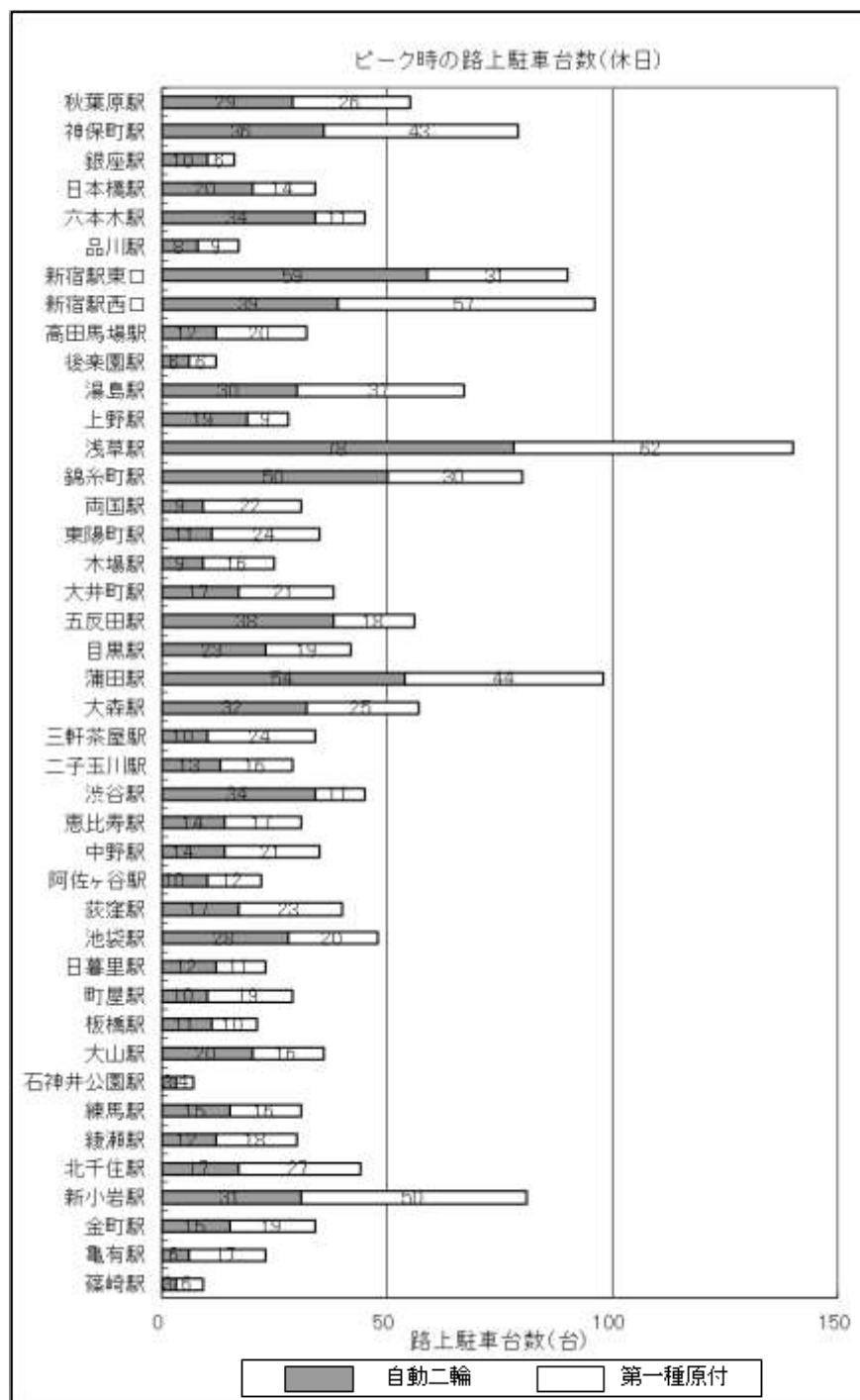


※合法・違法を含む

図 2-63 ピーク時の路上駐車台数（平日）

② 休日

○路上駐車が最も多いのは、浅草駅の 140 台(78 台+62 台)であり、次いで蒲田駅が 98 台(54 台+44 台)、新宿駅西口が 96 台(39 台+57 台)である。



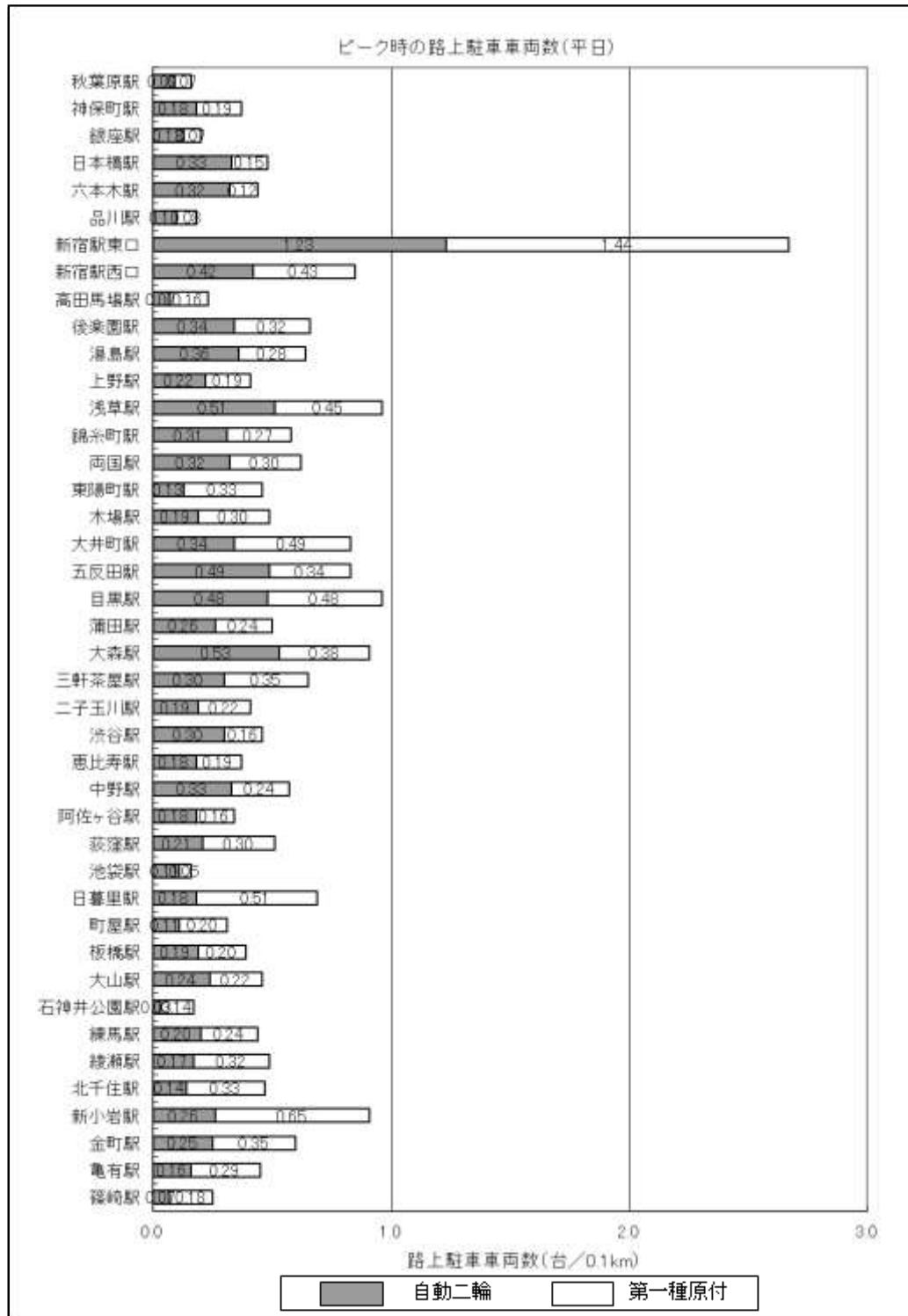
※合法・違法を含む

図 2-64 ピーク時の路上駐車台数 (休日)

2) ピーク時の路上駐車車両数 (台／0.1km)

① 平日

○100m当たりの路上駐車車両数は、新宿駅東口が最も多く、2.67 台(1.23 台+1.44 台)／0.1 kmであり、次いで浅草駅が 0.96 台(0.51 台+0.45 台)／0.1 km、目黒駅が 0.96 台(0.48 台+0.48 台)／0.1 kmである。

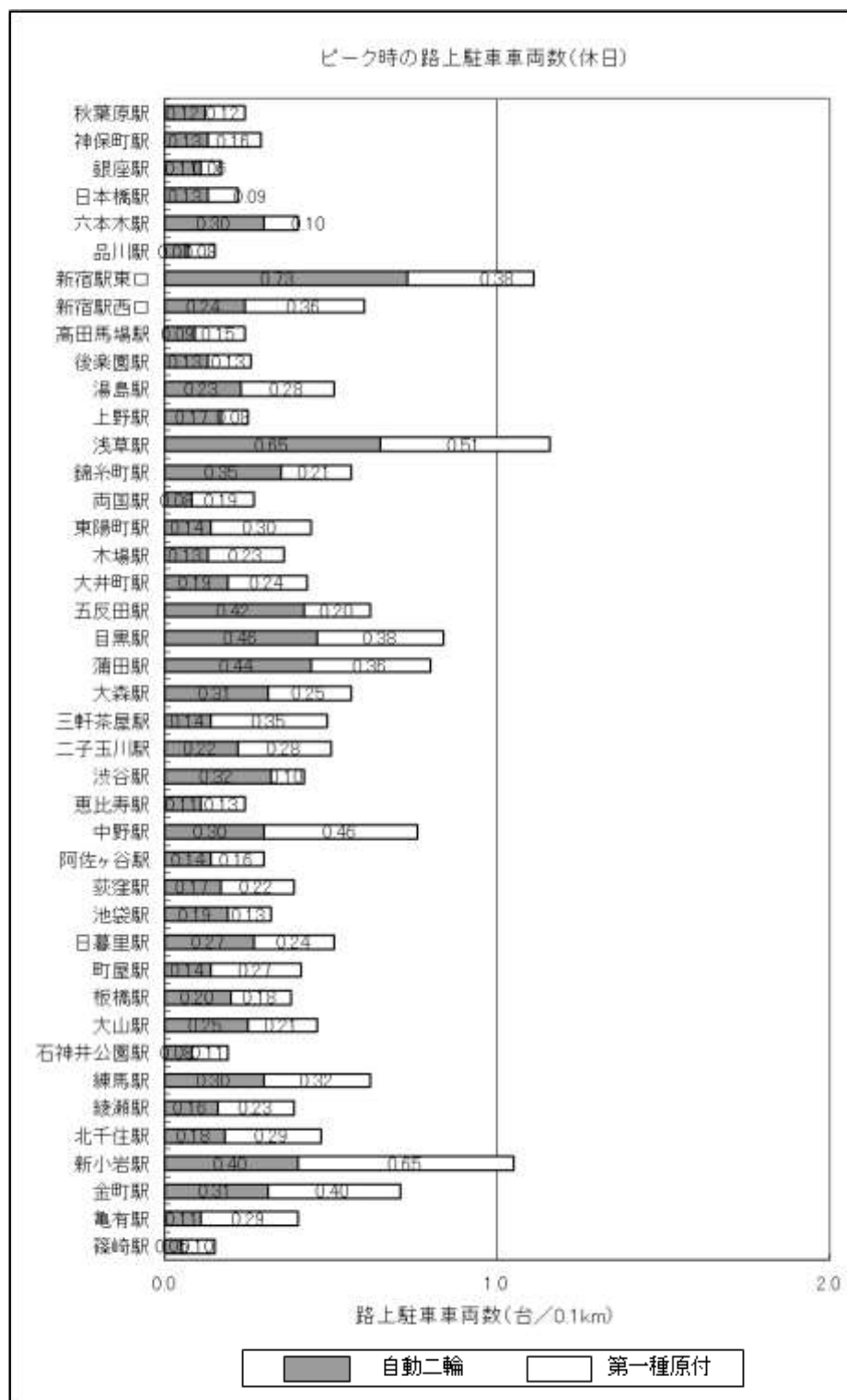


※合法・違法を含む

図 2-65 ピーク時の路上駐車車両数 (平日)

② 休日

○100m当たりの路上駐車車両数は、浅草が最も多く、1.16 台(0.65 台+0.51 台)／0.1 kmであり、次いで新宿駅東口が 1.11 台(0.73 台+0.38 台)／0.1 km、新小岩駅が 1.05 台(0.40 台+0.65 台)／0.1 kmである。



※合法・違法を含む

図 2-66 ピーク時の路上駐車車両数 (休日)

3) ピーク時の駐車分類別の路上駐車割合

① 平日（自動二輪）

- 秋葉原駅・品川駅・新宿駅東口・新宿駅西口・高田馬場駅・恵比寿駅・池袋駅・石神井公園駅・練馬駅・金町駅・亀有駅・篠崎駅は、違法歩道駐車の割合が80%を超えている。
- 湯島駅・浅草駅・三軒茶屋駅・二子玉川駅・中野駅・大山駅は、違法車道駐車の割合が80%を超えている。

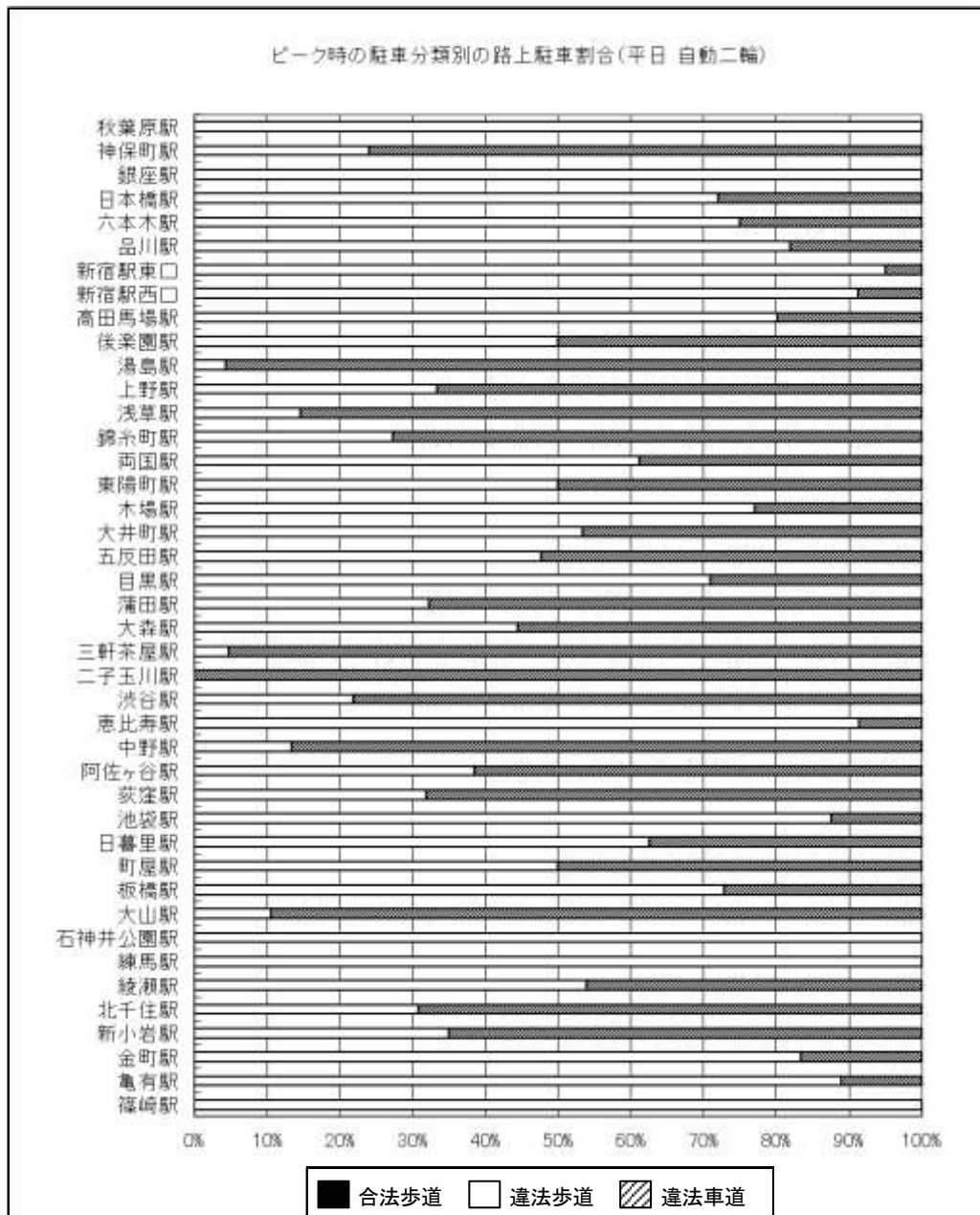


図 2-67 ピーク時の駐車分類別の路上駐車割合（平日）

② 休日（自動二輪）

○銀座駅・品川駅・新宿駅東口・新宿駅西口・後楽園駅・上野駅・大井町駅・恵比寿駅・中野駅・板橋駅・石神井公園駅・練馬駅・金町駅・亀有駅は、違法歩道駐車の割合が80%を超えている。

○神保町駅・湯島駅・浅草駅・錦糸町駅・蒲田駅・三軒茶屋駅・二子玉川駅・渋谷駅・阿佐ヶ谷駅・の8地区は、違法車道駐車の割合が80%を超えている。

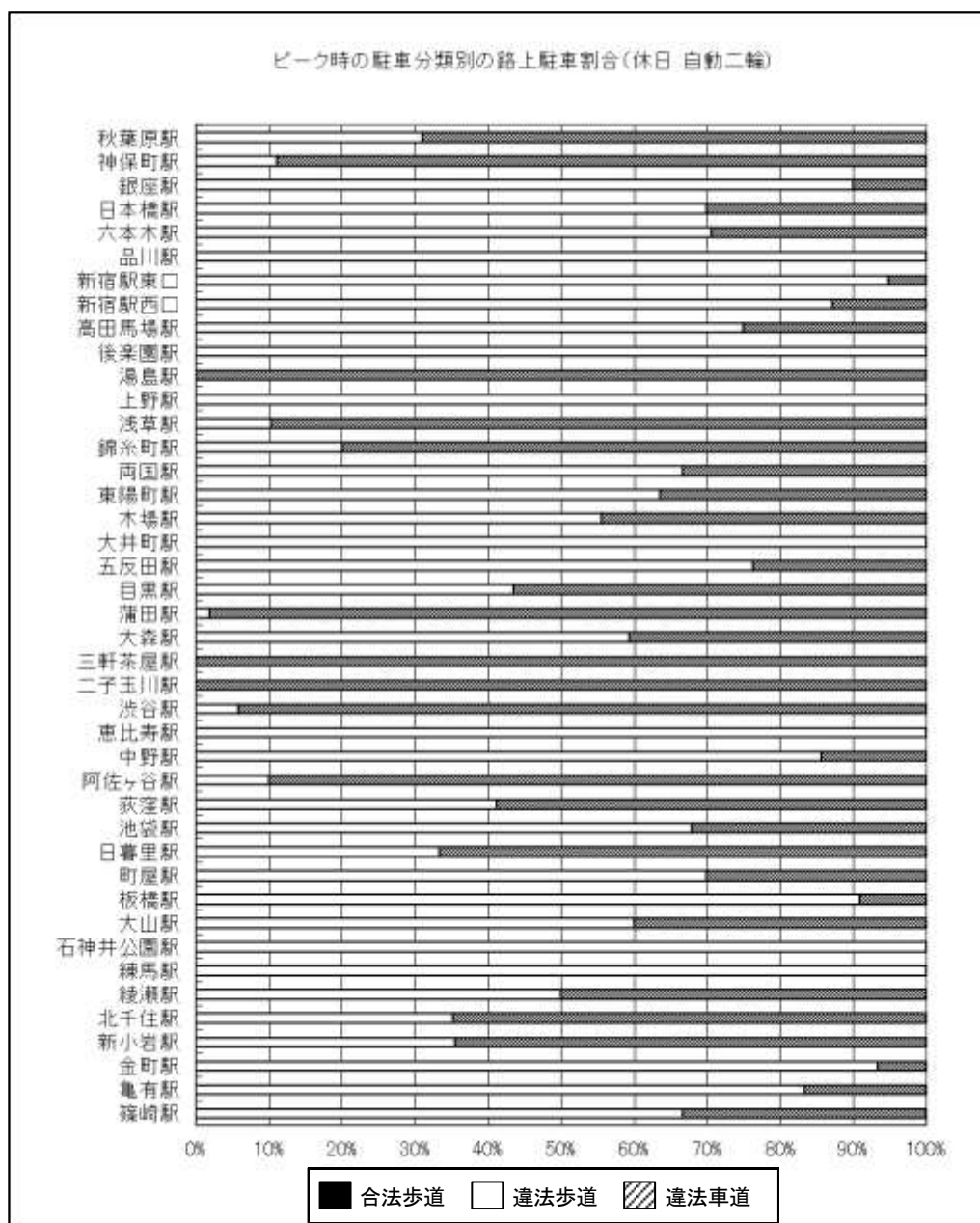


図 2-68 ピーク時の駐車分類別の路上駐車割合（休日）

① 平日（原付第一種）

- 秋葉原駅・日本橋駅・六本木駅・新宿駅東口・新宿駅西口・高田馬場駅・後楽園駅・東陽町駅・木場駅・目黒駅・恵比寿駅・練馬駅・金町駅・篠崎駅は、違法歩道駐車の割合が80%を超えている。
- 湯島駅・錦糸町駅・三軒茶屋駅・二子玉川駅・中野駅・北千住駅は、違法車道駐車の割合が80%を超えている。

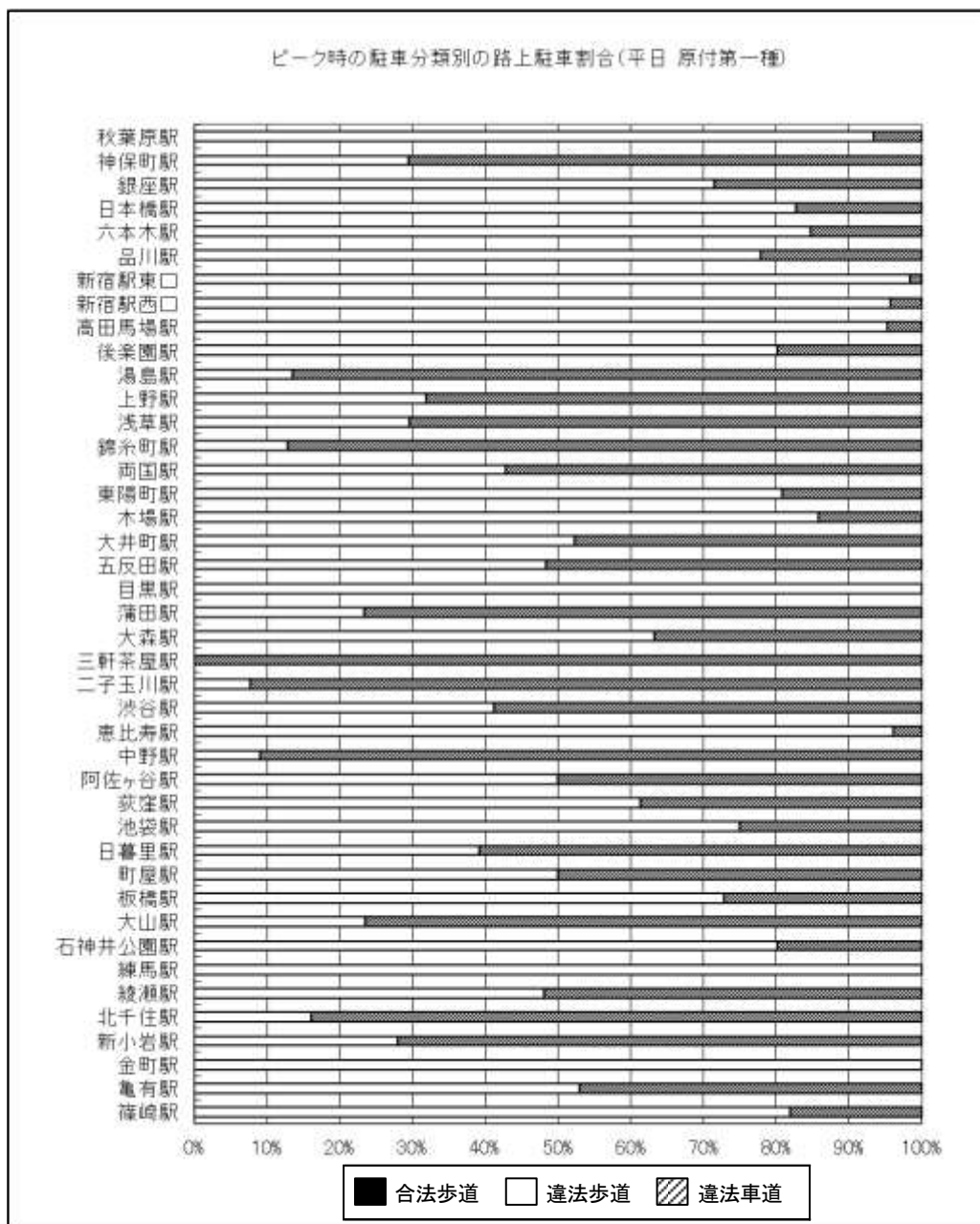


図 2-69 ピーク時の駐車分類別の路上駐車割合（平日）

② 休日（原付第一種）

- 日本橋駅・六本木駅・品川駅・新宿駅東口・新宿駅西口・高田馬場駅・後楽園駅・両国駅・大井町駅・五反田駅・中野駅・板橋駅・石神井公園駅・練馬駅・金町駅・篠崎駅は、違法歩道駐車の割合が80%を超えている。
- 秋葉原駅・神保町駅・湯島駅・浅草駅・錦糸町駅・蒲田駅・三軒茶屋駅・二子玉川駅・渋谷駅は、違法車道駐車の割合が80%を超えている。

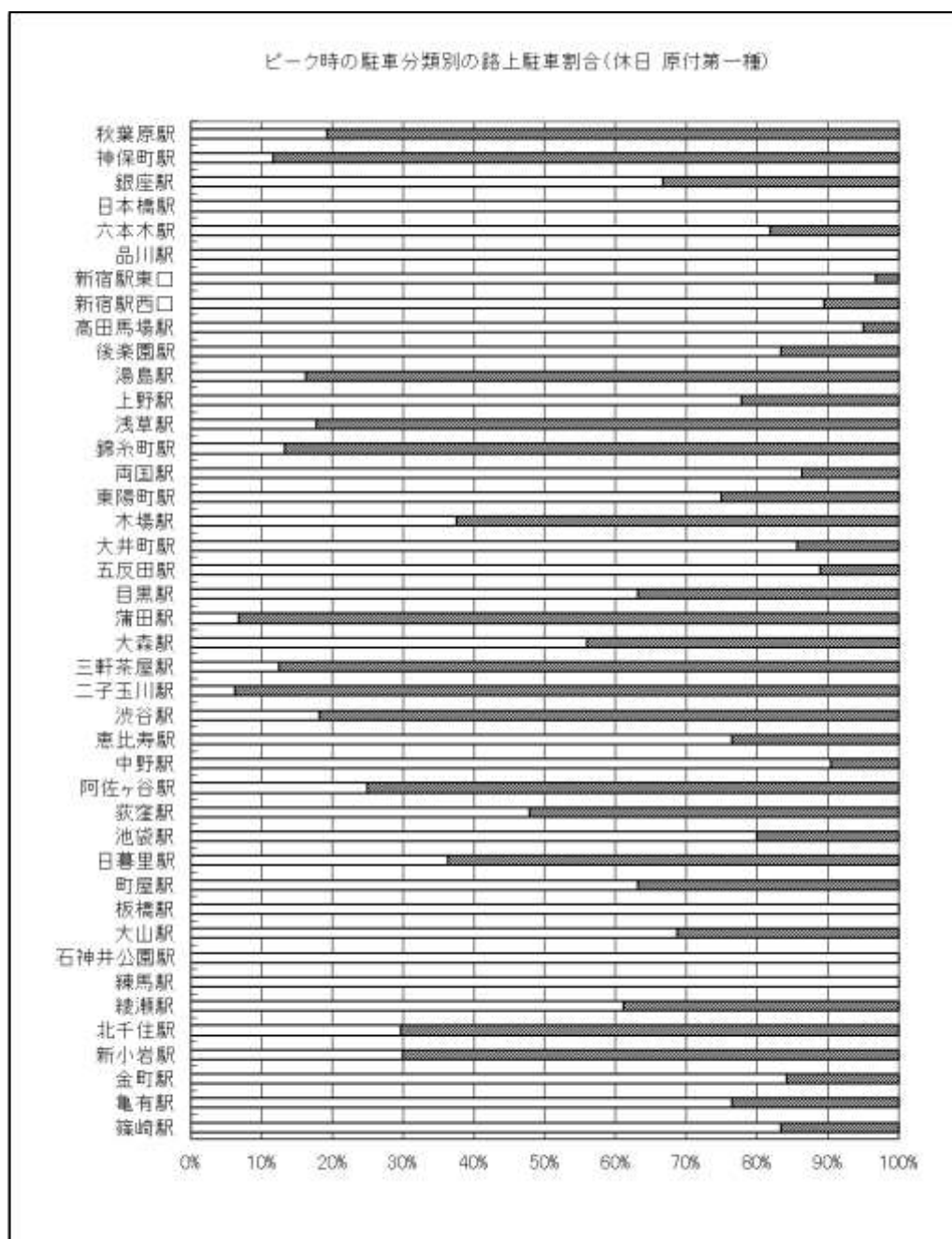
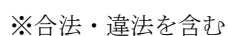


図 2-70 ピーク時の駐車分類別の路上駐車割合（休日）

1) ピーク時の路上駐車台数の推移

○前回調査（平成 26 年度）と比較してピーク時の路上駐車台数が増加しているのは日本橋駅・六本木駅・品川駅・新宿駅西口・目黒駅・大森駅・綾瀬駅の 7 地区である。

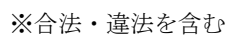
○ピーク時の路上駐車台数が減少しているのは 20 地区であり、そのうち秋葉原・浅草駅・錦糸町駅・池袋駅・日暮里駅の 5 地区は、前回調査よりも 50 台以上減少している。



83

○前回調査（平成 26 年度）と比較してピーク時の路上駐車台数が増加しているのは品川駅・蒲田東部・大森駅・綾瀬駅の 4 地区であり、

○ピーク時の路上駐車台数が減少しているのは 22 地区であり、そのうち秋葉原駅・新宿駅東口・錦糸町駅・大井町駅・五反田駅・恵比寿駅・荻窪駅・池袋駅・日暮里駅の 9 地区は、前回調査よりも 50 台以上減少している。



84

2.3.4. 路上駐車時間の実態（二輪）

(1) 地区別の実態

1) 平均路上駐車時間

① 自動二輪

- 秋葉原駅・平日の新宿駅西口・平日の錦糸町駅・平日の池袋駅を除き、平均路上駐車時間は 30 分以上となっている。
- 秋葉原駅・新宿駅東口を除き平日・休日の差が大きい。
- 平日・休日の平均駐車時間で、10 分以上の差があるのが新宿駅西口・湯島駅・浅草駅・錦糸町駅・五反田駅・渋谷駅・池袋駅である。

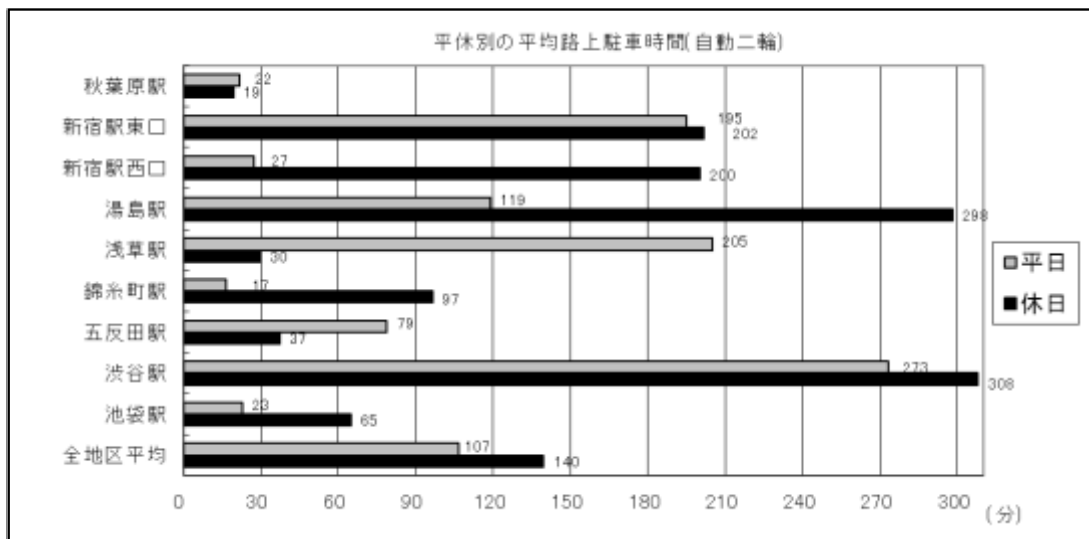


図 2-73 平均路上駐車時間（自動二輪）

② 原付第一種

- 休日の秋葉原駅、休日の新宿駅西口・平日の錦糸町駅を除き、平均路上駐車時間は 30 分以上となっている。
- 秋葉原駅・新宿駅東口を除き平日・休日の差が大きい。

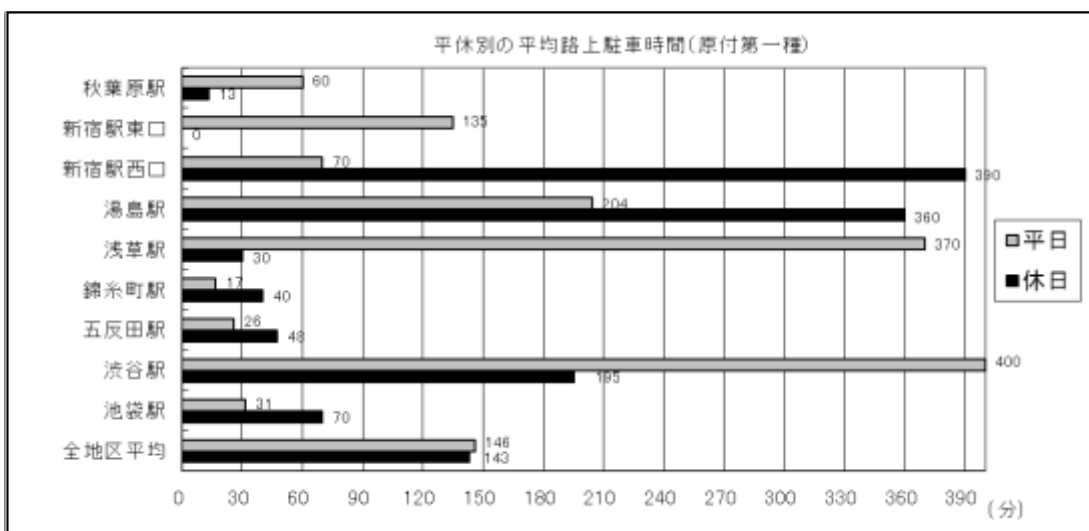


図 2-74 平均路上駐車時間（原付第一種）

2) 時間帯別の路上駐車時間

① 平日（自動二輪）

- 全地区平均は11時がピークで減少していき、13時から変動が少ない。
- 地区・時間帯によって平均路上駐車時間が大きく変動している。

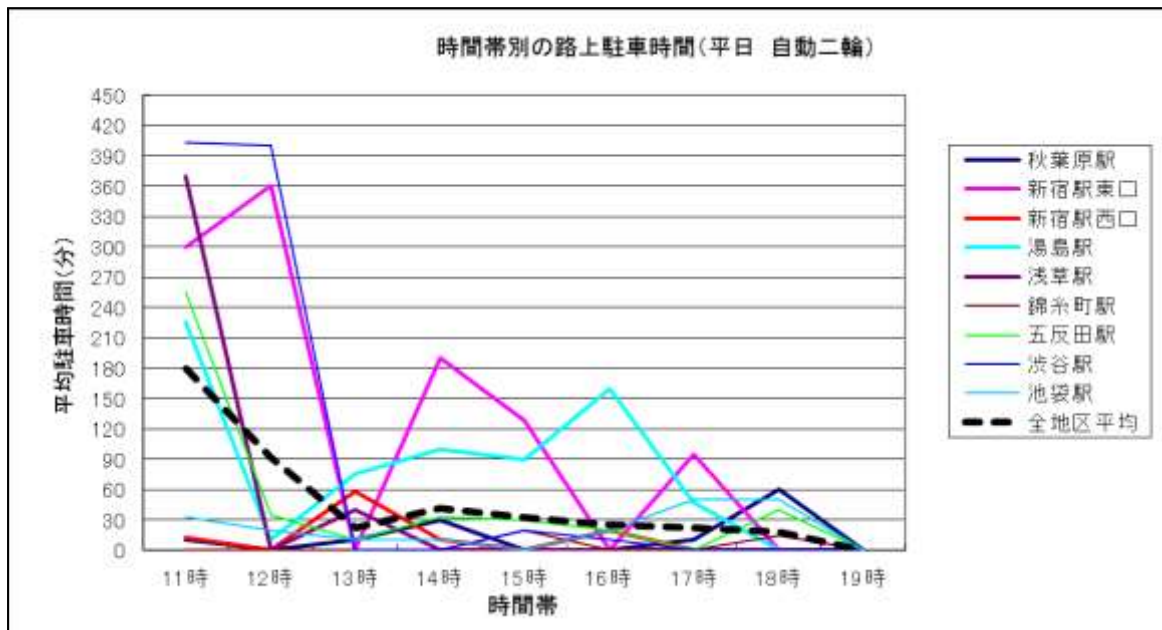


図 2-75 時間帯別の路上駐車時間（平日・自動二輪）

② 休日（自動二輪）

- 全地区平均は11時がピークで減少していき、12時から変動が少ない、
- 秋葉原駅は変動が少ないが、他の地区では路上駐車時間が大きく変動している。

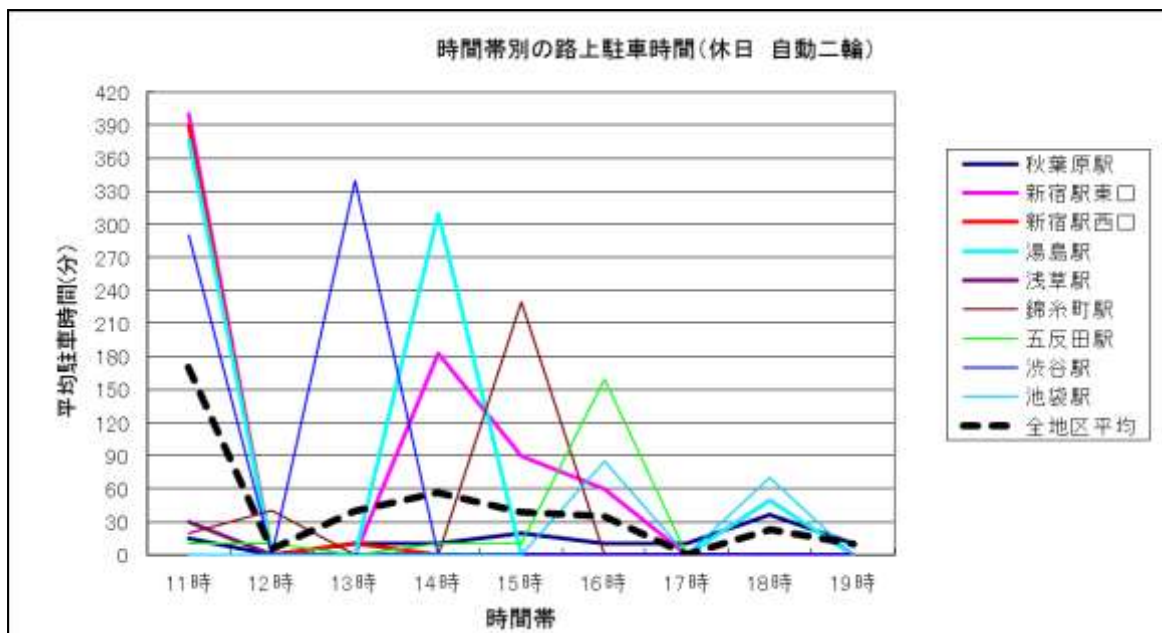


図 2-76 時間帯別の路上駐車時間（休日・自動二輪）

① 平日（原付第一種）

- 全地区平均は時間帯による変動が大きい。
- 渋谷駅・浅草駅は時間帯による差が大きい、他の地区は変動が少ない。

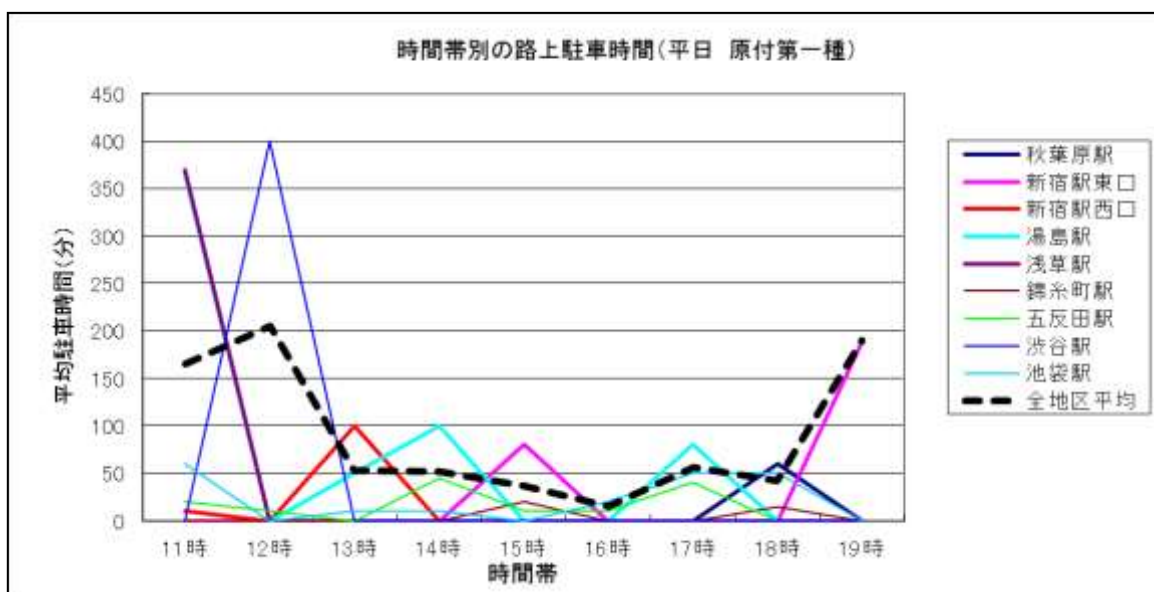


図 2-77 時間帯別の路上駐車時間（平日・原付第一種）

② 休日（原付第一種）

- 全地区平均は、時間帯によって変動が大きい。
- 新宿駅西口・湯島駅・渋谷駅では路上駐車時間が大きく変動している。

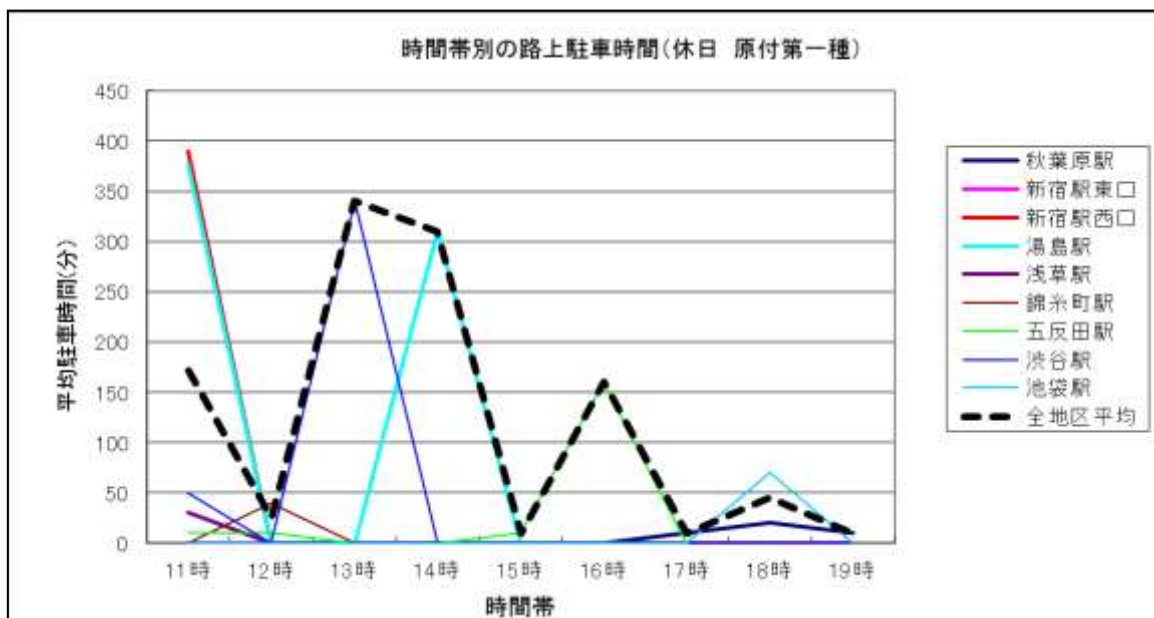


図 2-78 時間帯別の路上駐車時間（休日・原付第一種）

3) 車種別の路上駐車時間

① 平日

- 全地区平均路上駐車時間は「原付二種甲」が最も長く、次いで「原付一種」、「自動二輪(～250cc)」と「自動二輪(250cc超)」が同位の順になっている。
- 最も長いのは渋谷駅の「原付二種甲」・「自動二輪(～250cc)」である。

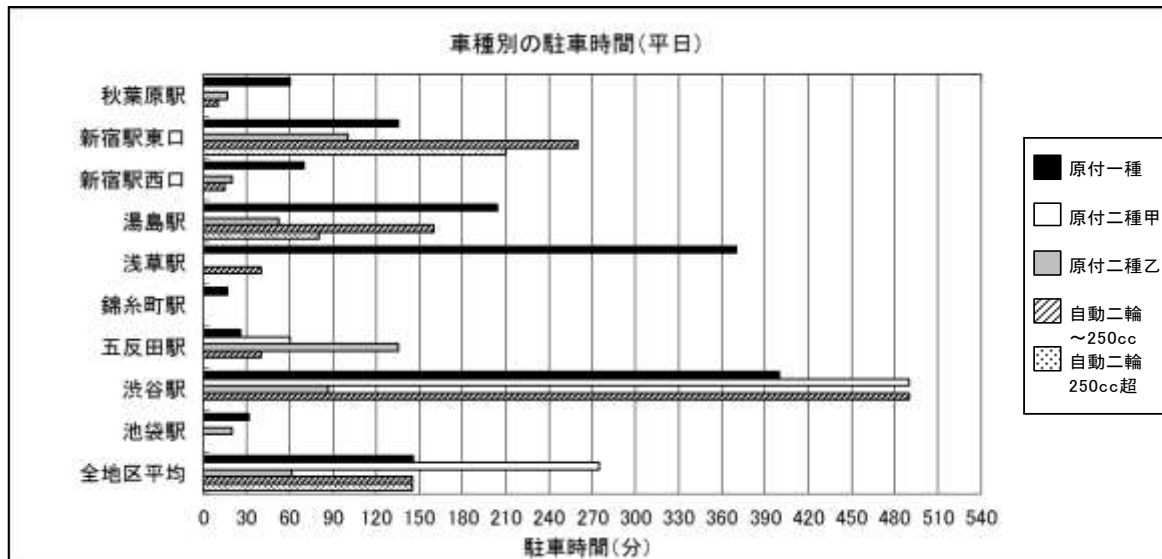


図 2-79 車種別の路上駐車時間 (平日)

② 休日

- 全地区平均路上駐車時間は「自動二輪(～250cc)」が最も長く、次いで「原付一種」、「自動二輪(250cc超)」の順になっている。
- 最も長いのは、渋谷駅の「自動二輪(～250cc)」である。

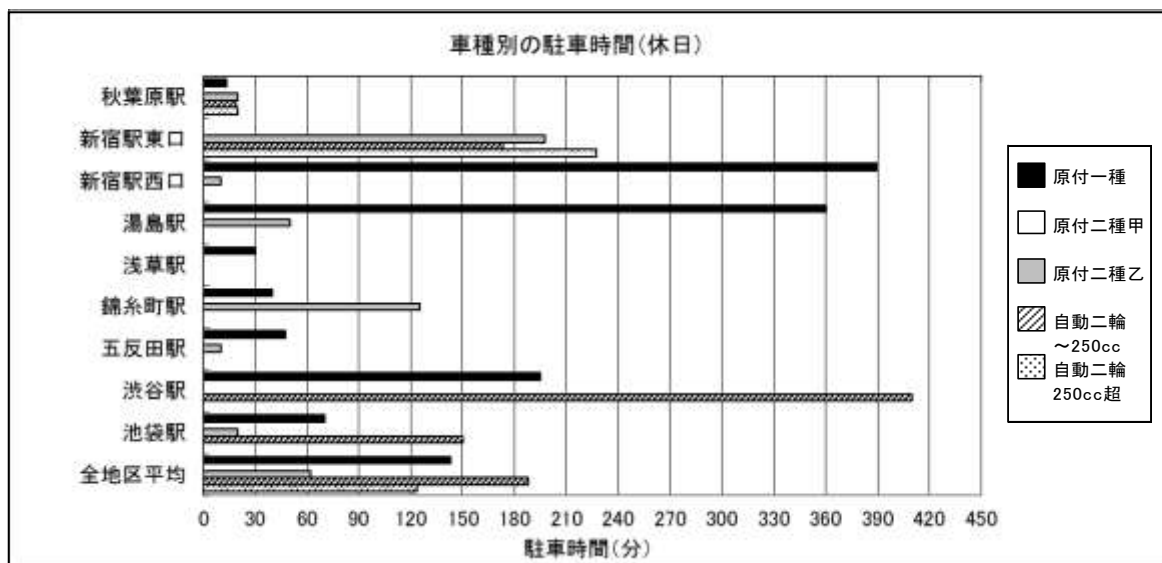


図 2-80 車種別の路上駐車時間 (休日)

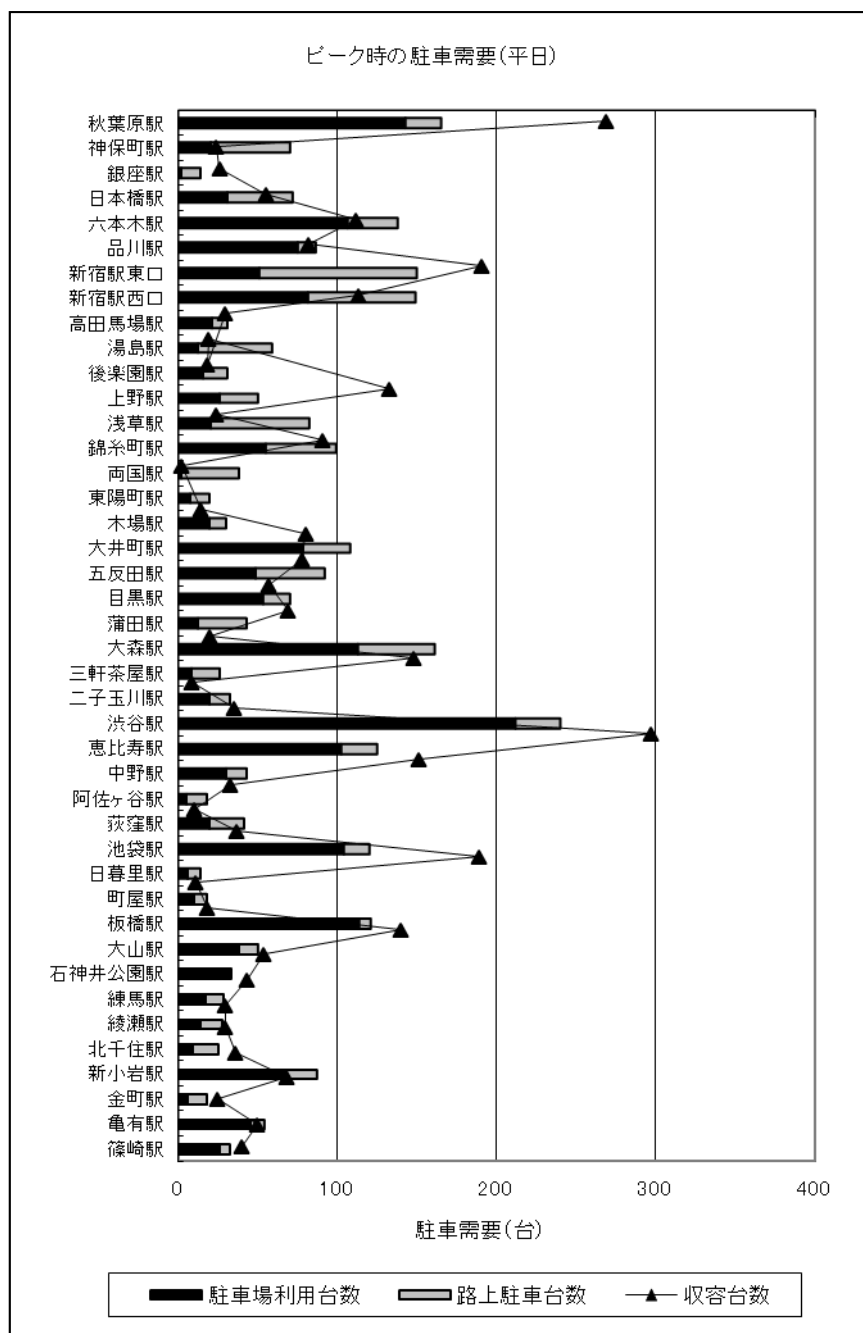
2.3.5. 駐車需給バランスの実態（自動二輪）

(1) 地区別の実態

1) ピーク時の駐車需要

① 平日

○秋葉原駅・六本木駅・新宿駅東口・新宿駅西口・大森駅・渋谷駅・池袋駅・板橋駅の8地区でピーク時の駐車需要が100台以上となっている。

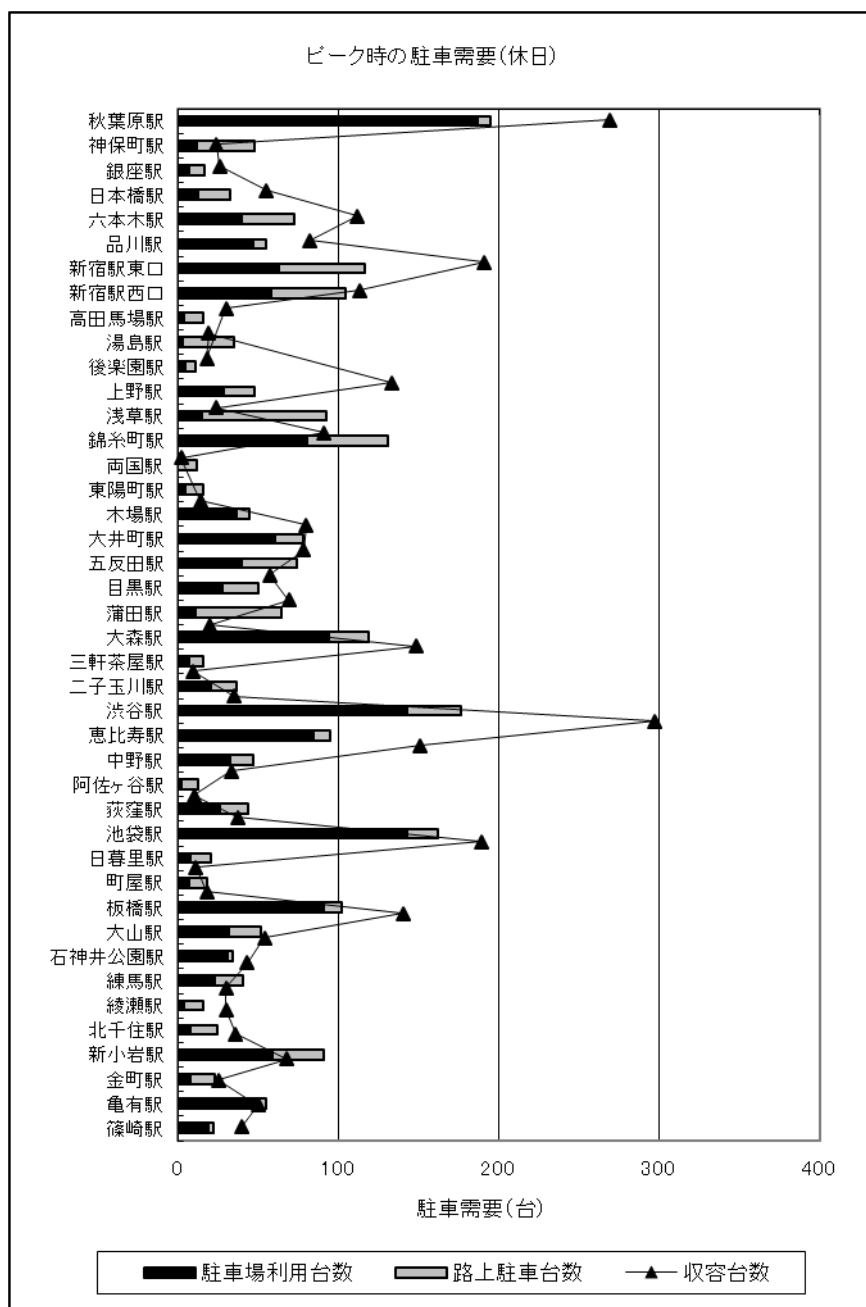


※路上駐車台数は合法、違法の合算

図 2-81 ピーク時の駐車需要（平日）

② 休日

○秋葉原駅・新宿駅東口・新宿駅西口・錦糸町駅・大森駅・渋谷駅・池袋駅・板橋駅の8地区でピーク時の駐車需要が100台以上となっている



※路上駐車台数は合法、違法の合算

図 2-82 ピーク時の駐車需要 (休日)

(2) 過年度調査結果との比較

1) ピーク時の駐車需要の推移

① 平日

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、平日の駐車需要は増加している。

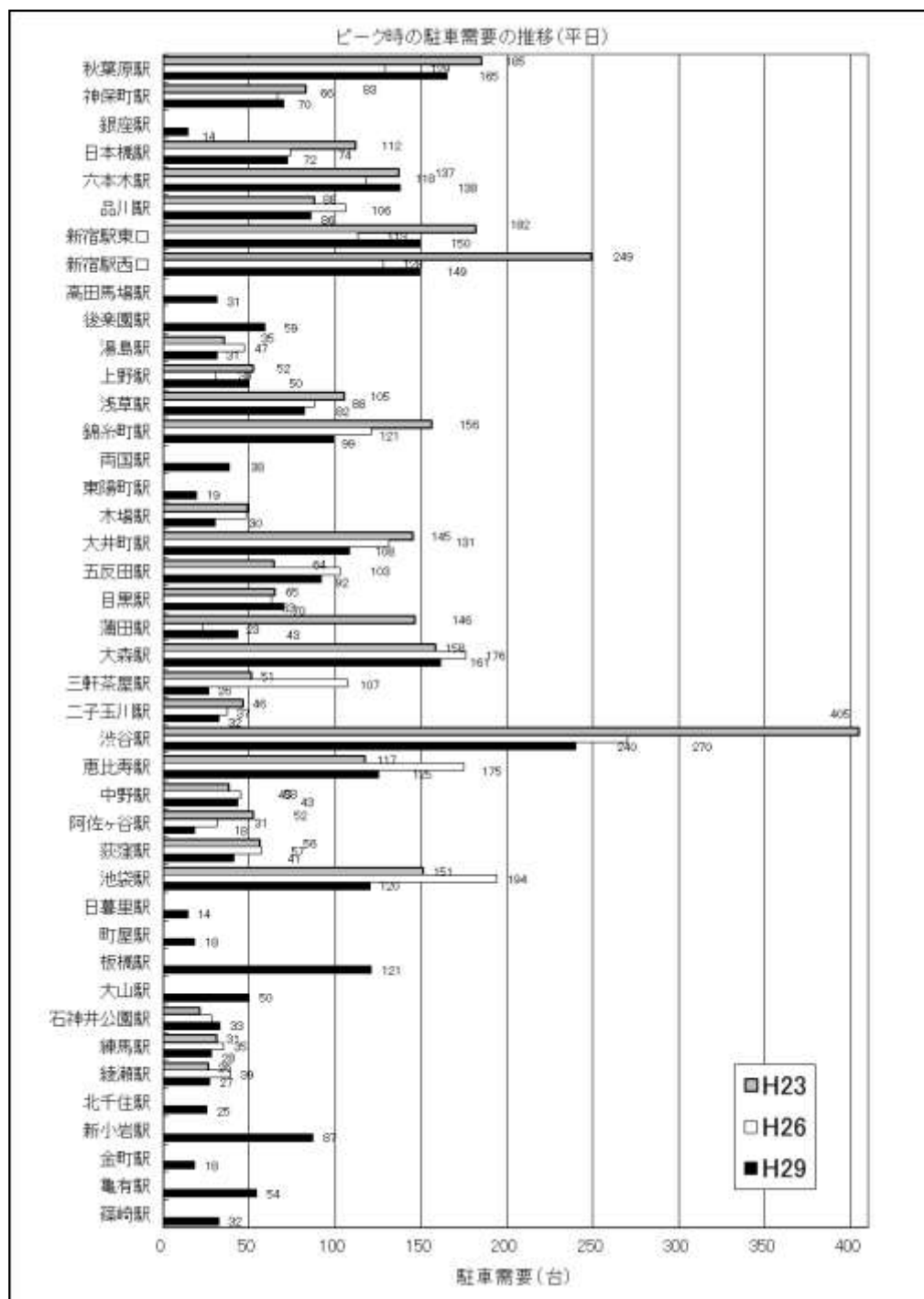


図 2-83 ピーク時の駐車需要の推移(平日)

② 休日

○前回調査(平成 26 年度)と比較すると、休日の駐車需要は減少している。

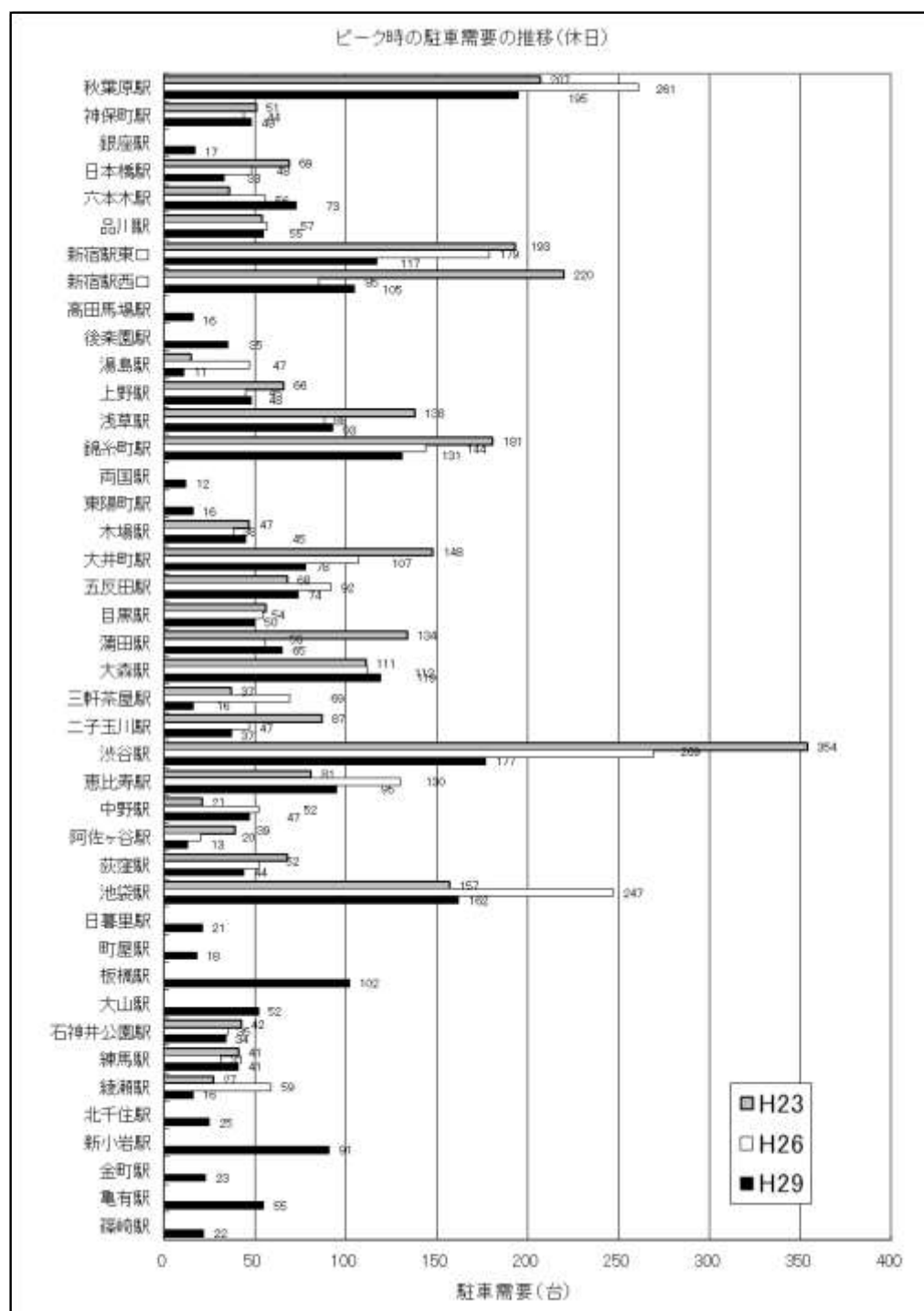


図 2-84 ピーク時の駐車需要の推移 (休日)

2) ピーク時の駐車場需給バランスの推移

①平日

○駐車需給が駐車容量(収容台数)を上回る地区は平成 23 年度が 18 地区、平成 26 年度が 16 地区、平成 29 年度が 18 地区になっている。

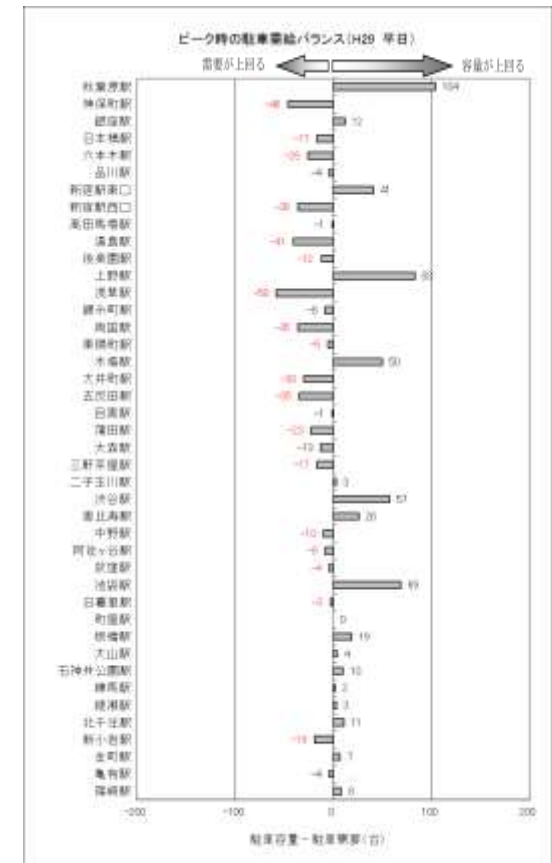


* 駐車需要が駐車容量を上回る地区：18 地区

* 赤字：駐車需要が駐車容量を上回る地区（需要/容量が 110%以内の場合は、需給バランス確保とみなしている）



* 駐車需要が駐車容量を上回る地区：16 地区

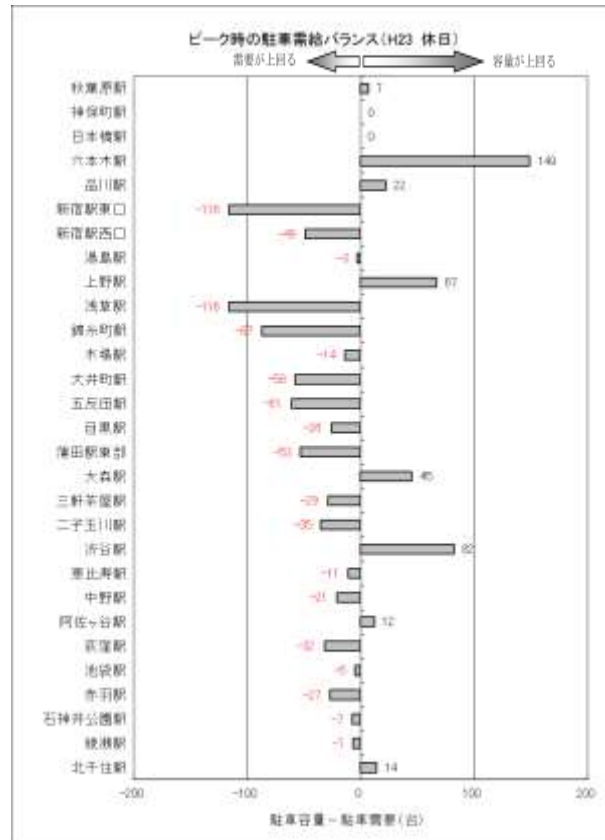


* 駐車需要が駐車容量を上回る地区：18 地区

図 2-85 ピーク時の駐車需給バランスの推移（平日）

②休日

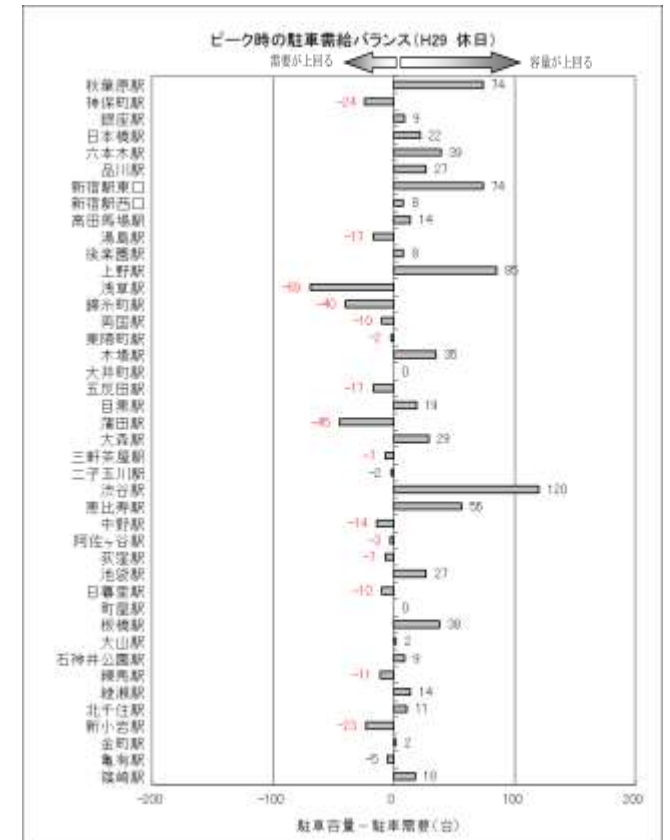
○駐車需給が駐車容量(収容台数)を上回る地区は平成 23 年度が 19 地区、平成 26 年度が 12 地区、平成 29 年度が 15 地区になっている。



* 駐車需要が駐車容量を上回る地区：19 地区



* 駐車需要が駐車容量を上回る地区：12 地区



* 駐車需要が駐車容量を上回る地区：15 地区

* 赤字：駐車需要が駐車容量を上回る地区（需要／容量が 110%以内の場合は、需給バランス確保とみなしている）

図 2-86 ピーク時の駐車需給バランス（休日）